

〇〇県 2次医療圏の概要

1. 圏域図

※所属する2次医療圏が分かるよう、がん診療連携拠点病院名を記載すること。

2. 概要

(平成22年 9月 1日現在)

2次医療圏名	面積(km ²)	人口	人口割合(%)	人口密度	病院数	がん診療連携拠点病院		
						既指定病院数	今回推薦病院数	計
計								

注1) 「人口割合」欄は、県全体の人口に対する圏域ごとの割合を記入すること。

注2) 「人口密度」欄は、各医療圏ごとに、人口/面積(km²) (小数点以下第2位四捨五入)により算出した数値を記入すること。

注3) 「病院数」欄は、拠点病院以外の病院(診療所は除く。)も含めた数を記入すること。

注4) 「今回推薦病院数」欄は、地域がん診療連携拠点病院を都道府県がん診療連携拠点病院へ、又は都道府県がん診療連携拠点を地域がん診療連携拠点病院へ指定変更する場合には()書きで、指定更新の場合には< >書きで、内数を示すこと。

< 推薦書: 提出資料一覧 >

病院名 **大阪市立大学医学部附属病院**

		頁	
【がん診療連携拠点病院 新規指定・指定更新推薦書・現況報告書(様式3、4)】			
様式3	(指定) 連絡先	3	
様式4	(指定) 病院概要	4	
様式4	(指定) がん診療連携拠点病院の指定要件等について	12	
【添付資料】			
資料番号	様式	内 容	
別紙1	(指定)	保有する放射線診療機器等の一覧	20
別紙2	(指定)	高度医療への対応状況(がんに関するもの)	23
別紙3	(指定)	診療機能(専門分野等)	24
別紙4	(指定)	院内クリティカルパス(がんに関するもの)	38
別紙5	(指定)	キャンサーボード	42
別紙6	(指定)	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会	45
別紙7	(指定)	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師、薬剤師、看護師の専門性	46
別紙8	(指定)	放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性	48
別紙9	(指定)	緩和ケアチームの組織・体制	49
別紙10	(指定)	緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順	50
別紙11	(指定)	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制	51
別紙12	(指定)	外来患者に対する緩和ケアの提供体制	52
別紙13	(指定)	緩和ケアチームに対する新規診療症例	53
別紙14	(指定)	緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績	55
別紙16	(指定)	地域の医療機関等に対する緩和ケアに関する要請及び相談に関する担当窓口情報	58
別紙17	(指定)	緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、看護師の専門性	59
別紙18	(指定)	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性	61
別紙20	(指定)	地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制の整備状況	62
別紙21	(指定)	地域連携クリティカルパス(がんに関するもの)	63
別紙22	(指定)	我が国に多いがん及び我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制	66
別紙23	(指定)	セカンドオピニオンに関する情報提供	72
別紙24	(指定)	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の設定状況	73
別紙25	(指定)	別途定める「プログラム」に準拠したがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケア研修会の開催状況及び開催予定	74
別紙26	(指定)	地域の医師等を対象としたがんの早期診断に関する研修	75
別紙27	(指定)	地域の医師等を対象としたがんのその他の緩和ケアに関する研修の実施状況	76
別紙28	(指定)	診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンス	77
別紙29	(指定)	放射線療法、化学療法、手術療法、緩和ケア等の複数の専門的な分野を横断的に実地研修することを内容に含む1年以上の研修プログラム	78
別紙30	(指定)	相談支援センターで提供している情報	79
別紙31	(指定)	相談支援センターで提供しているがん種別情報	80
別紙32	(指定)	相談支援センターの相談件数と相談支援内容	82
別紙33	(指定)	相談支援センターにおける相談支援の実績	83
別紙34	(指定)	相談支援センターの相談対応状況	87
別紙35	(指定)	相談支援センターの体制	88
別紙37	(指定)	相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制構築の取り組みの状況	89
別紙38	(指定)	がんの診療に関連した患者・医療者向け各種問い合わせ窓口	90
別紙39	(指定)	院内がん登録の登録実施項目	95
別紙40	(指定)	診療情報管理部門の体制	97
別紙41	(指定)	患者・市民を対象としたがんに関する市民講演会の実施状況	98
別紙42	(指定)	地域住民に対するアピール	99

<以下は特定機能病院の場合あるいは都道府県がん診療連携拠点病院である場合のみ>			
別紙43	(指定)	放射線療法部門の名称・組織	100
別紙44	(指定)	放射線療法部門の体制	102
別紙45	(指定)	化学療法部門の名称・組織	103
別紙46	(指定)	化学療法部門の体制	105
<以下は特定機能病院の場合のみ>			
別紙47	(指定)	当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院等の医師等に対する高度のがん医療に関する研修の実施状況	106
<以下は都道府県がん診療連携拠点病院の場合のみ>			
別紙48	(指定)	主に地域がん診療連携拠点病院で専門的ながん医療を行う医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修の実施の実施状況	107
別紙49	(指定)	都道府県がん診療連携協議会の開催記録	108
別紙50	(指定)	都道府県がん診療連携協議会の体制	109
<以下は別ファイルおよび任意様式>			
別紙15(別添)	(指定)	緩和ケアに関する広報	110
別紙19(別添)	(指定)	地域の医療機関への診療支援や病連携・病診連携の体制	111
別紙36(別添)	(指定)	相談支援センターの状況	113
<以下は都道府県がん診療連携拠点病院の場合のみ>			
別紙51	(任意)	セカンドオピニオンが可能な県内医療機関一覧	
別紙52	(任意)	県内の我が国に多いがん以外のがんについて地域連携クリティカルパスの整備状況	
別紙53	(任意)	県内の地域がん診療拠点病院が実施する別途定める「プログラム」に準拠したがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケア研修会の開催状況及び開催予定	
別添資料	別紙4	院内クリティカルパスの電子媒体の提出について	
		一部のパスを電子媒体で提出	
	別紙21	地域連携クリティカルパスの電子媒体の提出について	
		一部のパスを電子媒体で提出	

がん診療連携拠点病院 新規指定・指定更新推薦書・現況報告書

平成22年9月1日時点について記載

1. 推薦区分 (1) 都道府県がん診療連携拠点病院 (2) 地域がん診療連携拠点病院
2. 新規・更新の別 (1) 新規指定 (2) 指定更新[指定年月日:平成 年 月 日] (3) 現況報告

※上記1. 2について、該当する項目を口で囲むこと。

3. 病院概要

(1)病院名 (表紙シートの病院名を反映)		大阪市立大学医学部附属病院	
(2)所在地等			
郵便番号	〒545-8586		
住所	大阪市阿倍野区旭町1-5-7		
電話番号(代表)	06-6645-2121		
FAX番号(代表)	06-6632-7114		
e-mail(代表)	ishomu@med.osaka-cu.ac.jp		
HPアドレス	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/hosp/		
所属2次医療圏	大阪市2次医療圏		
(3)開設			
①開設者	公立大学法人 大阪市立大学理事長 西澤 良記		
②開設年月日(和暦/YY/MM/DD)	平成18年4月1日		
(4)アクセス情報			
①鉄道	JR西日本・大阪環状線/大和路線/阪和線 等 「天王寺」駅から 徒歩10分 大阪市営地下鉄・御堂筋線/谷町線 「天王寺」駅から 徒歩10分 等		
②バス	大阪市営バス 「市大病院前」バス停から 徒歩1分		
③高速道路の最寄りインターチェンジ	阪神高速1号 「天王寺出口」から 3分		
④駐車場	263 台		
(5)面積			
①土地	13,829 m ²		
②建物	86,878 m ²		
(6)診療時間			
①外来診療受付時間	月曜～金曜 9時 ～ 16時45分		
②外来診療時間	月曜～金曜 9時 ～ 16時45分		
③休診日	毎週 土・日 曜日、祝日 その他(年末年始)		
④初診時の予約の要否	一部の診療科が必要 (すべての診療科が必要・一部の診療科が必要・不要)		
⑤初診時の紹介状の要否	すべての診療科が必要 (すべての診療科が必要・一部の診療科が必要・不要)		
(7)診療科			
開設診療科名(医療法施行令第3条の2(法第6条の6第1項に規定する政令で定める診療科名)を以下に記載)			
開設診療科一覧について、ホームページで公開している場合は、そのページのURL http://med.osaka-cu.ac.jp/hosp/			
内科	なし	(あり・休診中・なし)	
呼吸器内科	あり	(あり・休診中・なし)	
循環器内科	あり	(あり・休診中・なし)	
消化器内科	あり	(あり・休診中・なし)	
心臓内科	なし	(あり・休診中・なし)	
血液内科	あり	(あり・休診中・なし)	
気管食道内科	なし	(あり・休診中・なし)	
胃腸内科	なし	(あり・休診中・なし)	
腫瘍内科	なし	(あり・休診中・なし)	
糖尿病内科	なし	(あり・休診中・なし)	
代謝内科	なし	(あり・休診中・なし)	
内分泌内科	なし	(あり・休診中・なし)	
脂質代謝内科	なし	(あり・休診中・なし)	
腎臓内科	あり	(あり・休診中・なし)	
神経内科	あり	(あり・休診中・なし)	
心療内科	なし	(あり・休診中・なし)	
感染症内科	なし	(あり・休診中・なし)	
漢方内科	なし	(あり・休診中・なし)	
老年内科	あり	(あり・休診中・なし)	
女性内科	なし	(あり・休診中・なし)	
新生児内科	なし	(あり・休診中・なし)	
性感染症内科	なし	(あり・休診中・なし)	
内視鏡内科	なし	(あり・休診中・なし)	
人工透析内科	なし	(あり・休診中・なし)	
疼痛緩和内科	なし	(あり・休診中・なし)	
ペインクリニック内科	なし	(あり・休診中・なし)	
アレルギー疾患内科	なし	(あり・休診中・なし)	
内科(ペインクリニック)	なし	(あり・休診中・なし)	
内科(循環器)	なし	(あり・休診中・なし)	
内科(薬物療法)	なし	(あり・休診中・なし)	
内科(感染症)	なし	(あり・休診中・なし)	
内科(骨髄移植)	なし	(あり・休診中・なし)	
外科	なし	(あり・休診中・なし)	
呼吸器外科	あり	(あり・休診中・なし)	
心臓血管外科	あり	(あり・休診中・なし)	

心臓外科	なし	(あり・休診中・なし)
消化器外科	あり	(あり・休診中・なし)
乳腺外科	なし	(あり・休診中・なし)
小児外科	あり	(あり・休診中・なし)
気管食道外科	なし	(あり・休診中・なし)
肛門外科	なし	(あり・休診中・なし)
整形外科	あり	(あり・休診中・なし)
脳神経外科	あり	(あり・休診中・なし)
形成外科	あり	(あり・休診中・なし)
美容外科	なし	(あり・休診中・なし)
腫瘍外科	なし	(あり・休診中・なし)
移植外科	なし	(あり・休診中・なし)
頭頸部外科	なし	(あり・休診中・なし)
胸部外科	なし	(あり・休診中・なし)
腹部外科	なし	(あり・休診中・なし)
肝臓外科	なし	(あり・休診中・なし)
膵臓外科	なし	(あり・休診中・なし)
胆のう外科	なし	(あり・休診中・なし)
食道外科	なし	(あり・休診中・なし)
胃外科	なし	(あり・休診中・なし)
大腸外科	なし	(あり・休診中・なし)
内視鏡外科	なし	(あり・休診中・なし)
ペインクリニック外科	なし	(あり・休診中・なし)
外科(内視鏡)	なし	(あり・休診中・なし)
外科(がん)	なし	(あり・休診中・なし)
精神科	なし	(あり・休診中・なし)
アレルギー科	なし	(あり・休診中・なし)
リウマチ科	なし	(あり・休診中・なし)
小児科	あり	(あり・休診中・なし)
皮膚科	あり	(あり・休診中・なし)
泌尿器科	あり	(あり・休診中・なし)
産婦人科	あり	(あり・休診中・なし)
産科	なし	(あり・休診中・なし)
婦人科	なし	(あり・休診中・なし)
眼科	あり	(あり・休診中・なし)
耳鼻いんこう科	あり	(あり・休診中・なし)
リハビリテーション科	あり	(あり・休診中・なし)
放射線科	あり	(あり・休診中・なし)
放射線診断科	なし	(あり・休診中・なし)
放射線治療科	あり	(あり・休診中・なし)
病理診断科	なし	(あり・休診中・なし)
臨床検査科	なし	(あり・休診中・なし)
救急科	なし	(あり・休診中・なし)
児童精神科	なし	(あり・休診中・なし)
老年精神科	なし	(あり・休診中・なし)
小児眼科	なし	(あり・休診中・なし)
小児耳鼻いんこう科	なし	(あり・休診中・なし)
小児皮膚科	なし	(あり・休診中・なし)
気管食道・耳鼻いんこう科	なし	(あり・休診中・なし)
腫瘍放射線科	なし	(あり・休診中・なし)
男性泌尿器科	なし	(あり・休診中・なし)
神経泌尿器科	なし	(あり・休診中・なし)
小児泌尿器科	なし	(あり・休診中・なし)
小児科(新生児)	あり	(あり・休診中・なし)
泌尿器科(不妊治療)	なし	(あり・休診中・なし)
泌尿器科(人工透析)	なし	(あり・休診中・なし)
産婦人科(生殖医療)	なし	(あり・休診中・なし)
美容皮膚科	なし	(あり・休診中・なし)
歯科	なし	(あり・休診中・なし)
小児歯科	なし	(あり・休診中・なし)
矯正歯科	なし	(あり・休診中・なし)
歯科口腔外科	なし	(あり・休診中・なし)
呼吸器科	なし	(あり・休診中・なし)
循環器科	なし	(あり・休診中・なし)
消化器科	なし	(あり・休診中・なし)
精神神経科	なし	(あり・休診中・なし)
神経科	なし	(あり・休診中・なし)
麻酔科	あり	(あり・休診中・なし)
緩和ケア科	なし	(あり・休診中・なし)
緩和医療科	なし	(あり・休診中・なし)
内分泌・糖尿病内科	なし	(あり・休診中・なし)
内分泌・代謝内科	なし	(あり・休診中・なし)
糖尿病・内分泌内科	なし	(あり・休診中・なし)
糖尿病・代謝内科	なし	(あり・休診中・なし)
肝臓内科	なし	(あり・休診中・なし)
心臓血管内科	なし	(あり・休診中・なし)
緩和ケア内科	なし	(あり・休診中・なし)
化学療法科	なし	(あり・休診中・なし)
総合内科	なし	(あり・休診中・なし)

総合診療科		なし	(あり・休診中・なし)
乳腺・内分泌外科		あり	(あり・休診中・なし)
血管外科		なし	(あり・休診中・なし)
血液・腫瘍内科		なし	(あり・休診中・なし)
気管・食道科		なし	(あり・休診中・なし)
総合診療センター	科	あり	(あり・休診中・なし)
膠原病内	科	あり	(あり・休診中・なし)
生活習慣病・糖尿病センター	科	あり	(あり・休診中・なし)
骨・リウマチ内	科	あり	(あり・休診中・なし)
肝胆膵内	科	あり	(あり・休診中・なし)
神経精神	科	あり	(あり・休診中・なし)
肝胆膵外	科	あり	(あり・休診中・なし)
ペインクリニック	科	あり	(あり・休診中・なし)
造血細胞移植	科	あり	(あり・休診中・なし)
核医学	科	あり	(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)

(8)病床数等 (平成22年9月1日時点)

①病床数			
総数		1003	床
うち療養病床		0	床
うち一般病床		963	床
うち特別療養環境室としている病床		146	床

②診療機器の保有状況等		別紙1	
X線CT装置		4	台
うちマルチスライスCT装置		3	台
MRI装置		4	台
核医学検査装置		6	台
うちPET(陽電子断層撮影)検査装置		2	台
血管造影撮影装置		4	台
放射線治療装置 (リニアック又はマイクロロンに限る)		2	台
バーチャルスライド装置		0	台

(9)診療報酬に係る施設基準等

①施設基準を取得した病床数			
一般病棟入院基本料(A100)		0	床
療養病棟入院基本料(A101)		0	床
特定機能病院入院基本料(A104)		905	床
専門病院入院基本料(A105)		0	床
救命救急入院料(A300)		30	床
特定集中治療室管理料(A301)		10	床
ハイケアユニット入院医療管理料(A301-2)		6	床
小児入院医療管理料1(A3071)		0	床
小児入院医療管理料2(A3072)		46	床
小児入院医療管理料3(A3073)		0	床
回復期リハビリテーション入院料(A308)		0	床
亜急性期入院医療管理料(A308-2)		0	床
特殊疾患療養病棟入院料(A309)		0	床
緩和ケア病棟入院料(A310)		0	床

②届出された先進医療の状況等			
先進医療への対応状況(がんに関するもの)		別紙2	

③診療報酬に係る施設基準等(件数は平成21年9月-平成22年8月の集計)				
DPC対象病院			はい	(はい・いいえ)
DPC準備病院(H22年度調査参加)			いいえ	(はい・いいえ)
がん診療連携拠点病院加算(A232)	あり	(あり、なし)	1,029	件入院1回
退院時共同指導料2 (B005)	なし	(あり、なし)	0	件入院中1回
緩和ケア診療加算 (A226-2)	なし	(あり、なし)	0	件1日につき
緩和ケア病棟入院料(A310)	なし	(あり、なし)	0	件1日につき
麻薬管理指導加算 (B008)	あり	(あり、なし)	116	件1回につき
がん性疼痛緩和指導管理料 (B001-22)	あり	(あり、なし)	23	件月1回
リンパ浮腫指導管理料(B001-7)	なし	(あり、なし)	0	件入院中1回
外来化学療法加算 I(第6部 通則)	あり	(あり、なし)	5,530	件1日につき
外来化学療法加算 II(第6部 通則)	なし	(あり、なし)	0	件1日につき
診療録管理体制加算 (A207)	あり	(あり、なし)	12,983	入院初日(期間内に新たに入院された患者の数を計上)
医師事務作業補助体制加算 (A207-2)	なし	(あり、なし)	0	入院初日(期間内に新たに入院された患者の数を計上)
栄養管理実施加算 (A233)	あり	(あり、なし)	120,024	件1日につき
医療安全対策加算 (A234)	あり	(あり、なし)	13,796	件入院初日
退院調整加算 (A238)	あり	(あり、なし)	38	件入院時1回、退院時1回

救命救急入院料1(A300)	あり	(あり、なし)	563	件	1日につき
救命救急入院料2(A300)	なし	(あり、なし)	0	件	1日につき
特定集中治療室管理料(A301)	あり	(あり、なし)	2,361	件	1日につき
ハイケアユニット入院医療管理料(A301-2)	あり	(あり、なし)	327	件	1日につき
ニコチン依存症管理料(B001-3-2)	あり	(あり、なし)	61	件	診療回数に応じて
在宅療養支援病院の施設基準	なし	(あり、なし)			件数は計上しない。
がん治療連携計画策定料(計画策定病院)(B005-6-1)	あり	(あり、なし)	0	件	退院時1回
薬剤管理指導料(B008)	あり	(あり、なし)	10,581	件	週1回
医療機器安全管理料(B011-4)	あり	(あり、なし)	1,105	件	1月につき、放射線治療は一連で1回
検体検査管理加算(Ⅲ)(D026)	あり	(あり、なし)	10,618	件	月1回
遺伝カウンセリング加算(D026)	あり	(あり、なし)	20	件	月1回
画像診断管理加算2(第4部 通則)	なし	(あり、なし)	0	件	月1回
遠隔画像診断による画像診断の施設基準	なし	(あり、なし)	0	件	月1回
ポジロン断層撮影(E101-2)	あり	(あり、なし)	1,399	件	一連につき1回
コンピューター断層複合撮影の施設基準(E101-3)	あり	(あり、なし)	1	件	一連につき1回
無菌製剤処理料1(G020)	あり	(あり、なし)	331	件	1日につき
輸血管理料Ⅰ(K920-2)	なし	(あり、なし)	0	件	月1回
輸血管理料Ⅱ(K920-2)	なし	(あり、なし)	0	件	月1回
放射線治療管理料(M000)	あり	(あり、なし)	1,061	件	分布図作成1回につき1回、治療過程において2回
放射線治療専任加算(M000)	あり	(あり、なし)	724	件	1日につき
外来放射線治療加算(M000)	あり	(あり、なし)	10,195	件	1日につき1回
高エネルギー放射線治療の施設基準(M001)	あり	(あり、なし)	18,064	件	1回
強度変調放射線治療(IMRT)の施設基準(M000)	なし	(あり、なし)	0	件	1回
直線加速器による定位放射線治療の施設基準(M001-3)	あり	(あり、なし)	30	件	1回
テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製料(N003)	なし	(あり、なし)	0	件	1手術につき
がん患者カウンセリング料(B001-23)	あり	(あり、なし)	9	件	1回

(10)職員数	総職員数 (事務職員含む)	2,221	人
・常勤医師数:「常勤」とは、当該医療機関で定めている1週間の就業時間すべて勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とはみなさない(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医業発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。			

①職種別内訳		非常勤		常勤	
※複数の資格を有する者は、主たる業務に係る職種についてのみ記載。		非常勤		常勤	
		※(常勤換算)			
医師		107.4	人	461	人
歯科医師		0	人	0	人
薬剤師		11.6	人	36	人
保健師		0	人	0	人
助産師		0	人	29	人
看護師		74.5	人	791	人
准看護師		6.8	人	2	人
理学療法士		1.1	人	7	人
作業療法士		0.9	人	3	人
視能訓練士		4.8	人	2	人
言語聴覚士		1.9	人	3	人
義肢装具士		0	人	0	人
歯科衛生士		0	人	0	人
歯科技工士		0	人	0	人
診療放射線技師		7.2	人	45	人
臨床検査技師		25.7	人	52	人
衛生検査技師		0.9	人	0	人
臨床工学技士		2.9	人	8	人
管理栄養士		1.9	人	9	人
栄養士		4	人	0	人
社会福祉士		2.9	人	0	人
精神保健福祉士		1.9	人	0	人
介護福祉士		0	人	0	人
※②～④については、複数の資格を持つものは、両方にカウントする。		非常勤		常勤	
②医師等の専門性に関する資格名に該当する人数等について		※(常勤換算)			
(社)日本整形外科学会 整形外科専門医		3.87	人	21	人
(社)日本皮膚科学会 皮膚科専門医		0.77	人	13	人
(社)日本麻酔科学会 麻酔科専門医		0.52	人	12	人
(社)日本医学放射線学会 放射線診断専門医		3.87	人	12	人
(社)日本医学放射線学会 放射線治療専門医		0.77	人	4	人
(財)日本眼科学会 眼科専門医		4.65	人	8	人
(社)日本産科婦人科学会 産婦人科専門医		0.77	人	15	人
(社)日本耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉科専門医		2.32	人	10	人
(社)日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医		1.8	人	11	人
(社)日本形成外科学会 形成外科専門医		0.77	人	7	人

四病院団体協議会／医療研修推進財団 診療情報管理士	1	人	2	人
その他				
		人		人
		人		人
		人		人
④その他の従事者				
医療ソーシャルワーカー(社会福祉士、精神保健福祉士以外)	0.9	人	0	人
診療録管理部門の職員	0	人	0	人
医療心理に携わる者	0.9	人	0	人
治験コーディネーター	21.2	人	3	人
データマネージャー (医学研究、特に臨床研究において、研究データの収集や入力、データの品質管理を担うデータマネージメントの専門家。医学知識、生物統計学の基礎知識、データベース等の情報工学の基礎知識を要する。)	0	人	0	人
生物統計家 (統計学を専門とする統計家のうち、医学・薬学・農学・心理学などの生命科学に特化した知識・経験を有する統計家。生命科学の研究デザインやデータの統計解析を担当する。)	0	人	0	人
医師事務作業補助者	0	人	0	人
看護業務補助者	19.3	人	41	人
(11)その他(平成22年9月1日現在)				
①承認等の状況				
地域医療支援病院			承認なし	(承認あり、承認なし)
開放型病院			承認なし	(承認あり、承認なし)
②夜間(深夜も含む)救急対応の可否			可	(可、否)
③各種委員会の設置状況				
倫理審査委員会	あり	(あり、なし)	年 12	回開催
治験審査委員会	あり	(あり、なし)	年 12	回開催
④診療情報管理の状況				
・病院情報システムの稼働状況				
検査オーダー			あり	(あり、なし)
処方オーダー			あり	(あり、なし)
診療予約オーダー			あり	(あり、なし)
入院病名オーダー			あり	(あり、なし)
外来病名オーダー			あり	(あり、なし)
電子カルテ			あり	(あり、なし)
・ICDコードの利用状況				
ICD-10を入院病名管理に利用している			はい	(はい・いいえ)
ICD-10を外來病名管理に利用している			はい	(はい・いいえ)
⑤遠隔医療システム等の導入状況				
遠隔画像診断			なし	(あり、なし)
遠隔病理診断			なし	(あり、なし)
在宅療養支援			なし	(あり、なし)
外来診察室におけるインターネット環境			なし	(あり、なし)
病棟におけるインターネット環境			なし	(あり、なし)
(12)患者数・診療件数の状況				
①患者数等				
年間新入院患者数(平成21年1月1日～12月31日)			15,497	人
年間新入院がん患者数(平成21年1月1日～12月31日) ※1			4,060	人
年間新入院患者数に占めるがん患者の割合			26.2%	
年間外来のべがん患者延数(平成21年1月1日～12月31日) ※3			74,480	人
年間院内死亡がん患者数(平成21年1月1日～12月31日) ※1			73	人
新入院のべ患者数(原則、平成22年4月1日～7月31日までの新入院患者) ※4			5,328	人
うちのべがん患者数			1,369	人
(新入院患者数に占めるがん患者の割合)			25.7%	
うちのべ肺がん患者数(ICD-10コード C34\$)			279	人
うちのべ胃がん患者数(ICD-10コード C16\$)			120	人
うちのべ大腸がん(直腸がんを含む)患者数(ICD-10コード C18\$, C19, C20)			77	人
うちのべ肝臓がん患者数(ICD-10コード C22\$)			256	人
うちのべ乳がん患者数(ICD-10コード C50\$)			39	人
* ※1 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断されたものについて計上すること。 ※2 \$は以下の分類をすべて含んでいる。 ※3 年間外来のべがん患者延数は、当年の新来、再来がん患者及び往診、巡回診療、健康診断、人間ドック等を行い、診療録の作成又は記載の追加を行ったがん患者のべ延数を記入する。同一患者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの診療科で診療録の作成又は記載の追加を行った場合、それぞれの外来患者として計上する。 ※4 新入院のべ患者数は、例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は2件とする。入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も計上する。				
②麻酔及び手術等の状況(平成22年4月1日～7月31日)				
全身麻酔(静脈麻酔は除く)			1,307	件
ア 悪性腫瘍の手術件数の総数			776	件
イ 肺がん(C34\$)の手術件数				
開胸手術 K511\$, K514\$, K518\$			6	件
胸腔鏡下手術 K514-2\$			15	件
ウ 胃がん(C16\$)の手術件数				
開腹手術 K654-2, K6552, K655-42, K6572			24	件
腹腔鏡下手術 K654-3, K655-22, K657-22			24	件
内視鏡手術 粘膜切除術(EMR) K6531			6	件
内視鏡手術 粘膜下層剥離術(ESD) K6532			33	件

エ 大腸がん(C18\$, C19, C20)の手術件数		
開腹手術 K7193、K739\$, K740\$, K748\$	24	件
腹腔鏡下手術 K719-2\$, K719-3、K740-2\$	39	件
内視鏡手術 K7211	80	件
オ 肝臓がん(C22\$)の手術件数		
開腹手術 K695\$	17	件
マイクロ波凝固法 K697-2	0	件
ラジオ波焼灼療法 K697-3	54	件
カ 乳がん(C50\$)の手術件数		
手術 K476\$	39	件
乳癌冷凍凝固摘出術 K475-2	0	件
乳腺腫瘍摘出術(生検) K474\$	9	件
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 K474-3	21	件
乳房再建術(乳房切除後) 二期的に行うもの K476-32	0	件
キ 転移性肺がん(C780)の手術件数		
開胸手術 K514\$, K5182、K511\$	4	件
胸腔鏡下手術 K514-2\$, K513	26	件
ク 転移性肝がん(C787)の手術件数		
開腹手術 K695\$	7	件
③ 放射線治療		
※以下、放射線治療件数に関する項目は、必ず放射線治療責任医師の確認を取って記入すること。		
ア-1 のべ患者実数 (平成21年1月1日～12月31日の間に放射線治療を開始した患者数)		
例:平成21年3月に新患として放射線治療を受け、同年10月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。		
体外照射	713	人
そのうち特殊なもの		
定位照射(脳)	31	人
定位照射(体幹部)	0	人
強度変調放射線治療(IMRT)	0	人
小線源治療	39	人
ア-2 のべ患者実数 (平成22年4月1日～7月31日の間に放射線治療を開始した患者数)		
例:平成22年4月に新患として放射線治療を受け、同年7月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。		
<入院>		
肺がん	12	人
胃がん	0	人
肝がん	2	人
大腸がん	0	人
乳がん	0	人
<外来>		
肺がん	9	人
胃がん	1	人
肝がん	2	人
大腸がん	3	人
乳がん	33	人
イ-1 照射回数 (平成22年4月1日～7月31日ののべ照射回数)		
体外照射	6,940	回
そのうち特殊なもの		
定位照射(脳)	49	回
定位照射(体幹部)	0	回
強度変調放射線治療(IMRT)	0	回
小線源治療	38	回
イ-2 のべ照射回数 (平成22年4月1日～7月31日)		
<入院>		
肺がん	385	回
胃がん	0	回
肝がん	72	回
大腸がん	0	回
乳がん	0	回
<外来>		
肺がん	245	回
胃がん	25	回
肝がん	50	回
大腸がん	88	回
乳がん	850	回
④ がんに係る化学療法 (平成22年4月1日～7月31日)		
ア のべ患者数 (化学療法1レジメンを1人として数える。内服のみのレジメンは対象外とする。)		
例:当月中に、エトポシド+シスプラチン併用療法4コース実施した場合は1人と数える。		
<入院>	355	人
<外来>	429	人
イ のべ処方件数 (抗がん剤が処方された件数に、それぞれの処方日数を掛けた数とする。内服のみのレジメンは対象外とする。)		
例:当月中に、抗がん剤が4日分処方された場合は4件と数える。		
<入院>	1,014	件
<外来>	1,884	件

⑤ 検査等の実施状況		
ア 病理診断の件数		
病理診断(平成21年1月1日～12月31日)	12,549	件
細胞診断(平成21年1月1日～12月31日)	10,501	件
病理組織迅速組織顕微鏡検査(平成21年1月1日～12月31日)	669	件
剖検(平成21年1月1日～平成21年12月31日)	40	件
剖検率(平成21年1月1日～平成21年12月31日)	20	%
イ 画像診断等の件数(平成21年1月1日～12月31日)		
上部消化管内視鏡検査	5,822	件
気管支内視鏡検査	534	件
大腸内視鏡検査	2,667	件
血管連続撮影	4,412	件
スパイラルCT検査	42,798	件
CTガイド下生検	15	件
MRI検査	23,781	件
RI診断検査(シンチグラム)	10,884	件
シングルフォトンエミッションCT(SPECT)検査	1,668	件
PET(陽電子断層撮影)検査	1,583	件

4. がん診療連携拠点病院の指定要件等について

病院名 **大阪市立大学医学部附属病院**
 指定要件での扱い
A: 必須
B: 原則必須
C: 対応することが望ましい
 -: 指定要件に記載なし

1. 診療体制				
(1) 診療機能				
① 集学的治療の提供体制と標準的治療等の提供機能				
ア	我が国に多いがんについて、集学的治療及び緩和ケアを提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。 *「我が国に多いがん」とは、肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん及び乳がんをいう。 *「集学的治療等」とは、手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療及び緩和ケアをいう。 *「標準的治療」とは、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療をいう。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんについて、集学的治療及び緩和ケアを提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。	A	はい	(はい・いいえ)
ウ	我が国に多いがん及び我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんへの対応状況について、別紙3に記載すること。	A	別紙3	
エ	我が国に多いがんについて、「クリティカルパス」を整備している。 *「クリティカルパス」とは、検査及び治療を含めた詳細な診療計画表をいう。	A	はい	(はい・いいえ)
オ	我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんについて、「クリティカルパス」を整備している。	-	はい	(はい・いいえ)
カ	我が国に多いがん及び我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんについて、「クリティカルパス」を整備状況を別紙4に記載すること。	A	別紙4	
キ	がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、キャンサーボードを設置し、定期的に開催している。 * キャンサーボードとは、手術、放射線療法及び化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の専門を異にする医師等によるがん患者の症状、状態及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンスをいう。	A	はい	(はい・いいえ)
ク	キャンサーボードは、臓器領域ごとに設置されている。	-	一部の臓器領域	(すべての臓器領域ごと、一部の臓器領域のみ、院内でひとつのみ)
ケ	キャンサーボードの活動状況について、別紙5に記載すること。	A	別紙5	
② 化学療法の提供体制機能				
ア	急変時等の緊急時に外来化学療法室において化学療法を提供する当該がん患者が入院できる体制を確保している。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会を設置している。 *「化学療法のレジメン」とは、治療内容をいう。	A	はい	(はい・いいえ)
ウ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会は、必要に応じて、キャンサーボードと連携協力している。	A	はい	(はい・いいえ)
エ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会について、別紙6に記載すること。	A	別紙6	
オ	化学療法のレジメンが、委員会で審査され、組織的に管理されている。	-	はい	(はい・いいえ)
カ	化学療法のレジメンのうち、委員会が審査され、組織的に管理されている比率。	-	75-100%	(75-100%、50-75%、25-50%、25%未満)
キ	委員会で登録・許可された投与計画(事前プロトコル)に基づき実施されている。	-	はい	(はい・いいえ)
ク	委員会で登録・許可された投与計画に基づいて実施されている化学療法の比率。	-	75-100%	(75-100%、50-75%、25-50%、25%未満)
ケ	レジメンが診療科だけでなく、診療領域ごとに決められている	-	はい	(はい・いいえ)
コ	抗がん剤の適応外使用の審議の手続きが、院内で規定されている	-	はい	(はい・いいえ)
サ	必要に応じて、レジメンの数の見直し・整理が行われている	-	はい	(はい・いいえ)
シ	登録レジメン数	-	320	レジメン
ス	レジメン内容について外部から監査を受けている	-	いいえ	(はい・いいえ)
診療従事者				
ア	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する専従または専任医師数	1人以上A	60	人
イ	うち常勤	1人以上B	60	人
ウ	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する専従医師数	1人以上C	12	人
エ	うち常勤	1人以上C	12	人
オ	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の専従または専任薬剤師数	1人以上A	7	人
カ	うち常勤の専従	-	6	人
キ	外来化学療法室における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の専従または専任看護師数	1人以上A	3	人
ク	うち常勤の専従	1人以上C	3	人
ケ	外来化学療法室における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師、薬剤師、看護師の専門性について、別紙7に記載すること。	-	別紙7	
③ 放射線療法機能				
ア	定期的な線量計の校正を実施している。	-	はい	(はい・いいえ)
イ	治療用線量計の最終校正日(和暦YY年MM月DD日)	-	平成22年6月7日	
ウ	外部委員を含む放射線治療品質管理委員会を設置している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
エ	第三者機関によるリニアックの出力線量測定を受けている。	-	いいえ	(はい・いいえ)
オ	測定機関名	-		(医用原子力技術研究振興財団、その他)
カ	実施年月日(和暦YY年MM月DD日)	その他の場合		

診療従事者				
ア	放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する専従又は専任医師数	1人以上A	3	人
イ	うち常勤	1人以上B	3	人
ウ	放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する専従医師数	1人以上C	3	人
エ	うち常勤	1人以上C	3	人
オ	放射線治療に携わる常勤の専従診療放射線技師数	1人以上A	2	人
カ	放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等に携わる常勤技術者等の人数	1人以上A	2	人
キ	医学物理士の数	-	2	人
ク	放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性について、別紙8に記載すること	-	別紙8	
④ 緩和ケアの提供体制				
機能				
ア	緩和ケアチームを整備し、当該緩和ケアチームを組織上明確に位置付けるとともに、がん患者に対し適切な緩和ケアを提供している。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	緩和ケアチームの組織上の位置づけについて別紙9に記入すること。	A	別紙9	
ウ	緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順について別紙10に記入すること。	A	別紙10	
エ	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制を整備している。	A	はい	(はい・いいえ)
オ	緩和ケア外来患者数(平成21年1月1日～12月31日)	-	73	人
カ	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制について別紙11に記入すること。	A	別紙11	
キ	外来患者に対する緩和ケアの提供体制について別紙12に記入すること。	A	別紙12	
ク	緩和ケアチーム並びに必要なに応じて主治医及び看護師等が参加する症状緩和に係るカンファレンスが週1回程度開催されている。	A	はい	(はい・いいえ)
ケ	緩和ケアチームに対する新規診療症例について別紙13に記入すること。	A	別紙13	
コ	緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績について別紙14に記入すること。	A	別紙14	
サ	院内の見やすい場所に緩和ケアチームによる診察が受けられる旨の掲示をするなど、がん患者に対し必要な情報提供を行っている。	A	はい	(はい・いいえ)
シ	緩和ケアチームによる診察が受けられる旨の情報提供を実施している場合の広報手段	-		
	1.院内の見やすい場所に掲示している。	-	はい	(はい・いいえ)
	2.院内誌、チラシ等で広報している。	-	はい	(はい・いいえ)
	3.ホームページに掲載している。	-	はい	(はい・いいえ)
	掲載している場合、該当するページのURLを記載すること。	-	http:// med.osaka-cu.ac.jp/hosp/	
	4.地域の広報誌等で広報している。	-	はい	(はい・いいえ)
	5.その他の方法で掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
		-		
ス	緩和ケアチームに関する広報状況(院内掲示)について別紙15(別ファイル)に記入すること。	A	別紙15(別添)	
セ	かかりつけの協力・連携を得て、主治医及び看護師が緩和ケアチームと共に、退院後の居宅における緩和ケアに関する療養上必要な説明及び指導を行っている。	A	はい	(はい・いいえ)
ソ	緩和ケアに関する要請及び相談に関する担当窓口(地域に公開している連絡先)を設けるなど、地域の医療機関及び在宅療養支援診療所等との連携協力体制を整備している。	A	はい	(はい・いいえ)
タ	緩和ケアに関する要請及び相談に関する担当窓口情報を別紙16に記入すること。	A	別紙16	
チ	緩和ケア病床数(緩和ケア病棟入院料を算定の有無は問わない)	-	0	床
ツ	緩和ケア病棟を有している。(有している場合は、以下の1.2.3.に回答すること)	-	いいえ	(はい・いいえ)
テ	1.緩和ケア病棟に入院した患者の申込みから入院するまでの平均待機期間(転棟、緊急入院を除く)(平成21年1月1日～12月31日)に緩和ケア病棟に入院した者	-	0	日
ト	2.緩和ケア病棟の年間新入院患者数(平成21年1月1日～12月31日)	-	0	人
ナ	3.緩和ケア病棟の平均在院日数(平成21年1月1日～12月31日)	-	0	日
ニ	疼痛緩和の院内マニュアルがある。	-	はい	(はい・いいえ)
ヌ	院内で統一した疼痛の評価尺度がある。	-	はい	(はい・いいえ)
診療従事者				
ア	緩和ケアチームにおいて身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する専従又は専任医師数	1人以上A	1	人
イ	うち常勤	1人以上B	1	人
ウ	緩和ケアチームにおいて身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する専従医師数	1人以上C	1	人
エ	うち常勤	1人以上C	1	人
オ	緩和ケアチームにおいて精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上A	1	人
カ	うち常勤	1人以上C	1	人
キ	緩和ケアチームにおいて精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する専従又は専任医師数	1人以上C	0	人
ク	うち常勤	1人以上C	0	人
ケ	緩和ケアチームにおいて精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する専従医師数	-	0	人
コ	うち常勤	-	0	人
サ	緩和ケアチームにおいて緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の専従看護師数	1人以上A	1	人
シ	緩和ケアチームに協力する薬剤師数	1人以上C	3	人
ス	うち常勤	-	3	人
セ	緩和ケアチームに協力する常勤の専従又は専任の薬剤師数	-	3	人
ソ	緩和ケアチームに協力する常勤の専従薬剤師数	-	0	人
タ	緩和ケアチームに協力する医療心理に携わる者の数	1人以上C	1	人
チ	うち常勤	-	1	人
ツ	緩和ケアチームに協力する常勤の専従又は専任の医療心理に携わる者の数	-	1	人
テ	緩和ケアチームに協力する常勤の専従の医療心理に携わる者の数	-	1	人
ト	緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、看護師の専門性について、別紙17に記載すること。	-	別紙17	

⑤ 病理診断				
機能				
ア	診断のダブルチェックを行っている。	-	はい	(はい・いいえ)
イ	必要に応じて外部にコンサルテーションできる体制が整っている。	-	はい	(はい・いいえ)
ウ	臨床グループとの合同カンファレンスを実施している。	-	はい	(はい・いいえ)
エ	臨床グループからの病理診断に対するフィードバックを体系的に得ている。	-	はい	(はい・いいえ)
オ	同じ患者の以前の病理診断について、必要に応じて詳しい情報を引き出せるようになっている。	-	はい	(はい・いいえ)
カ	病理診断結果がデータベース化されている。	-	はい	(はい・いいえ)
キ	他医療機関からの診断コンサルテーションに対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
ク	病理診断の結果等について、患者本人や家族等が希望すれば病理担当医から直接説明を受けることができる体制が整っている	-	はい	(はい・いいえ)
診療従事者				
ア	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する専従医師数	1人以上A	5	人
イ	うち常勤	1人以上B	5	人
ウ	細胞診に携わる専門的な知識及び技能を有するコメディカルスタッフ数	1人以上C	6	人
エ	うち常勤	-	5	人
オ	細胞診に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の専従又は専任のコメディカルスタッフ数	-	5	人
カ	細胞診に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の専従のコメディカルスタッフ数	-	5	人
キ	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性について、別紙18に記載すること	-	別紙18	
⑥ 画像診断				
機能				
ア	診断のダブルチェックを行っている。	-	はい	(はい・いいえ)
イ	必要に応じて外部にコンサルテーションできる体制が整っている。	-	はい	(はい・いいえ)
ウ	臨床グループとの合同カンファレンスを実施している。	-	はい	(はい・いいえ)
エ	臨床グループからの画像診断に対するフィードバックを体系的に得ている。	-	はい	(はい・いいえ)
オ	画像診断結果がデータベース化されている。	-	はい	(はい・いいえ)
カ	診断機器がオンライン化され、画像を院内の必要な部署から参照できる。	-	はい	(はい・いいえ)
キ	他医療機関からの診断コンサルテーションに対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
診療従事者				
ア	画像診断に携わる専門的な知識及び技能を有する専従又は専任医師数	-	15	人
イ	うち常勤	-	11	人
ウ	画像診断に携わる専門的な知識及び技能を有する専従医師数	-	15	人
エ	うち常勤	-	11	人
オ	CT検査およびMRI検査の画像診断の読影レポートが画像診断医にて8割以上作成されている。	-	はい	(はい・いいえ)
⑦ 病病連携・病診連携の協力体制				
ア	地域の医療機関から紹介されたがん患者の受入れを行うこと。また、がん患者の状況に応じ、地域の医療機関へがん患者の紹介を行っている。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	地域の医療機関との連携状況について、別紙19に記載すること。	-	別紙19	
ウ	病理診断又は画像診断に関する依頼、手術、放射線療法又は化学療法に関する相談など、地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制を整備している。	A	はい	(はい・いいえ)
エ	地域の医療機関との連携協力体制を整備について、別紙20に記載すること。	-	別紙20	
オ	我が国に多いがんについて、地域連携クリティカルパスを整備している。 *「地域連携クリティカルパス」とは、がん診療連携拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療役割分担表、共同診療計画表及び患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体像を体系化した表をいう。	C	はい	(はい・いいえ)
カ	地域連携クリティカルパスの整備状況について、別紙21に記載すること。	-	別紙21	
キ	地域連携クリティカルパスを活用するなど、地域の医療機関等と協力し、必要に応じて、退院時に当該がん患者に関する共同の診療計画の作成等を行っている。	C	はい	(はい・いいえ)
⑧ セカンドオピニオンの提示体制				
ア	我が国に多いがんについて、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制を有すること。 *「セカンドオピニオン」とは、診断及び治療法について、主治医以外の第三者の医師が提示する医療上の意見をいう。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	我が国に多いがん及び我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制について、別紙22に記載すること。	A	別紙22	
ウ	セカンドオピニオンに対応している旨の情報提供を実施している場合の広報手段			
	1.院内の見やすい場所に掲示している。	-	はい	(はい・いいえ)
	2.院内誌、チラシ等で広報している。	-	はい	(はい・いいえ)
	3.ホームページに掲載している。	-	はい	(はい・いいえ)
	掲載している場合、該当するページのURLを記載すること。	-	http:// med.osaka-cu.ac.jp/hosp/	
	4.地域の広報誌等で広報している。	-	はい	(はい・いいえ)
	5.その他の方法で掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
		その他の方法がある場合		
エ	セカンドオピニオンに関する詳細情報を別紙23に記載すること。	-	別紙23	
オ	セカンドオピニオン外来がある。	-	はい	(はい・いいえ)

⑨ その他				
スタッフのサポート体制				
ア	各診療科を包含する居室等を設置している。	C	はい	(はい・いいえ)
イ	地域がん診療連携拠点病院の長は、当該拠点病院においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。	A	はい	(はい・いいえ)
ウ	学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。	-	はい	(はい・いいえ)
エ	論文発表・学会発表を病院業績集で報告している。	-	はい	(はい・いいえ)
オ	全ての医療スタッフが必要時にインターネットに接続できる環境にある。	-	はい	(はい・いいえ)
リンパ浮腫の診療				
ア	リンパ浮腫外来がある。	-	はい	(はい・いいえ)
	担当科		麻酔科・ペインクリニック科	
イ	リンパ浮腫の入院治療に対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
(2) 医療施設				
① 年間入院がん患者数				
ア	年間入院がん患者数(1年間に入院したがん患者の延べ人数をいう。)が1,200人以上である。	C	はい	(はい・いいえ)
② 専門的ながん医療を提供するための治療機器及び治療室等の設置				
ア	放射線治療に関する機器を設置している。ただし、当該機器は、リニアックなど、体外照射を行うための機器であること。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	外来化学療法室を設置している。	A	はい	(はい・いいえ)
ウ	集中治療室を設置している。	C	はい	(はい・いいえ)
エ	白血病を専門とする分野に掲げている。	-	はい	(はい・いいえ)
オ	無菌病室を設置している。	-	設置	(設置、白血病を専門としているが設置なし、白血病を専門としていない)
カ	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場を設けている。	C	はい	(はい・いいえ)
キ	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の状況について別紙24に記載すること。	-	別紙24	
③ 敷地内禁煙等				
ア	敷地内禁煙の実施等のたばこ対策に積極的に取り組んでいる。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	禁煙の状況	-	敷地内を全面禁煙	(敷地内を全面禁煙、施設内のみを全面禁煙、その他)
			その他の場合記載	
ウ	禁煙外来を実施している。	-	はい	(はい・いいえ)
エ	「職場における喫煙対策のためのガイドライン」(平成15年)に準拠している	-	はい	(はい・いいえ)
2 研修の実施体制				
(1)	原則として、別途定める「プログラム」に準拠した当該2次医療圏においてがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修を毎年定期的実施している。 ※別途定める「プログラム」とは、厚生労働省健康局長通知「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成20年4月1日付け健発第0401016号)である。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	「プログラム」に準拠した当該2次医療圏においてがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修の実施状況について、別紙25に記載すること。	-	別紙25	
(2)	ア (1)のほか、原則として、当該2次医療圏においてがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断及び緩和ケア等に関する研修を実施すること。なお、当該研修については、実地での研修を行うなど、その内容を工夫するように努めている。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	当該2次医療圏においてがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断に関する研修の実施状況について別紙26に記載すること。	-	別紙26	
ウ	当該2次医療圏においてがん医療に携わる医師等を対象とした緩和ケアに関する研修の実施状況について別紙27に記載すること。	-	別紙27	
(3)	ア 診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンスを毎年定期的開催している。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	合同カンファレンスの実施状況について別紙28に記載すること。	-	別紙28	
(4)	ア 臨床研修を終了した医師を対象として、がん診療に専門的に携わる医師を育成することを目的に、放射線療法、化学療法、手術療法、緩和ケア等の複数の専門的な分野を横断的に実地研修することを内容に含む1年以上の研修プログラムを有している。	-	はい	(はい・いいえ)
イ	有している場合は、研修プログラムについて別紙29に記載すること。	-	別紙29	

3 情報の収集提供体制			
(1) 相談支援センター			
① がんに関する相談支援を行う機能を有する部門(以下「相談支援センター」という。)を設置	A	はい	(はい・いいえ)
ア がんの病態、標準的治療法等がん診療及びがんの予防・早期発見等に関する一般的な情報の提供を行っている	A	はい	(はい・いいえ)
イ 診療機能、入院・外来の待ち時間及び医療従事者の専門とする分野・経歴など、地域の医療機関及び医療従事者に関する情報の収集、提供を行っている。	A	はい	(はい・いいえ)
ウ セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介およびがん患者の療養上の相談を行っている。	A	はい	(はい・いいえ)
エ がん患者の療養上の相談を行っている。	A	はい	(はい・いいえ)
オ 地域の医療機関及び医療従事者等におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供を行っている。	A	はい	(はい・いいえ)
カ アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談を行っている。	A	はい	(はい・いいえ)
キ その他相談支援に関することを行っている。	A	はい	(はい・いいえ)
② 相談支援センターが提供している情報について別紙30に記載すること。		別紙30	
③ 相談支援センターが提供しているがん種別情報について別紙31に記載すること。		別紙31	
④ 相談支援センターにおける相談支援の相談件数と相談内容について別紙32に記載すること。		別紙32	
⑤ 相談支援センターの実績について別紙33に記載すること。		別紙33	
⑥ 相談支援センターの相談支援の相談対応状況について別紙34に記載すること。		別紙34	
⑦ 相談支援センターによる相談支援を受けられる旨について積極的に広報している。	A	はい	(はい・いいえ)
1. 院内の見やすい場所に掲示している。	—	はい	(はい・いいえ)
2. 院内誌、チラシ等で広報している。	—	はい	(はい・いいえ)
3. ホームページに掲載している。	—	はい	(はい・いいえ)
掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	—	http:// med.osaka-cu.ac.jp/hosp/	
4. 地域の広報誌等で広報している。	—	いいえ	(はい・いいえ)
5. その他の方法で掲載している。	—	いいえ	(はい・いいえ)
		その他の方法がある場合	
⑧ 国立がんセンターがん対策情報センター(以下「がん対策情報センター」という。)による研修を修了した専従及び専任の相談支援に携わる者をそれぞれ1人以上配置している。	A	はい	(はい・いいえ)
⑨ 「がん対策情報センター」による研修を修了した専任の相談支援に携わる者を配置している。	A	はい	(はい・いいえ)
ア がん対策情報センター相談支援センター相談員基礎研修会(1),(2),(3)の修了者数	A	1	人
イ がん対策情報センター相談支援センター相談員基礎研修会(1),(2)の修了者数	A	2	人
ウ がん対策情報センター相談支援センター相談員基礎研修会(1)のみの受講者	—	0	人
⑩ 院内及び地域の医療従事者の協力を得て、院内外のがん患者及びその家族並びに地域の住民及び医療機関等からの相談等に対応する体制を整備している。	A	はい	(はい・いいえ)
⑪ がんに関する相談等に対する体制について、別紙35に記載すること。	—	別紙35	
⑫ 相談支援センターの状況について別紙36(別ファイル)に記載すること。	—	別紙36(別添)	
⑬ がんに関する相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築に積極的に取り組んでいる。	A	はい	(はい・いいえ)
⑭ がん患者団体との連携協力体制の構築に関する取り組みについて、別紙37に記載すること。	—	別紙37	
⑮ 各種対応窓口について別紙38に記載すること。	—	別紙38	
(2) 院内がん登録			
① 健康局総務課長が定める「標準登録様式」に基づく院内がん登録を実施している。	A	はい	(はい・いいえ)
院内がん登録の登録項目数	—	61	項目
院内がん登録の登録実施項目について、別紙39に記載すること。	—	別紙39	
② がん対策情報センターによる研修を受講した専任の院内がん登録の実務を担う者を1人以上配置している。	A	はい	(はい・いいえ)
院内がん登録事務者の体制について別紙40に記載すること。	—	別紙40	
③ 毎年、院内がん登録の集計結果等をがん対策情報センターに情報提供している。	A	はい	(はい・いいえ)
院内がん登録の集計結果等をがん対策情報センターに情報提供できる対象	—	平成19年1月	診断例から
④ 院内がん登録を活用することにより、当該都道府県が行う地域がん登録事業に積極的に協力している。	A	該当都道府県に協力	(複数の都道府県に協力、該当都道府県に協力、所在都道府県において未実施、協力未実施)
ア 診断日から5年以内のフォローアップ率を把握している。	—	いいえ	(はい・いいえ)
イ 把握している場合は、最新の5年後フォローアップ率も記入すること。	—		%
ウ がん登録データを分析して、ステージ別の症例数を把握している。	—	はい	(はい・いいえ)
エ がん登録データを分析して、ステージ別の5年生存率を把握している。	—	いいえ	(はい・いいえ)
オ がん登録データをもとにして、治療関連死亡患者数を把握している。	—	把握していない	把握している、他の情報源から把握、把握していない
カ 生存率の計算をKaplan-Meier法を用いている	—	いいえ	(はい・いいえ)
⑤ ア 診療情報管理部門の専従または専任者スタッフ数	—	3	人
イ うち常勤	—	3	人
ウ 診療情報管理部門の専従者スタッフ数	—	0	人
エ うち常勤	—	0	人

(3)その他			
① 我が国に多いがん以外のがんについて、集学的治療等を提供する体制を有し、及び標準的治療等を提供している場合は、そのがんの種類等を広報している。	-	はい	(はい・いいえ)
1 院内の見やすい場所に掲示している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
2 院内誌、チラシ等で広報している。	-	はい	(はい・いいえ)
3 ホームページに掲載している。	-	はい	(はい・いいえ)
掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	-	http://med.osaka-cu.ac.jp/hosp/	
4 地域の広報誌等で広報している。	-	はい	(はい・いいえ)
5 その他の方法で掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
		その他の方法がある場合	
② 臨床研究等を行っている場合は、次に掲げる事項を実施すること。			
ア 進行中の臨床研究(治験を除く。以下同じ。)の概要及び過去の臨床研究の成果を広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
1 院内の見やすい場所に掲示している。	-	はい	(はい・いいえ)
2 院内誌、チラシ等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
3 ホームページに掲載している。	-	はい	(はい・いいえ)
掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	-	http://med.osaka-cu.ac.jp/hosp/	
4 地域の広報誌等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
5 その他の方法で掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
		その他の方法がある場合	
イ 参加中の治験について、その対象であるがんの種類及び薬剤名等を広報することが望ましい。	-		
1 院内の見やすい場所に掲示している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
2 院内誌、チラシ等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
3 ホームページに掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	-	http://	
4 地域の広報誌等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
5 その他の方法で掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
		その他の方法がある場合	
ウ 院内で実施の臨床研究・治験に関して、問い合わせに対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
窓口で対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
電話で対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
FAXで対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
e-mailで対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
③ その他の情報提供等			
ア 患者図書館やインターネット環境など、患者が使うことができる情報ツールがある。	-	いいえ	(はい・いいえ)
イ 地域住民を対象としたがん検診・がん予防・がん診療に係る公開講座、あるいはマスメディアを通じたがん診療に関する情報提供に取り組んでいる	-	はい	(はい・いいえ)
ウ 患者・市民向け講演会を定期的を開催している。	-	はい	(はい・いいえ)
エ 患者・市民向け講演会の実施情報について、別紙41に記載すること。	-	別紙41	
オ 地域住民に対する病院、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟(設置されているのみ)に関するアピールを別紙42に記載すること。	-	別紙42	

特定機能病院を地域がん診療連携拠点病院として指定する場合の指定要件について			
1 (1)	組織上明確に位置付けられた複数種類のがんに対し放射線療法を行う機能を有する部門(以下「放射線療法部門」という。)を設置している。	A	はい (はい・いいえ)
(2)	放射線療法部門の長として、専従又は専任の放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師を配置している。	A	はい (はい・いいえ)
(3)	放射線療法部門の長は、専従である。	C	はい (はい・いいえ)
(4)	放射線療法部門の状況について、別紙43に記載すること	—	別紙43
(5)	放射線療法部門の体制について、別紙44「」に記載すること	—	別紙44
(6)	組織上明確に位置付けられた複数種類のがんに対し化学療法を行う機能を有する部門(以下「化学療法部門」という。)を設置している。	A	はい (はい・いいえ)
(7)	化学療法部門の長として、専従又は専任の化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師を配置している。	A	はい (はい・いいえ)
(8)	化学療法部門の長は、専従である。	C	はい (はい・いいえ)
(9)	化学療法部門の状況について、別紙45に記載すること	—	別紙45
(10)	化学療法部門の状況について、別紙46に記載すること	—	別紙46
2 (1)	当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院等の医師等に対し、高度のがん医療に関する研修を実施している。	C	はい (はい・いいえ)
(2)	当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院等の医師等に対する高度のがん医療に関する研修を実施状況について別紙47に記載すること。	—	別紙47
3 (1)	他のがん診療連携拠点病院へ診療支援を行う医師の派遣に積極的に取り組んでいる。	A	はい (はい・いいえ)

都道府県がん診療連携拠点病院の指定要件について			
1 (1)	組織上明確に位置付けられた複数種類のがんに対し放射線療法を行う機能を有する部門(以下「放射線療法部門」という。)を設置している。	A	(はい・いいえ)
(2)	放射線療法部門の長として、専従又は専任の放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師を配置している。	A	(はい・いいえ)
(3)	放射線療法部門の長は、専従である。	C	(はい・いいえ)
(4)	放射線療法部門の状況について、別紙43に記載すること	—	別紙43
(5)	放射線療法部門の体制について、別紙44「に記載すること	—	別紙44
(6)	組織上明確に位置付けられた複数種類のがんに対し化学療法を行う機能を有する部門(以下「化学療法部門」という。)を設置している。	A	(はい・いいえ)
(7)	化学療法部門の長として、専従又は専任の化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師を配置している。	A	(はい・いいえ)
(8)	化学療法部門の長は、専従である。	C	(はい・いいえ)
(9)	化学療法部門の状況について、別紙45に記載すること	—	別紙45
(10)	化学療法部門の状況について、別紙46に記載すること	—	別紙46
2 (1)	当該都道府県においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を実施している。	A	(はい・いいえ)
(2)	がん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修の実施状況について別紙48に記載すること。	—	別紙48
3 (1)	地域がん診療連携拠点病院等に対し、情報提供、症例相談及び診療支援を行っている。	A	(はい・いいえ)
4 (1)	都道府県がん診療連携協議会を設置している。	A	(はい・いいえ)
(2)	都道府県がん診療連携協議会の開催状況について、別紙49に記載すること。	—	別紙49
(3)	都道府県がん診療連携協議会の体制について、別紙50に記載すること。	—	別紙50
(4)	当該都道府県におけるがん診療の連携協力体制及び相談支援の提供体制その他のがん医療に関する情報交換を行っている。	A	(はい・いいえ)
(5)	当該都道府県内の院内がん登録のデータの分析、評価等を行っている。	A	(はい・いいえ)
(6)	がんの種類ごとに、当該都道府県においてセカンドオピニオンを提示する体制を有するがん診療連携拠点病院を含む医療機関の一覧を作成・共有し、広報している。	A	(はい・いいえ)
(7)	都道府県がん診療連絡協議会で作成しているがんの種類ごとに、当該都道府県においてセカンドオピニオンを提示する体制を有するがん診療連携拠点病院を含む医療機関の一覧を別紙51として、提出すること。	—	別紙51(任意)
(8)	都道府県がん診療連絡協議会で作成しているがんの種類ごとに、当該都道府県においてセカンドオピニオンを提示する体制を有するがん診療連携拠点病院を含む医療機関の一覧を広報している。	A	(はい・いいえ)
	1 院内の見やすい場所に掲示している。	—	(はい・いいえ)
	2 院内誌、チラシ等で広報している。	—	(はい・いいえ)
	3 ホームページに掲載している。	—	(はい・いいえ)
	掲示している場合は、該当ページのURLを記載すること。	—	http://
	4 地域の広報誌等で広報している。	—	(はい・いいえ)
	5 その他の方法で掲示している。	—	(はい・いいえ)
		その他の方法がある場合	
(9)	当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院への診療支援を行う医師の派遣に係る調整を行っている。	A	(はい・いいえ)
(10)	当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院が作成している地域連携クリティカルパスの一覧を作成・共有している。	A	(はい・いいえ)
(11)	我が国に多いがん以外のがんについて、地域連携クリティカルパスを整備している。	C	(はい・いいえ)
(12)	都道府県がん診療連絡協議会で作成している当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院が作成している地域連携クリティカルパスの一覧を別紙52として提出すること。	—	別紙52(任意)
(13)	当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修その他各種研修に関する計画を作成している。	A	(はい・いいえ)
(14)	都道府県がん診療連絡協議会で作成している県内の地域がん診療拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修その他各種研修に関する計画を別紙53として、提出すること。	—	別紙53(任意)

保有する放射線診療機器等の一覧

期間 平成22年9月1日現在

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

コンピュータ断層撮影装置(CT)

	メーカー	機種名	導入年月日	検出器の列数
(例)	○社	ABC-12	2009/10/1	64列
1	シーメンス	Sensation Cardiac 64	2006/3/28	32列64スライス
2	東芝	Asteion	2001/3/31	4列
3	東芝	X Vigor	1995/3/31	シングルスライス1列
4	東芝	Aquilion	2000/3/31	4列
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				

磁気共鳴断層撮影装置(MRI)

	メーカー	機種名	導入年月日	磁場強度 (テスラ数)	マンモコイルの有無
(例)	○社	ABC-12	2008/5/1	1.5T	あり
1	シーメンス	MAGNETOMU Avanto	2006/1/30	1.5T	あり
2	GE横河	Holizon LX	1999/3/31	1.5T	あり
3	フィリップス	Achieva HP	2009/3/31	1.5T	あり
4	フィリップス	Achieva 3.0T	2009/3/31	3.0T	あり
5					
6					
7					
8					
9					
10					

核医学検査に関する放射線診断装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	PET装置	○社	ABC-12	2009/4/4	
1	スベクトCT	日立	BRIGHTBIEW X	2010/3/31	
2	ガンマカメラ	ADAC	FORTE	2000/3/1	
3	ガンマカメラ	ADAC	VERTEX-PLUS	1997/3/1	
4	スベクト専用ガンマカメラ	東芝	GCA9300A	1992/3/1	
5	ポジトロンCT	島津	eminence SET-3000B/L	2005/3/7	
6	PET-CT	シーメンス	Biograph 16	2010/6/30	
7					
8					

マンモトーム

	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	○社	ABC-12	2009/4/4	
1	東芝	Mammorex	2001/3/31	
2				
3				
4				

血管造影連続撮影検査(またはIVR専用)に関する放射線診断装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	DSA	○社	ABC-12	2009/4/4	
1	心血管撮影	Philips	INTRGRIS Allura9C	2003/3/31	
2	腹部血管撮影	東芝	Infinix Activ	2000/3/31	
3	透視撮影	日立	Medix 130X	1994/3/31	
4	脳血管撮影	日立	SX-VA30	2002/3/31	
5					

外部照射装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	X線出力エネルギー	幅1cm以下の多段コリメータの有無
(例)	リニアック	○社	ABC-12	2008/10/1	6MV、10MV	あり
1	リニアック	東芝	Mevatron KD2 PRIMUS	2002/3/31	6MV、10MV	あり
2	リニアック	Elekta	Synergy	2008/3/31	4MV、6MV、10MV	あり
3						
4						
5						
6						
7						
8						

小線源治療装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	使用線源
(例)	マイクロセレクトロン	○社	ABC-12	2007/12/1	イリジウム-192
1	RALS	Nucletron	マイクロセレクトロンHDR	2000/3/31	イリジウム-192
2	永久刺入	CMS	Inter plant	2007/9/30	ヨウ素-125
3					
4					
5					

放射線治療計画システム

X線シミュレータの有無

	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	○社	ABC-12	2008/10/10	
1	東芝	RTP-12303J(KXO-80C)	2000/3/31	血管造影兼用装置
2	東芝	LX-40B	2003/2/3	
3				
4				
5				

放射線治療計画専用CTの有無

	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	○社	ABC-12	2008/10/10	
1	東芝	Asteion Multi	2003/2/3	
2				
3				
4				
5				
6				

三次元放射線治療計画ワークステーションの有無

	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	○社	ABC-12	2008/10/10	
1	日立	Pinnacle	2008/3/31	
2	3Dライン	ERGO	2008/3/31	
3	CMS	FOCUS	2002/3/31	
4				
5				
6				
7				
8				

バーチャルスライド装置

	メーカー	機種名	導入年月日
(例)	○社	ABC-12	2008/10/10
1	なし		
2			
3			

高度医療への対応状況（がんに関するもの）

期間 平成22年4月1日～8月31日

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

	高度医療技術名	第2項/第3項(※)	承認年月日	実施件数	担当診療科名
(例)	高周波切除器を用いた子宮筋核手術	第2項	平成21年4月1日	10	婦人科
1	内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	第2項	平成22年4月1日	10	消化器内科
2	化学療法に伴うカフェイン併用療法	第3項	平成19年2月1日	15	整形外科
3	経皮的肺がんラジオ波焼灼療法	第3項	平成20年3月3日	0	放射線科
4	経皮的腎がんラジオ波焼灼療法	第3項	平成20年3月3日	0	放射線科
5	経皮的骨形成術	第3項	平成20年3月3日	0	放射線科
6	CT透視ガイド下経皮的骨腫瘍ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍)	第3項	平成20年4月1日	0	放射線科
7	CT透視ガイド下経皮的骨腫瘍ラジオ波焼灼療法(類骨腫)	第3項	平成20年4月1日	0	放射線科
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

注)「厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準」(平成20年厚生労働省告示第129号)第2項各号に掲げる先進医療、同告示第3項各号に掲げる先進医療の区別を記入。

診療機能

期間 平成22年9月1日時点

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の当該疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載内容				左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野の掲載 (はい・いいえ)		
(例) 肺がん	診療可	手術	開胸手術	実施可	あり	呼吸器外科	2	はい	いいえ	はい	http://.....
			胸腔鏡下手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	腫瘍内科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	5	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	実施可	あり						
定位放射線治療	実施可	あり									
集学的治療		実施可		上記の科							
肺がん	診療可	手術	開胸手術	実施可	あり	呼吸器外科	3	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgery2/thoracic/index.html
			胸腔鏡下手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	呼吸器内科	8	いいえ	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/kokyuki/
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	3	はい	いいえ	いいえ	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/radiology/introduction.html
			定位放射線治療	未実施	なし						
小線源治療	実施可	なし									
光線力学療法		未実施	なし								
集学的治療		実施可		上記の科							
胃がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	消化器外科 2外食道(肝胆膵外科)	6 5	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgery2/shokakig/index.html
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
		内視鏡的治療	粘膜切除術(EMR)	実施可	あり	消化器内科	7	はい	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/syoukaki/
			粘膜下層剥離術(ESD)	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	消化器内科 消化器外科	2 6	はい	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/syoukaki/ http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		光線力学療法		未実施	なし						
集学的治療		実施可		上記の科							
大腸がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	消化器外科 2外食道(肝胆膵外科)	3 5	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgery2/shokakig/index.html
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
		内視鏡的治療	粘膜切除術(EMR)	実施可	あり	消化器内科	6	はい	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/syoukaki/
		化学療法		実施可	あり	消化器内科 消化器外科	2 3	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/syoukaki/ http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	3	はい	いいえ	いいえ	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/radiology/introduction.html
小線源治療	未実施		なし								

		集学的治療	実施可		上記の科		
--	--	-------	-----	--	------	--	--

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の当該疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載内容				
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可	
肝がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	消化器外科 肝胆膵外科	3 10	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology/ http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgery2/
		化学療法		実施可	あり	消化器外科 肝胆膵外科	3 10	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology/ http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgery2/
		穿刺療法	ラジオ波焼灼療法	実施可	あり	肝胆膵内科 消化器外科 肝胆膵外科	7 3 10	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/syোকaki/ http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology/ http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgery2/
			マイクロ波凝固法	実施可	あり						
			エタノール局所注入療法	実施可	あり						
		肝動脈塞栓術(TAE)		実施可	あり	放射線科 肝胆膵外科	4 10	はい	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/radiology/introduction.html http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgery2/
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	3	はい	いいえ	いいえ	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/syোকaki/ http://www.med.osaka-cu.ac.jp/radiology/introduction.html
定位放射線治療	未実施		なし								
集学的治療		実施可		上記の科							
乳がん	診療可	手術	乳房切除	実施可	あり	乳腺・内分泌外科	3	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology/
			乳房温存	実施可	あり						
			乳房再建	実施可	あり	形成外科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	乳腺・内分泌外科	3	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology/
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	3	はい	いいえ	いいえ	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/radiology/introduction.html
			小線源治療	未実施	なし						
		冷凍凝固摘出術		未実施	なし						
集学的治療		実施可		上記の科							

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年の 実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況				
							治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い いえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です	
脳腫瘍	診療可	手術	実施可	あり	脳神経外科	6	はい	いいえ	いいえ	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/Neurosurg/clinic/index.html	
		化学療法	実施可	あり	脳神経外科	4	はい	いいえ	いいえ	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/Neurosurg/clinic/index.html	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科 脳神経外科	3 1	はい	いいえ	いいえ	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/radiology/introduction.html
			定位放射線治療	実施可	あり						
			強度変調放射線治療(IMRT)	実施可	あり						
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療	実施可		上記の科						
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例:神経膠腫(びまん性星細胞腫、退形成性星細胞腫、膠芽腫など)、髄膜腫、神経鞘腫、下垂体腺腫、胚細胞腫、悪性リンパ腫、頭蓋咽頭腫など										
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	神経膠腫、下垂体腺腫、聴神経鞘腫、髄膜腫、随芽腫、転移性脳腫瘍、胚細胞腫、頭蓋咽頭腫										
脊髄腫瘍	診療可	手術	未実施	なし							
		化学療法	未実施	なし							
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			定位放射線治療	未実施	なし						
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療	未実施								
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例:脊髄腫瘍など										
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	膠芽腫										
眼、眼窩腫瘍	診療可	手術	未実施	なし							
		冷凍凝固術	実施可	なし	眼科	3	いいえ	いいえ	いいえ		
		光凝固術	実施可	なし	眼科	3	いいえ	いいえ	いいえ		
		化学療法	未実施	なし							
		眼動注	未実施	なし							
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
集学的治療	未実施										
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例:眼瞼腫瘍、結膜腫瘍、網膜芽細胞腫、ぶどう膜悪性黒色腫、涙腺腫瘍など										
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	なし										

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況				左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)		
頭頸部がん	診療可	手術	摘除術、再建術	実施可	あり	耳鼻咽喉科	4	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/jibika/
		化学療法		実施可	あり	耳鼻咽喉科	4	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/jibika/
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	3	はい	いいえ	いいえ	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/radiology/introduction.html
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	実施可	なし						
		集学的治療		実施可		上記の科、麻酔科					
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例: 上咽頭がん、中咽頭がん、下咽頭がん、喉頭がん、舌がん、歯肉がん、頬粘膜がん、唾液腺がん、上顎がん、下顎がん、鼻腔がんなど									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		上咽頭がん、中咽頭がん、下咽頭がん、咽頭がん、舌がん、歯肉がん、頬粘膜がん、唾液腺がん、上顎がん、下顎がん、鼻腔がん、外耳道がん									
甲状腺がん	診療可	手術		実施可	あり	乳腺・内分泌外科	4	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology/
		化学療法		実施可	あり	乳腺・内分泌外科	4	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology/
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	乳腺・内分泌外科 放射線治療科 核医学科	4 3 2	はい	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology/ http://www.med.osaka-cu.ac.jp/nucmed/iodine.html
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
			放射性ヨード内服治療	実施可	あり						
集学的治療		実施可		上記の科							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例: 甲状腺がん									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		甲状腺がん									
食道がん	診療可	手術	開胸手術	実施可	あり	消化器外科 2外食道(肝胆膵外科)	3 5	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology/
			胸腔鏡下手術	実施可	あり						
		内視鏡的治療	粘膜切除術(EMR)	実施可	あり	消化器内科	3	はい	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/syোকaki/
			粘膜下層剥離術(ESD)	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	消化器内科 消化器外科 2外食道(肝胆膵外科)	2 3 5	はい	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/syোকaki/ http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology/
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	消化器内科 放射線治療科	3 3	はい	いいえ	いいえ	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/syোকaki/
			小線源治療	実施可	なし						
		光線力学療法		未実施	なし						
集学的治療		実施可		上記の科							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例: 頸部食道がん、胸部食道がん、食道胃接合部がん(腹部食道がん)など									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		頸部食道がん、胸腹部食道がんなど									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績											
		治療内容		現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年の 実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況					
								治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い いえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です		
縦隔腫瘍	診療可	手術	開胸手術	未実施	なし								
		化学療法		実施可	あり	呼吸器内科	8	いいえ	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/kokyuki/		
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	3	いいえ	いいえ	いいえ			
		集学的治療		実施可		上記の科							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:胸腺腫など									
		※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		胸腺腫、胸腺カルチノイド腫瘍									
中皮腫	診療可	手術		未実施	なし								
		化学療法		実施可	あり	呼吸器内科	8	いいえ	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/kokyuki/		
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	3	いいえ	いいえ	いいえ			
		集学的治療		実施可		上記の科							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:中皮腫									
		※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		中皮腫									
膵がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	消化器外科 肝胆膵外科	4 10	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology/ http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgery2/		
		化学療法		実施可	あり	消化器内科 消化器外科 肝胆膵外科	2 4 10	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/syokaki/ http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology/ http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgery2/		
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科 消化器外科	3 4	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology/		
		集学的治療		実施可		上記の科							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:膵がん									
		※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		膵がん、その他の膵腫瘍									
胆道がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	消化器外科 肝胆膵外科	3 10	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology/ http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgery2/		
		化学療法		実施可	あり	消化器内科 消化器外科 肝胆膵外科	2 3 10	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/syokaki/ http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology/ http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgery2/		
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	消化器内科 放射線治療科	2 3	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/syokaki/ http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology/		
			小線源治療	実施可	なし	消化器外科	3						
		集学的治療		実施可		上記の科							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:胆管がん、胆嚢がん、乳頭部がん									

		※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	胆道がん、胆管がん、胆嚢がん、乳頭部がん
--	--	---------------------------	----------------------

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績											
		治療内容		現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年の 実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況				左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です	
								治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い いえ)			
十二指腸・小腸がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	消化器外科 肝胆膵外科	3 10	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology/ http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgery2/		
		化学療法		実施可	あり	消化器内科 消化器外科 肝胆膵外科	2 3 10	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/syokaki/ http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology/ http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgery2/		
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	3	いいえ	いいえ	いいえ			
		集学的治療		実施可		上記の科							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:乳頭部がん、十二指腸がん、小腸がんなど									
		※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		十二指腸がん、乳頭部がん									
腎がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	7	はい	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology		
			腹腔鏡下手術	実施可	あり								
			腹腔鏡下小切開手術	実施可	あり								
		化学療法		未実施	なし								
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科 泌尿器科	3 7	はい	いいえ	いいえ	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology		
		インターフェロン療法		実施可	あり	泌尿器科	7	はい	いいえ	いいえ	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology		
集学的治療		実施可		上記の科									
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:腎がん											
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		腎がん											
膀胱がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	7	はい	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology		
			経尿道的手術	実施可	あり								
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	7	はい	いいえ	いいえ	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology		
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科 泌尿器科	3 7	はい	いいえ	いいえ	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology		
		膀胱内注入療法		実施可	あり	泌尿器科	7	はい	いいえ	いいえ	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology		
		集学的治療		実施可		上記の科							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:膀胱がん											
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		膀胱がん											

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年の 実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況				左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
							治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い いえ)		
尿路がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	7	はい	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
			経尿道的手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	7	はい	いいえ	いいえ	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科 泌尿器科	3 7	はい	いいえ	いいえ	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology
		腎盂・尿管内注入療法	実施可	あり	泌尿器科	7	はい	いいえ	いいえ	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology	
		集学的治療	実施可		泌尿器科						
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください	例:腎盂がん、尿管がん、尿道がんなど 腎盂がん、尿管がん、尿道がん								
副腎腫瘍	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	乳腺・内分泌外科 泌尿器科	2 7	いいえ	いいえ	いいえ	
			化学療法	実施可	あり	泌尿器科	7	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科 泌尿器科	3 7	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療	実施可		上記の科						
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください	例:褐色細胞腫、副腎皮質がんなど 褐色細胞腫、副腎皮質がん								
前立腺がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	7	はい	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
			腹腔鏡下小切開手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	7	はい	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科 泌尿器科	3 7	はい	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology http://www.med.osaka-cu.ac.jp/radiology/introduction.html
			強度変調放射線治療 (IMRT)	実施可	あり	放射線治療科 泌尿器科	3 7	はい	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology http://www.med.osaka-cu.ac.jp/radiology/introduction.html
			小線源治療	実施可	あり	放射線治療科 泌尿器科	3 7	はい	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology http://www.med.osaka-cu.ac.jp/radiology/introduction.html
		集学的治療	実施可		上記の科						
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください	例:前立腺がん 前立腺がん										

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
精巣がん	診療可	手術		実施可	あり	泌尿器科	7	はい	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	7	はい	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科 泌尿器科	3 7	はい	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology
		集学的治療		実施可		泌尿器科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:精巣がん							
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		精巣がん									
その他の男性生殖器がん	診療可	手術		実施可	あり	泌尿器科	7	はい	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	7	はい	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科 泌尿器科	3 7	はい	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology
		集学的治療		実施可		泌尿器科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:陰茎がん							
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		陰茎がん									
子宮がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	産婦人科	11	いいえ	いいえ	いいえ	
			腹腔鏡下手術(腔式)	未実施	なし						
		化学療法		実施可	あり	産婦人科	11	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科 産婦人科	3 11	はい	いいえ	いいえ	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/radiology/introduction.html
			小線源治療	実施可	あり						
		光線力学療法		未実施	なし						
集学的治療		実施可		産婦人科							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:子宮頸がん、子宮体がん									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		子宮頸がん、子宮対がん									
卵巣がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	産婦人科	11	いいえ	いいえ	いいえ	
			化学療法	実施可	あり	産婦人科	11	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		産婦人科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:卵巣がん							
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		卵巣がん									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	貴院における各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年の 実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・ いいえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
その他の女性 生殖器がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	産婦人科	11	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	産婦人科	11	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科 産婦人科	3 11	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療		実施可		上記の科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:子宮肉腫、絨毛がん、卵管がん、膣がん、外陰がんなど							
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		子宮肉腫、絨毛がん、卵管がん、膣がん、外陰がん									
皮膚腫瘍	診療可	手術		実施可	あり	皮膚科 形成外科	3 2	いいえ	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/PRsurgery/
		化学療法		実施可	あり	皮膚科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	皮膚科 放射線治療科	3 3	はい	いいえ	いいえ	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/radiology/introduction.html
			インターフェロン療法		実施可						
		凍結療法		実施可	なし	皮膚科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		上記の科					
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:悪性黒色腫、乳房外パジェット、基底細胞がん、有棘細胞がんなど									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		悪性黒色腫、乳房外パジェット、基底細胞がん、有棘細胞がん、メルケル細胞癌									
悪性骨 軟部腫瘍	診療可	手術	切・離断術	実施可	あり	整形外科	2	はい	はい	はい	http://med.osaka-cu.ac.jp/orthoped/
			患肢温存術	実施可	あり						
			再建術	実施可	あり						
			骨移植術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	皮膚科 整形外科	3 2	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/orthoped/
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	皮膚科 放射線科 整形外科	3 3	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/radiology/introduction.html
小線源治療	未実施		なし	2							
集学的治療		実施可		整形外科							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:骨肉腫、軟骨肉腫、Ewing肉腫、悪性線維性組織球腫、横紋筋肉腫、平滑筋肉腫、血管肉腫、線維肉腫など									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		血管肉腫、首内腫、軟骨肉腫、Ewing、悪性線維性組織球腫、平滑筋肉腫、脂肪肉腫、胞巣状軟部肉腫など									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況				
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です	
血液腫瘍	診療可	化学療法	実施可	あり	血液内科・造血細胞移植科	19	はい	はい	はい	http://medwebsv.med.osaka-cu.ac.jp/labmed/index.html	
		移植	自家末梢血幹細胞移植	実施可	あり	血液内科・造血細胞移植科	19	はい	はい	はい	http://medwebsv.med.osaka-cu.ac.jp/labmed/index.html
			血縁者間同種造血幹細胞移植	実施可	あり						
			非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移植	実施可	あり						
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	血液内科・造血細胞移植科 放射線治療科	19 3	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/radiology/introduction.html
			全身照射	実施可	あり	血液内科・造血細胞移植科、放射線治療科	19 3	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/radiology/introduction.html
		集学的治療	実施可		血液内科・造血細胞移植科、放射線治療科、呼吸器内科、皮膚科、消化器内科						
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫など 急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫									
小児脳腫瘍	診療可	手術	未実施	なし							
		化学療法	未実施	なし							
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			定位放射線治療	未実施	なし						
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療	未実施								
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:神経膠腫、頭蓋咽頭腫、髄芽腫、胚細胞腫など 横紋筋肉腫									
小児網膜芽細胞腫	診療可	手術	未実施	なし							
		化学療法	未実施	なし							
		眼動注	未実施	なし							
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	未実施	なし						
		冷凍凝固術	実施可	なし	眼科	3	いいえ	いいえ	いいえ		
		光凝固術	実施可	なし	眼科	3	いいえ	いいえ	いいえ		
集学的治療	未実施										
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:小児網膜芽細胞腫 なし									
小児固											

形腫瘍	各治療の実施状況と実績										
	診療状況 (診療可・診療不可)	治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況				
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です	
小児悪性骨軟部腫瘍	診療可	手術	実施可	あり	整形外科	2	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/orthoped/	
		化学療法	実施可	あり	整形外科	2	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/orthoped/	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療	実施可		整形外科						
	昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:横紋筋肉腫、線維肉腫、骨腫瘍、ユーイング肉腫など								
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		ユーイング肉腫、横紋筋肉腫など									
その他の小児固形腫瘍	診療可	手術	実施可	あり	小児外科	1	はい	いいえ	いいえ	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgery2/surgery/04/index01.html	
		化学療法	実施可	あり	小児科	2	いいえ	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/pediat/	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療	実施可		上記の科						
	昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:神経芽細胞腫、Wilms腫瘍、肝芽腫など								
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		隣芽腫、卵巣腫瘍、副腎がん、脳腫瘍									
小児血液腫瘍	診療可	化学療法	実施可	あり	小児科	2	いいえ	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/pediat/	
		移植	自家末梢血幹細胞移植	実施可	あり	小児科	2	いいえ	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/pediat/
			血縁者間同種造血幹細胞移植	実施可	なし						
			非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移植	実施可	なし						
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
	小線源治療		未実施	なし							
集学的治療	実施可		上記の科								
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫など									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、骨髄異形成、非ホジキンリンパ腫									
原発不明がん	診療可	手術	実施可	あり	整形外科	2	いいえ	いいえ	いいえ		
		化学療法	実施可	あり	呼吸器内科 消化器内科	8 2	いいえ	いいえ	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/kokyuki/ http://www.med.osaka-cu.ac.jp/syoukaki/	
		放射線療法	実施可	あり	放射線治療科	3	いいえ	いいえ	いいえ		
		集学的治療	実施可		上記の科						
	昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:原発不明がん								
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		原発不明がん									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
性腺外胚細胞腫	診療可	手術	未実施	なし						
		化学療法	実施可	あり	泌尿器科	7	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	実施可	あり	放射線治療科 泌尿器科	3 7	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療	実施可		泌尿器科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:性腺外胚細胞腫 性腺外胚細胞腫							
GIST (Gastrointestinal Stromal Tumor: 消化管間質腫瘍)	診療可	手術	実施可	あり	消化器外科 肝胆膵外科	5 10	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法	実施可	あり	消化器外科 肝胆膵外科	5 10	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	未実施	なし						
		集学的治療	実施可		上記の科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:GIST 胃GIST							
その他疾患名: 後腹膜悪性腫瘍	診療可	手術	実施可	あり	肝胆膵外科	10	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgery2/
		化学療法	実施可	あり	肝胆膵外科	10	はい	はい	はい	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgery2/
		放射線療法	未実施	なし						
		集学的治療	実施可		上記の科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	平滑筋肉腫(後腹膜原発、下大静脈原発)							
その他疾患名:		手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください								
その他疾患名:		手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください								

院内クリティカルパス(がんに関するもの)

期間 平成22年 6月 1日 ~ 7月31日

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

パス整備数 44

パス適応数 326

	がんの種類	治療内容	院内クリティカルパス名	新規の適 応患者数	最終更新日
(例)	肺がん	手術療法	開胸肺葉切除術パス	8	2009/10/1
(例)	肺がん	化学療法	カルボプラチン・パクリタキセル併用療法パス	1	2008/5/1
(例)	大腸がん	手術療法	結腸切除パス	6	2010/1/20
1	肺がん	その他	イレッサ 第2版	2	2009/8/20
2	肺がん	その他	タルセバ 第2版	1	2009/8/20
3	大腸がん	手術療法	EMR/polypectomy<大腸>午後dpcつき	45	2009/1/26
4	大腸がん	手術療法	EMR/polypectomy<大腸>午前dpcつき	31	2009/1/26
5	大腸がん	手術療法	EMR/polypectomy<大腸>午後	10	2010/4/12
6	大腸がん	手術療法	EMR/polypectomy<大腸>午前	8	2010/4/12
7	食道がん	手術療法	ESD<食道>午後	2	2010/4/12
8	肝がん	手術療法	RFA(午後)パス	17	2010/7/29
9	肝がん	手術療法	肝TAE①後半9時plt \geq 5万かつPT \geq 70%	19	2010/3/3
10	肝がん	手術療法	肝TAE③後半9時plt<5万またはPT<70%	7	2010/3/3
11	肝がん	手術療法	肝TAE②後半9時plt \geq 5万かつPT \geq 70%	3	2010/3/3
12	肝がん	手術療法	肝TAE①後半9時plt<5万またはPT<70%	1	2010/3/3
13	肝がん	手術療法	肝TAE③後半9時plt \geq 5万かつPT \geq 70%	1	2010/3/3
14	肝がん	手術療法	肝TAE①後半9時 抗凝固薬継続中	1	2010/3/3
15	肝がん	手術療法	肝TAE①後半午前plt \geq 5万かつPT \geq 70%	17	2010/3/3
16	肝がん	手術療法	肝TAE②後半午前plt \geq 5万かつPT \geq 70%	3	2010/3/3
17	肝がん	手術療法	肝TAE①後半午前plt<5万またはPT<70%	2	2010/3/3
18	肝がん	手術療法	肝TAE③後半午前plt<5万またはPT<70%	2	2010/3/3
19	肝がん	手術療法	肝TAE③後半午前plt \geq 5万かつPT \geq 70%	2	2010/3/3
20	肝がん	手術療法	肝TAE①後半午前 抗凝固薬継続中	2	2010/3/3
21	肝がん	手術療法	肝TAE③後半午前 抗凝固薬継続中	1	2010/3/3
22	肝がん	手術療法	肝TAE①後半午後plt \geq 5万かつPT \geq 70%	4	2010/3/3

23	肝がん	その他	PEIT(午後)パス	6	2010/7/29
24	甲状腺がん	その他	RI I131内服 1泊2日用	8	2010/1/28
25	甲状腺がん	その他	RI I131内服 3泊4日入院	7	2010/1/28
26	肺がん	手術療法	肺RFA(胸部悪性腫瘍CTガイド下RFA)	1	2010/3/3
27	胃がん	手術療法	胃部分切除術(入院～退院)	24	2010/3/26
28	大腸がん	手術療法	腹腔鏡下結腸部分切除術	10	2010/6/9
29	大腸がん	手術療法	結腸部分切除術	4	2010/6/9
30	大腸がん	手術療法	腹腔鏡下直腸部分切除術	3	2007/4/21
31	大腸がん	手術療法	直腸部分切除術	3	2007/4/21
32	肺がん	その他	1:短期CDDP併用day1-3抗癌剤投与 第3版	1	2009/8/20
33	乳がん	手術療法	乳腺腫瘍切除術2/12～	16	2010/3/17
34	甲状腺がん	手術療法	甲状腺腫瘍切除術2/12～	13	2010/3/17
35	甲状腺がん	手術療法	副甲状腺腫瘍切除術2/12～	2	2010/3/17
36	肝がん	手術療法	パス肝切除(4日前)	8	2010/7/15
37	肝がん	手術療法	パス肝切除(2日前)	2	2010/7/15
38	膀胱がん	手術療法	経尿道的膀胱腫瘍切除術(腰椎麻酔)	19	2010/3/17
39	前立腺がん	放射線療法	前立腺密封小線源療法(サドルブロック)	3	2010/3/17
40	子宮がん	手術療法	子宮頸部円錐切除術(セフメタゾン)腰椎麻酔1	6	2010/3/26
41	子宮がん	手術療法	子宮頸部円錐切除術(ファーストシン)腰椎麻酔1	2	2010/3/26
42	子宮がん	手術療法	子宮頸部円錐切除術(ファーストシン)全身麻酔	1	2010/3/26
43	皮膚腫瘍	その他	フェロン300万単位単独療法パス	5	2010/6/1
44	皮膚腫瘍	その他	DAV-feron/パス	1	2010/6/1
45					
46					
47					
48					
49					
50					
51					
52					

53					
54					
55					
56					
57					
58					
59					
60					
61					
62					
63					
64					
65					
66					
67					
68					
69					
70					
71					
72					
73					
74					
75					
76					
77					
78					
79					
80					
81					
82					

83					
84					
85					
86					
87					
88					
89					
90					
91					
92					
93					
94					
95					
96					
97					
98					
99					
100					
101					
102					
103					
104					
105					
106					
107					
108					
109					
110					
111					
112					

がんサーボードの体制および開催実績

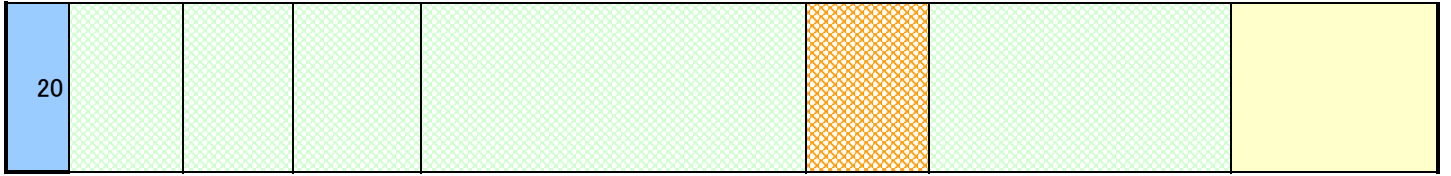
期間 平成22年 6月 1日 ～ 7月31日

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

開催数 56 回

がんサーボード名	がん種	メンバーの診療科名	メンバー職名・職種(◎:リーダー)	開催数(回)	内容	新規治療開始患者のうち検討症例の割合	
(例)	乳がんカンファレンス	乳がん	乳腺外科 腫瘍内科	◎乳腺外科部長、乳腺外科医、腫瘍内科医、放射線治療医、放射線診断医、内視鏡医、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー	6	新規治療開始患者の治療方針の決定および経過報告をする。	全例実施 75%以上100%未満 50%以上-75%未満 25%以上-50%未満 25%未満実施
1	肺がんカンファレンス	肺がん	呼吸器内科 呼吸器外科 放射線治療科	◎化学療法センター長・呼吸器内科准教授、呼吸器内科医、呼吸器外科医、放射線治療科医、病理診断医、薬剤師	9	新規治療開始患者の治療方針の決定および経過報告をする。	50%以上-75%未満 実施
2	造血幹細胞移植サポートチームカンファレンス	白血病、悪性リンパ腫	血液内科・造血細胞移植科、放射線治療科、リハビリテーション科	血液内科部長、血液内科医、放射線治療医、整形外科医、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士、臨床検査技師、移植コーディネーター	4	移植患者の治療方針、支持療法、ケアについての検討	50%以上-75%未満 実施
3	耳鼻咽喉科・放射線治療科カンファレンス	頭頸部癌	耳鼻咽喉科 放射線科	耳鼻咽喉科頭頸部グループ医師、放射線治療医	2	頭頸部癌新規治療患者の治療方針決定および治療中患者の経過報告	全例実施
4	上部消化管がん(胃がん、食道がん)カンファレンス	胃がん 食道がん	消化器外科 消化器内科 内視鏡センター	消化器外科医、消化器内科医	3	食道がん、胃がん症例の内科的・外科的治療の選択について	75%以上-100%未満 実施
5	肝胆膵カンファレンス	肝がん 膵がん 胆道がん	消化器外科 消化器内科	消化器外科医、消化器内科医	9	診断および治療法の検討	75%以上-100%未満 実施
6	乳腺内分泌カンファレンス	乳がん 甲状腺がん 副腎腫瘍	乳腺内分泌外科	乳腺内分泌外科医、看護師、薬剤師、検査技師	9	診断および治療方針の決定と経過報告	全例実施
7	大腸がんがんサーボード	大腸癌	消化器外科	消化器外科医、化学療法認定看護師、化学療法センター看護師、薬剤師	3	治療方針の決定	50%以上-75%未満 実施
8	骨転移疼痛緩和カンファレンス	骨転移	核医学 内分泌外科 呼吸器内科 泌尿器科 整形外科 麻酔科	核医学科部長、各科医師	1	Sr-89の適用の紹介と症例検討	25%未満 実施

9	胃がんカンファレンス	胃がん	消化器内科 腫瘍外科	腫瘍外科 准教授 消化器内科 准教授 その他医師	4	外科、内科境界病変の方針決定	50%以上-75%未満実施
10	肝がんカンファレンス	肝胆膵の悪性腫瘍	肝胆膵外科 肝胆膵内科 放射線科 病理部	◎肝胆膵外科医 肝胆膵内科医 放射線科医 病理医	2	肝胆膵悪性腫瘍の画像診断、治療方針の決定、臨床病理カンファレンス	25%以上-50%未満実施
11	分子標的薬の副作用対策カンファレンス	肝癌	化学療法センター 肝胆膵外科 肝胆膵内科 皮膚科 看護部	◎肝胆膵外科医 肝胆膵内科医 化学療法センター 皮膚科医 がん化学療法看護認定看護師 皮膚排泄ケア認定看護師 がん専門看護師	2	分子標的薬の副作用への対応	25%以上-50%未満実施
12	神経病理カンファレンス	脳腫瘍 脊髄腫瘍	脳神経外科 放射線科 病理部 小児科 神経内科	脳神経外科医 放射線科医 病理医 小児科医 神経内科医	3	症例検討	25%未満実施
13	骨軟部腫瘍カンファレンス	骨軟部腫瘍	整形外科 病理部	病理部長 ◎整形外科専門医	3	病理診断及び治療法の決定	25%以上-50%未満実施
14	皮膚腫瘍カンファレンス	皮膚癌	形成外科 皮膚科	形成外科准教授 皮膚科講師	2	新治療検討	25%未満実施
15							
16							
17							
18							
19							



化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会

期間 平成22年 4月 1日 ~ 8月31日

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

名称	構成メンバー(◎:委員長)	備考
(例)レジメン管理委員会	◎副院長、薬物療法部長、薬剤部長、通院治療センター長、副看護部長、腫瘍内科医長	
レジメン検討委員会	◎化学療法センター長、各診療科代表(呼吸器内科、消化器内科、消化器外科、肝胆膵外科、脳神経外科、泌尿器科、女性診療科、血液内科)、看護部副部長、化学療法看護師長、薬剤部主査、中央臨床検査部主査、医療情報部担当係長、医事運営課担当係長	

開催実績(開催日)	委員会名称	承認レジメン数
例:4月10日	レジメン管理委員会	5
5月14日	レジメン検討委員会	10
6月18日	レジメン検討委員会	4
7月16日	レジメン検討委員会	24
8月20日	レジメン検討委員会	4

外来化学療法室における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する 医師、薬剤師、看護師の専門性

期間 平成22年9月1日時点

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

	職種	診療科 (医師のみ記載)	常勤 /非常勤	専従/専任/ 兼任	化学療法 の経験 年数(年)	専門医等資格 ※1人につき、関連するもの3つまで。
(例)	医師	腫瘍内科	常勤	専従(8割以上)	20	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1	医師	化学療法センター	常勤	専従(8割以上)	28	日本呼吸器学会指導医(1994年) 日本呼吸器内視鏡学会指導医(1999年)
2	医師	化学療法センター	常勤	専従(8割以上)	15	日本呼吸器学会指導医(2004年) 日本呼吸器内視鏡学会指導医(2005年)
3	医師	呼吸器内科	常勤	専任(5割以上8割未満)	12	日本内科学会認定医(2005年)
4	医師	呼吸器内科	常勤	専任(5割以上8割未満)	6	日本内科学会認定認定内科医(2007年)
5	医師	肝胆膵内科	常勤	兼任(5割未満)	3	なし
6	医師	血液内科・造血細胞移植科	常勤	専従(8割以上)	7	日本内科学会認定医
7	医師	血液内科・造血細胞移植科	常勤	専従(8割以上)	2	なし
8	医師	血液内科・造血細胞移植科	非常勤	専任(5割以上8割未満)	4	日本内科学会認定医
9	医師	血液内科・造血細胞移植科	非常勤	専任(5割以上8割未満)	3	日本内科学会認定医
10	医師	血液内科・造血細胞移植科	非常勤	兼任(5割未満)	5	なし
11	医師	血液内科・造血細胞移植科	常勤	専従(8割以上)	2	なし
12	医師	血液内科・造血細胞移植科	常勤	専従(8割以上)	0	なし
13	医師	血液内科・造血細胞移植科	常勤	専従(8割以上)	0	なし
14	医師	血液内科・造血細胞移植科	非常勤	専任(5割以上8割未満)	6	日本内科学会認定医 日本血液学会専門医
15	医師	肝胆膵外科	非常勤	専任(5割以上8割未満)	2	なし

16	医師	肝胆膵外科	常勤	専任(5割以上8割未満)	5	日本外科学会認定外科専門医(2008年)
17	医師	2外食道(肝胆膵外科)	常勤	専任(5割以上8割未満)	3	なし
18	医師	2外食道(肝胆膵外科)	常勤	専任(5割以上8割未満)	6	なし
19	医師	産婦人科	常勤	専任(5割以上8割未満)	9	日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医(2007年)
20	看護師		常勤	専従(8割以上)	12	日本看護協会がん化学療法看護認定看護師
21	看護師		常勤	専従(8割以上)	4	
22	看護師		常勤	専従(8割以上)	12	
23	薬剤師		常勤	専従(8割以上)	8	日本病院薬剤師会近畿ブロックがん化学療法認定薬剤師(2006年) 日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師(2008年) 日本病院薬剤師会認定指導薬剤師(2010年更新)
24	薬剤師		常勤	専従(8割以上)	10	日本病院薬剤師会近畿ブロックがん化学療法認定薬剤師(2009年)
25	薬剤師		常勤	専従(8割以上)	9	日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師(2009年)
26	薬剤師		常勤	兼任(5割未満)	7	なし
27	薬剤師		常勤	専従(8割以上)	3	なし
28	薬剤師		常勤	専任(5割以上8割未満)	2	なし
29	薬剤師		常勤	専従(8割以上)	1	なし
30	薬剤師		常勤	専従(8割以上)	0	なし

○ 様式4の1の(1)の②の診療従事者ア～クの回答と齟齬がないようにすること(例:様式4では化学療法専任医師が「いる」と回答しているのに、別紙8では該当する人がいない、といったことはないようにすること)。

○ 研修医は除くこと。

○ 常勤とは、当該医療機関が定める1週間の就業時間のすべてを勤務している者をいう。ただし、当該医療機関が定める就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とみなさない。(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。

○ 「専従」及び「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性

期間 平成22年9月1日時点

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

診療科	常勤/非常勤	専従/専任/兼任	放射線療法の経験年数(年)	専門医等資格 ※1人につき、関連するもの3つまで。
(例)放射線治療科	常勤	専任(5割以上8割未満)	20	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1:放射線治療科	常勤	専従(8割以上)	16	放射線科専門医(1992) 放射線腫瘍学会認定医(2006)
1:放射線治療科	常勤	専従(8割以上)	14	放射線科専門医(1999) 放射線腫瘍学会認定医(2005)
2:放射線治療科	常勤	専従(8割以上)	8	放射線科専門医(2005) 放射線腫瘍学会認定医(2007)
3:				
4:				
5:				
6:				
7:				
8:				
9:				
10:				
11:				
12:				
13:				
14:				
15:				

○ 様式4の1の(1)の③の診療従事者ア～キの回答と齟齬がないようにすること(例:様式4では放射線療法専任医師が「いる」と回答しているのに、別紙8では該当する人がいない、といったことはないようにすること)。

○ 研修医は除くこと。

○ 常勤とは、当該医療機関が定める1週間の就業時間のすべてを勤務している者をいう。ただし、当該医療機関が定める就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とみなさない。(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。

○ 「専従」及び「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

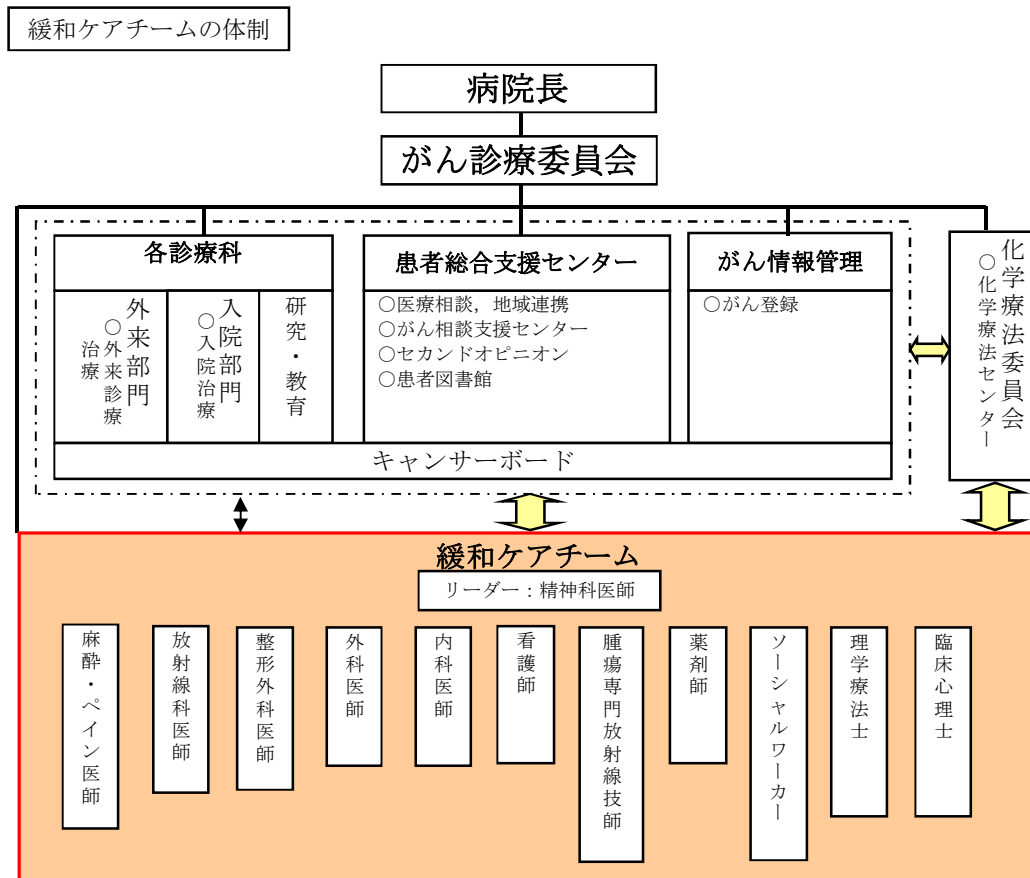
緩和ケアチームの組織・体制

期間 平成22年9月1日時点

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

病院内の緩和ケアチームの位置づけが分かる組織図

- 注1)可能な限り、電子媒体で提出をお願いします。
注2)各部署の役職等が記載されている詳細な組織図は必要ありません。
また、役職等に個人名が記載されていないことをご確認ください。



緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順

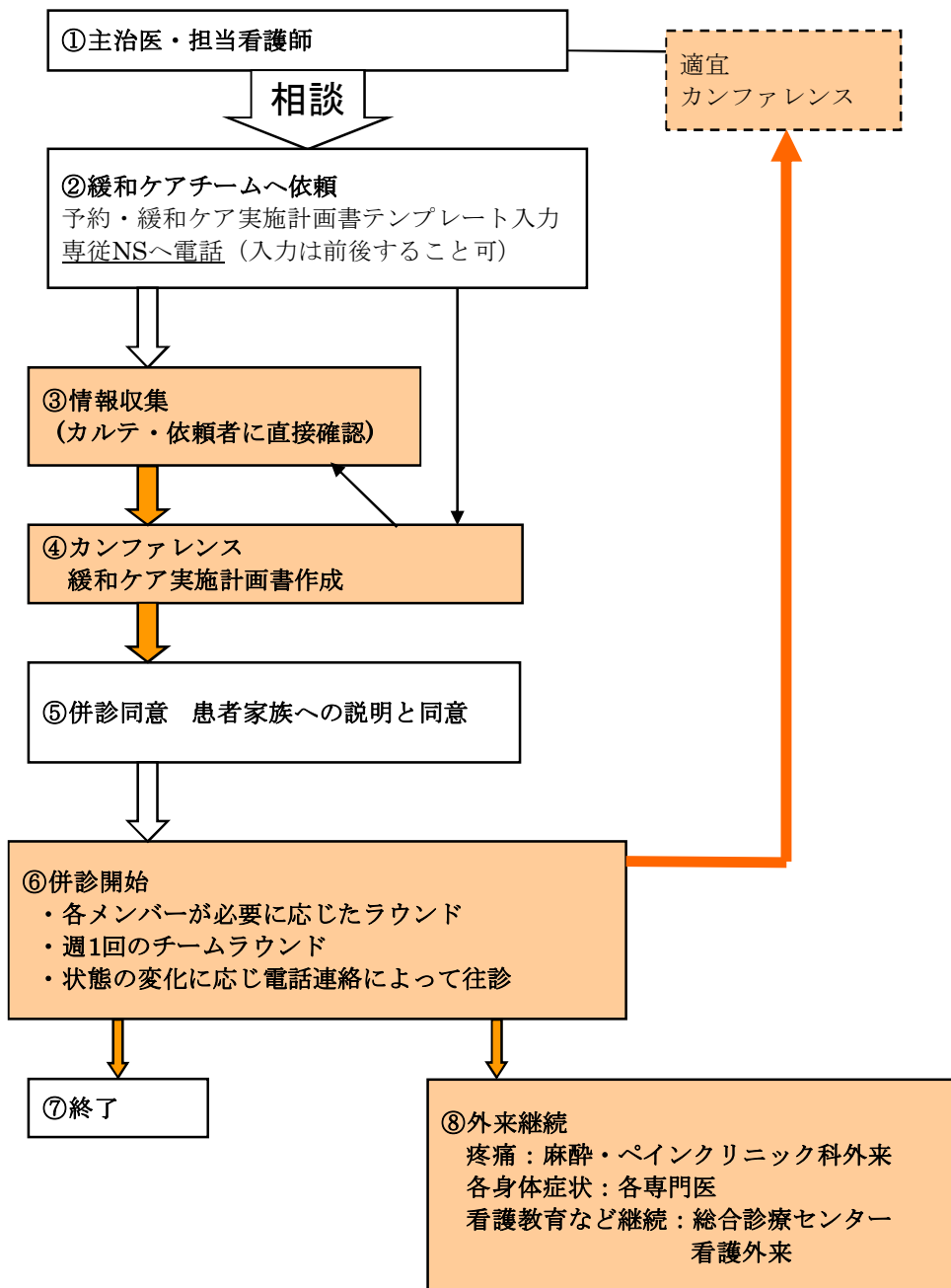
期間 平成22年9月1日時点

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

緩和ケアチームへの入院患者の紹介の手順について必要に応じ図等を用いわかりやすく説明してください。

注1) 可能な限り、電子媒体で提出をお願いします。

注2) 患者が自ら緩和ケアを希望する際、どこの窓口、または誰に依頼をすればよいかを含め記載してください。



外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制

期間 平成22年9月1日時点

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

緩和ケア外来の診療日時等がわかる外来担当表を添付してください。

注)可能な限り、電子媒体で提出をお願いします。

内容	診察室	診察日					備考
		月	火	水	木	金	
こころの相談	神経精神科				医師 (要予約)		
がんによる痛み	麻酔科	医師 (要予約)	医師 (要予約)		医師 (要予約)	医師 (要予約)	
緩和ケア	血液内科			医師 (要予約)			

外来患者に対する緩和ケアの提供体制

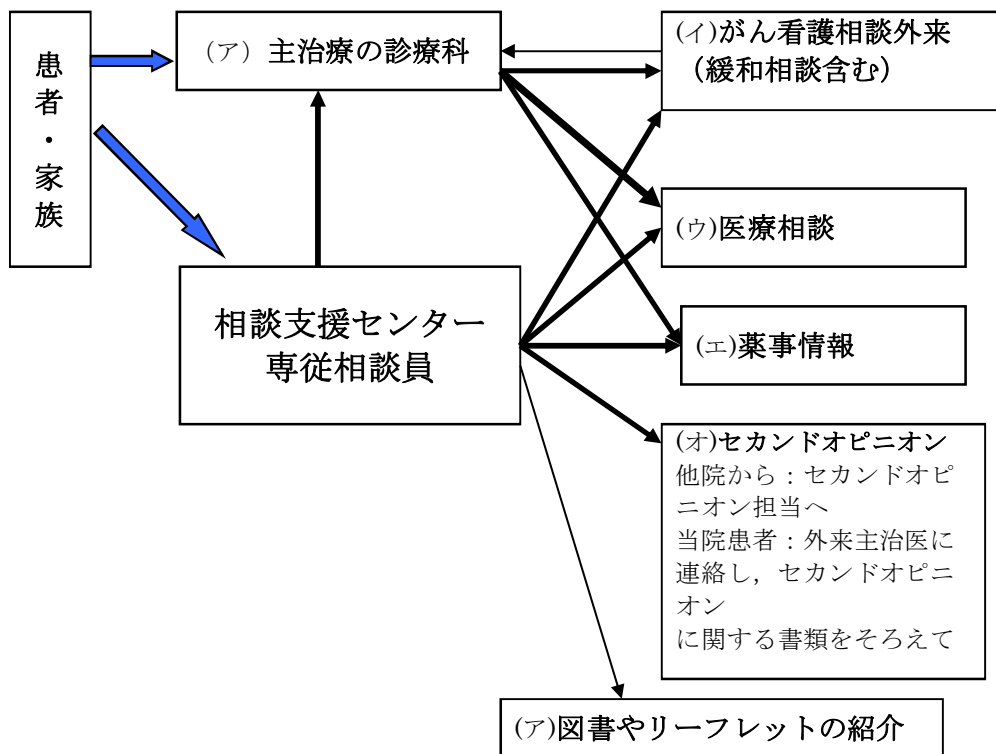
期間 平成22年9月1日時点

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

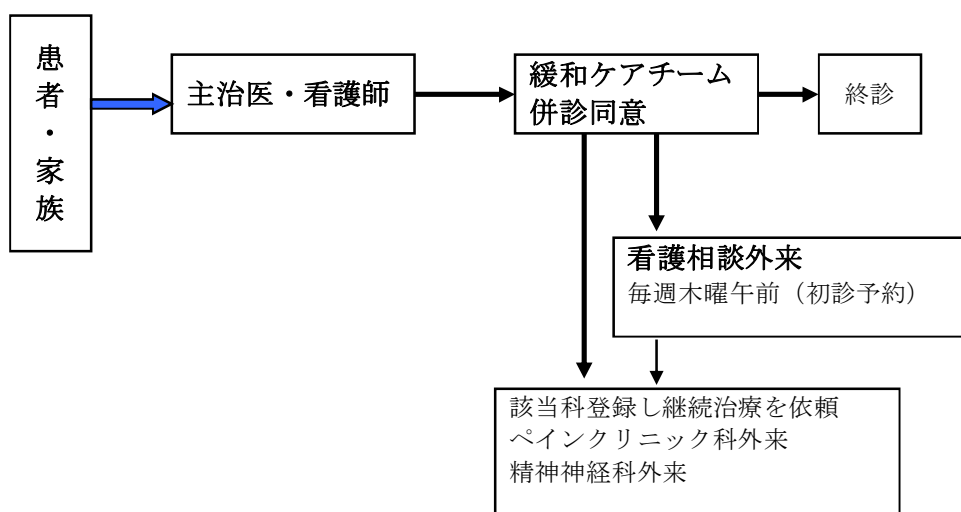
緩和ケア外来を含めた外来における緩和ケアの提供に関する部署、連携体制、患者の流れ等を必要に応じ図等を用いわかりやすく説明してください。

注1) 可能な限り、電子媒体で提出をお願いします。

注2) 患者が自ら緩和ケアを希望する際、どこの窓口、または誰に依頼をすればよいかを含め記載してください。



入院患者の継続



緩和ケアチームに対する新規診療症例

期間 平成22年 6月 1日 ~ 7月31日

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

総数

25

注1) 診療回数は、緩和ケアチームによる診療が診療録に記載されたもののみとすること。

注2) 緩和ケア病棟に入院している期間の診療は除くこと。

注3) 記載に当たっては、個人が特定される情報を記載しないこと。

	外来/ 入院	主病名	主診療科	診療 依頼日	依頼者の 所属 自施設/ 他施設/ その他	診療依頼者	診療依頼内容	診療 開始日	診療 終了日	診療 回数	診療内容
(例)	外来	肺がん	呼吸器内科	6月1日	他施設	医師	疼痛、倦怠感、抑うつ、家族のサポート	6月5日	継続中	8	疼痛コントロール、カウンセリング
1	入院	膵臓がん 腎細胞癌	消化器内科	6月4日	自施設	看護師	精神的サポート	6月4日	6月30日	5	心理面談は拒否され、病的状況ではなく、看護ケアの検討をスタッフに対して実施
2	入院	ALL	血液内科	6月4日	自施設	医師・看護師	造血幹細胞移植のサポート	6月4日	7月28日	16	カウンセリング、疼痛マネジメント
3	入院	AML(M1 S /O)	血液内科	6月4日	自施設	医師・看護師	造血幹細胞移植のサポート	6月4日	8月21日	16	カウンセリング、疼痛マネジメント
4	入院	膵臓がん、イレ ウス	消化器内科	6月8日	自施設	医師	疼痛、緩和移行へのケア	6月8日	6月15日	5	疼痛マネジメント、カウンセリング、退院調整
5	入院	未しょう型T細胞 性リンパ腫	血液内科	6月9日	自施設	医師	慢性GVHD悪化によるパニック症状への精神的 サポート	6月9日	継続中	16	カウンセリング、パニック症状への薬物療法
6	入院	S状結腸がん 術後	消化器外科	6月15日	自施設	看護師	不安へのサポート	6月15日	7月16日	7	疼痛マネジメント、カウンセリング、退院調整
7	入院	肺腺癌	呼吸器内科	6月16日	自施設	医師	せん妄	6月16日	6月22日	4	薬物調整、カウンセリング
8	入院	左腎癌	泌尿器科	6月16日	自施設	看護師	抑うつ状態へのサポート	6月16日	7月9日	15	疼痛マネジメント、抗うつ薬調整、カウンセリング
9	入院	AML(M1)	血液内科	6月24日	自施設	医師・看護師	造血幹細胞移植のサポート	6月24日	9月16日	25	カウンセリング、疼痛マネジメント
10	入院	AML	血液内科	6月24日	自施設	医師・看護師	造血幹細胞移植のサポート	6月24日	9月4日	11	カウンセリング、疼痛マネジメント
11	入院	ALL	血液内科	6月22日	自施設	医師・看護師	造血幹細胞移植のサポート	6月22日	8月29日	12	カウンセリング、疼痛マネジメント
12	入院	ATL	血液内科	6月22日	自施設	医師・看護師	造血幹細胞移植のサポート	6月22日	9月10日	12	カウンセリング、疼痛マネジメント

13	入院	肺線がん	呼吸器内科	6月24日	自施設	医師	疼痛, 不安	6月24日	7月25日	31	疼痛マネジメント, 緩和移行への支援, 心理的サポート, 家族サポート
14	入院	小細胞肺がん・転移性脳腫瘍	呼吸器内科	7月1日	自施設	医師	疼痛, 不安, せん妄	7月1日	7月14日	10	疼痛マネジメント, 心理ケア, 家族サポート, 終末期ケア
15	入院	左咽頭癌、食道がん術後	耳鼻咽喉科	7月1日	自施設	看護師	せん妄	7月1日	8月2日	6	薬剤調整, カウンセリング, 家族サポート
16	入院	慢性骨髄性白血病	血液内科	7月6日	自施設	医師・看護師	造血幹細胞移植のサポート	7月6日	7月28日	16	カウンセリング, 疼痛マネジメント
17	入院	ALL	血液内科	7月9日	自施設	医師・看護師	造血幹細胞移植のサポート	7月9日	8月17日	7	カウンセリング, 疼痛マネジメント
18	入院	悪性リンパ腫 (PTCL)	血液内科	7月9日	自施設	医師・看護師	造血幹細胞移植のサポート	7月9日	9月5日	3	カウンセリング, 疼痛マネジメント
19	入院	肝細胞がん骨転移	放射線科	7月15日	自施設	看護師	疼痛, 不安	7月15日	継続中	6	疼痛マネジメント, 家族サポート
20	入院	MDS	血液内科	7月21日	自施設	医師・看護師	造血幹細胞移植のサポート	7月21日	9月4日	3	カウンセリング, 疼痛マネジメント
21	入院	AML	血液内科	7月22日	自施設	医師・看護師	造血幹細胞移植のサポート	7月22日	継続中	2	カウンセリング, 疼痛マネジメント
22	入院	CLL	血液内科	7月23日	自施設	医師・看護師	造血幹細胞移植のサポート	7月23日	9月3日	2	カウンセリング, 疼痛マネジメント
23	入院	頭部悪性黒色腫全身転移	皮膚科	7月13日	自施設	医師	疼痛, 抑うつ	7月13日	8月19日	18	疼痛マネジメント, カウンセリング, 退院調整
24	入院	膀胱がん	泌尿器科	7月21日	自施設	看護師	疼痛	7月21日	9月8日	11	疼痛マネジメント
25	入院	AML	血液内科	7月30日	自施設	医師・看護師	造血幹細胞移植のサポート	7月30日	継続中	2	カウンセリング, 疼痛マネジメント
26											
27											
28											
29											
30											

緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績

期間 平成22年 6月 1日 ~ 7月31日

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

2ヶ月分の総数

6

※記載に当たっては、個人が特定される情報を記載しないこと。

	開催日	時間 (分)	検討 症例数	参加 人数	主診療科名	主診療科以外の 参加者の診療科名	参加者の職名・職種
(例)	7月3日	60	3	20	乳腺外科	腫瘍内科	乳腺外科部長、乳腺外科医、腫瘍内科医、放射線治療医、放射線診断医、内視鏡医、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー
1	6月9日	1時間	16	40	血液内科	リハビリ科	血液内科教授、血液内科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ科医師、理学療法士、移植コーディネーター、ソーシャルワーカー
2	6月21日	15分	1	13	消化器外科		消化器外科看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、心理士
3	6月25日	1時間	1	21	ICU	血液内科	ICU看護師、血液内科医師、血液内科看護師
4	6月28日	15分	1	8	消化器外科		消化器外科看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、心理士
5	7月14日	1時間	25	40	血液内科	リハビリ科	血液内科教授、血液内科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ科医師、理学療法士、移植コーディネーター、ソーシャルワーカー
6	7月30日	30分	1	12	食道外科		特別病棟看護師
7							
8							

9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						

20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						

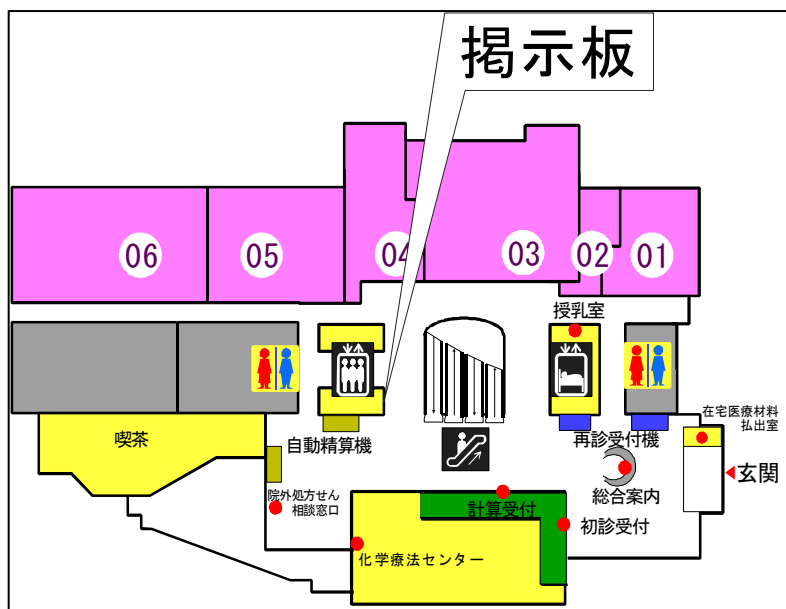
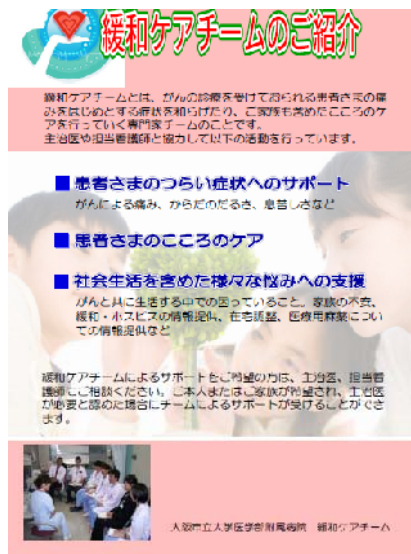
緩和ケアに関する広報

病院名

病院

緩和ケアチームによる診療が受けられることについての院内掲示等(写真および掲示場所の院内図等を添付することにより具体的な掲示状況を示すこと)

このシートに貼付することが難しい場合、ファイル名を別紙15とした電子ファイル、別添資料を提出すること。



地域の医療機関等に対する緩和ケアに関する 要請及び相談に関する担当窓口情報

期間 平成22年9月1日現在

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

※該当がない場合は、ナシと記載すること。空欄は不可。

担当窓口の名称	がん相談支援センター
電話相談の実施	実施
電話相談のための電話番号 直通電話番号／代表番号(内線番号)	直通:06-6645-2857
対応曜日と対応時間	月～金曜日(休日、年末年始除く) 9時～16時30分
予約の要否	不要
予約方法、連絡先	
対応者職種	看護師
相談対象の制限(地域の医療機関／登録医療機関のみ)等の有無	なし
相談対象の制限がある場合の内容	
FAX相談の実施	実施
FAX相談のための電話番号	06-6636-3539
e-mail相談の実施	実施
相談先emailアドレス	gansoudan@med.osaka-cu.ac.jp
相談員の職種	看護師
備考	

緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する 身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、看護師(*)の専門性

期間 平成22年9月1日現在

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

	チームでの役割	診療科(医師のみ記載)	常勤/非常勤	専従/専任/兼任	緩和ケアの経験年数(年)	専門医等資格
(例)	身体症状の緩和に携わる医師	麻酔科	常勤	専従(8割以上)	20	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1	精神症状の緩和に携わる医師	神経精神科	常勤	兼任(5割未満)	22	日本医師会認定産業医(1993年) 精神保健指定医(1997年) 日本精神神経学会 指導医 (2006年)
2	身体症状の緩和に携わる医師	麻酔科・ペインクリニック科	常勤	兼任(5割未満)	15	麻酔標榜医許可(1999年) 日本麻酔学会 麻酔指導医認定 (2002年) 日本ペインクリニック学会 認定医 (2003年)
3	身体症状の緩和に携わる医師	血液内科	常勤	専従(8割以上)	19	日本内科学会認定内科医(1996年) 日本血液学会認定血液専門医(1999年) 日本血液学会認定血液指導医(1999年)
4	身体症状の緩和に携わる医師	整形外科	常勤	兼任(5割未満)	13	整形外科専門医(2007年) 日本癌治療認定医機構暫定教育医(2007年) 運動器リハビリテーション医(2008年)
5	身体症状の緩和に携わる医師	放射線科	常勤	兼任(5割未満)	14	放射線射線科専門医(1999年) 放射線腫瘍学会認定(2005年)
6	身体症状の緩和に携わる医師	呼吸器内科	常勤	兼任(5割未満)	14	日本内科学会認定総合内科専門医(2001年) 日本呼吸器学会指専門医(2006年) 日本がん治療学会認定医機構癌治療認定医(2008年)
7	看護師		常勤	専従(8割以上)	7	がん看護専門看護師(2005年)
8	看護師		常勤	兼任(5割未満)	1	緩和ケア認定看護師(2009年)
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

※緩和ケアチームの看護師については、緩和ケアに従事する十分な時間が確保された者が、日常的に院内の全病棟を横断的に活動することにより、病院全体で専門的な緩和ケアを提供する役割を担うものである。病棟ごとに配置する緩和ケア担当看護師(いわゆる「リンクナース」)を、記載しないようにすること。

注1) 様式4の1の(1)の④の診療従事者ア～テの回答と齟齬がないようにすること(例: 様式4では身体症状の専任医師が「いる」と回答しているのに、別紙17では該当する人がいない、といったことはないようにすること)。

注2) 研修医は除くこと。

注3) 常勤とは、当該医療機関が定める1週間の就業時間のすべてを勤務している者をいう。ただし、当該医療機関が定める就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とみなさない。(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。

注4) 「専従」及び「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性

平成22年9月1日時点

大阪市立大学医学部附属病院

	診療科	常勤 /非常勤	専従/専任/ 兼任	病理診断の 経験年数 (年)	専門医等資格
(例)	病理診断科	常勤	専任(5割以上 8割未満)	20	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1	病理部	常勤	専従(8割以上)	29	日本病理学会病理専門医(1986年)、日本臨床細胞学会認定細胞診専門医(1987年)、日本臨床検査医学会認定臨床検査専門医(1999年)、日本臨床検査医学会認定臨床検査管理医(2008年)
2	病理部	常勤	専従(8割以上)	23	日本病理学会病理専門医(1994年)、日本臨床細胞学会認定細胞診専門医(2006年)、日本臨床検査医学会臨床検査管理医(2008年)
3	病理部	常勤	専従(8割以上)	10	日本病理学会認定病理専門医(2009年)
4	病理部	常勤	専従(8割以上)	6	
5	病理部	常勤	専従(8割以上)	4	
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					

○ 様式4の1の(1)の⑤の診療従事者ア～カの回答と齟齬がないようにすること(例:様式4では病理診断の専従医師が「いる」と回答しているのに、別紙18では該当する人がいない、といったことはないようにすること)。

○ 研修医は除くこと。

○ 常勤とは、当該医療機関が定める1週間の就業時間のすべてを勤務している者をいう。ただし、当該医療機関が定める就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とみなさない。(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。

○ 「専従」及び「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

地域の医療機関への診療支援や病病連携・病診連携の体制

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

平成22年6～7月に連携実績があった医療機関数、紹介件数、逆紹介件数

	連携した医療機関数	他医療機関からの受け入れ件数	他医療機関への紹介件数
(例)	25	80	90
	432	735	603

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
(例)	〇〇診療所	2	4
1	大阪市立住吉市民病院	22	11
2	佐々木クリニック	21	4
3	医療法人橘会 東住吉森本病院	18	13
4	市立柏原病院	14	7
5	医療法人寺西報恩会 長吉総合病院	13	8
6	医療法人寿楽会 大野記念病院	12	11
7	藤井内科小児科	12	0
8	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪府済生会富田診療所	11	3
9	社会福祉法人 大阪社会医療センター附属病院	10	8
10	独立行政法人労働者健康福祉機構 大阪労災病院	9	5
11	医療法人生樹会 渡辺外科病院	9	5
12	医療法人大鵬会 千本病院	9	2
13	泉大津市立病院	9	4
14	特定医療法人景岳会 南大阪病院	8	5
15	医療法人育生会 三好病院	8	1
16	医療法人垣谷会 明治橋病院	8	7
17	医療法人弘仁会 まちだ胃腸病院	8	3
18	医療法人 酒井医院	8	0
19	大阪大学医学部附属病院	7	0
20	医療法人彰療会 大正病院	7	6
21	西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院	7	10
22	医療法人弘道会 浪速生野病院	6	8
23	医療法人純和会 竹本診療所	6	2
24	上野クリニック	6	1
25	医療法人財団阪南医療福祉センター 阪南中央病院	6	1
26	医療法人相愛会 相原第二病院	6	5
27	特定医療法人徳洲会 松原徳洲会病院	6	8
28	やだクリニック	6	0
29	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪府済生会野江病院	6	0
30	医療法人 淀井病院	5	1

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
1	医療法人育和会 育和会記念病院	5	3
2	すずかけの木クリニック	5	3
3	財団法人 結核予防会大阪府支部相談診療所	5	0
4	難波医院	5	2
5	沢井クリニック	5	1
6	医療法人春秋会 城山病院	5	2
7	島田医院	5	0
8	医療法人山紀会 山本第三病院	5	7
9	大阪市立総合医療センター	5	1
10	医療法人 信道会 櫛原医院	5	1
11	福永医院	5	3
12	松本病院	5	2
13	医療法人健正会 浜崎医院	5	3
14	南大阪医療生活協同組合 住吉民主診療所	4	4
15	医療法人 宇野眼科	4	0
16	社団法人 オリエンタル労働衛生協会大阪支部メディカルクリニック	4	0
17	田井城吉村内科病院	4	1
18	大阪府立急性期・総合医療センター	4	3
19	船曳医院	4	0
20	松田クリニック	4	0
21	医真会総合クリニックス	4	3
22	特別・特定医療法人若弘会 わかこうかいクリニック	4	10
23	加藤クリニック	4	1
24	順天堂大学医学部附属 順天堂浦安病院	4	0
25	安田クリニック	4	2
26	医療法人 春日会 革嶋クリニック	4	0
27	医療法人 前田診療所	4	0
28	社会福祉法人恩賜財団済生会 大阪府済生会泉丘病院	4	4
29	財団法人船員保険会 大阪船員保険病院	4	0
30	市立堺病院	4	1
31	千住泌尿器科クリニック	3	5
32	独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター	3	2
33	財団法人大阪府警察協会 大阪警察病院	3	2
34	財団法人 浅香山病院	3	3
35	医療法人錦秀会 阪和記念病院	3	1
36	医療法人きつこう会 多根総合病院	3	8
37	財団法人田附興風会医学研究所 北野病院	3	1
38	大阪府立成人病センター	3	3
39	医療法人昌円会 高村病院	3	2
40	入谷医院	3	2

41	さかぐち診療所	3	1
42	森クリニック	3	0
43	宗教法人在日本南プレスビテリアンミッション 淀 山キリスト教病院	3	3
44	財団法人 関西労働保健協会附属アクティ診療 所	3	1
45	特別・特定医療法人若弘会 若草第一病院	3	2
46	医療法人生長会 ベルランド総合病院	3	0
47	特定医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院	3	6
48	中ノ島大阪プレストクリニック	3	0
49	市立藤井寺市民病院	3	2
50	浅川クリニック	3	4
51	医療法人 加野医院	3	0
52	医療法人厚生医学会 厚生会第一病院	2	1
53	中川クリニック	2	0
54	医療法人 真世会 医療法人 真世会 住吉眼科町眼科	2	2
55	日本赤十字社和歌山医療センター	2	3
56	医療法人岡田会 岡田クリニック	2	1
57	おおあらくリニック	2	0
58	医療法人藤井会 石切生喜病院	2	0
59	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター	2	1
60	大西診療所	2	1
61	社会保険 紀南病院	2	1
62	医療法人錦秀会 阪和住吉総合病院	2	4
63	医療法人 吉田外科	2	2
64	医療法人 秀香会 山本クリニック	2	3
65	藤野整形外科	2	0
66	沢井産婦人科医院	2	0
67	社会福祉法人四天王寺福祉事業団 四天王寺病 院	2	2
68	猪木産婦人科	2	0
69	ぼく泌尿器科クリニック	2	1
70	医療法人朝日会 朝日生野病院	2	0
71	阪本医院	2	0
72	くわはらくリニック	2	0
73	医療法人 こじま眼科クリニック	2	0
74	三豊総合病院	2	1
75	生活協同組合ヘルスコープおおさか コープおお さか病院	2	2
76	日本海員掖済会大阪府支部 大阪掖済会病院	2	10
77	医療法人 高清会 高井病院	2	0
78	花田医院	2	2
79	医療法人 浅井皮膚科	2	1
80	橋村第二医院	2	0
81	大塚クリニック	2	1
82	大阪市立北市民病院	2	1
83	南森町レディースクリニック	2	0
84	特定医療法人協和会 加納総合病院	2	1
85	医療法人宝生会 PL病院	2	1
86	奈良県立医科大学附属病院	2	2
87	医療法人正啓会 西下胃腸病院	2	5
88	医療法人社団 湯川胃腸病院	2	1
89	後藤内科クリニック	2	1

90	大村医院	2	0
91	医療法人 隅本会 隅本医院	2	0
92	葛本医院	2	1
93	医療法人藤井会 大東中央病院	2	1
94	酒井内科小児科	2	1
95	やすらぎクリニック	2	2
96	特定医療法人仁真会 白鷺診療所	2	1
97	医療法人 溝口医院	2	1
98	朋和会岡本耳鼻咽喉科	2	0
99	りんくう総合医療センター市立泉佐野病院	2	1
100	井上内科クリニック	2	0
101	医療法人心明会 レディースクリニックさわだ	2	0
102	イワタ医院	2	1
103	平野若葉会病院	2	0
104	片上外科	2	1
105	クスベ医院	2	0
106	つきやま胃腸科内科	2	1
107	森本整形外科	2	0
108	やぶのクリニック	2	3
109	医療法人仁真会 北巽白鷺クリニック	2	0
110	たかいわクリニック	2	0
111	医療法人弘心会 小杉クリニック本院	1	0
112	稲葉医院	1	1
113	西野レディースクリニック	1	0
114	国家公務員共済組合連合会 大手前病院	1	3
115	社会福祉法人大阪福祉事業財団 すみれ病院	1	0
116	医療法人京昭会 ツヂ病院	1	0
117	たなかクリニック	1	0
118	学校法人大阪歯科大学 大阪歯科大学附属病院	1	1
119	医療法人清康会 くまにしクリニック	1	0
120	鞍作診療所	1	0
121	医療法人 高井内科	1	1
122	杉浦耳鼻咽喉科・アレルギー科	1	1
123	川合内科医院	1	1
124	医療法人孝至会 みのりクリニック	1	0
125	黒瀬胃腸科外科診療所	1	2
126	整形外科すずきクリニック	1	0
127	医療法人 佐々木産婦人科医院	1	0
128	天王寺駅ビル診療所	1	0
129	かわぎし内科	1	0
130	赤垣クリニック	1	0
131	財団法人 関西労働保健協会附属千里LC診療	1	0
132	倉知医院	1	3
133	吉田皮膚科	1	0
134	西村診療所	1	0
135	桂医院	1	0
136	格谷皮膚科	1	3
137	亭島整形外科	1	0
138	うさみクリニック	1	0
139	西浦クリニック	1	0
140	医療法人 慶元クリニック	1	1
141	大阪簡易保険総合健診センター	1	0
142	辻整形外科	1	0
143	医療法人ダイワ会 大和中央病院	1	4
144	社会福祉法人石井記念愛染園附属 愛染橋病院	1	1
145	こすがクリニック	1	1
146	医療法人山野会 山野眼科	1	0
147	玉井クリニック	1	2
148	森田内科医院	1	1
149	くろかわ診療所	1	0
150	医療法人 河診療所	1	0
151	兵庫県立塚口病院	1	1

152	新さっぽろ脳神経外科病院	1	0
153	愛知県がんセンター中央病院	1	0
154	山本クリニック	1	1
155	原田病院	1	1
156	久保こう門胃腸科クリニック	1	0
157	大阪市北区保健福祉センター	1	0
158	医療法人 河野医院	1	0
159	医療法人 トキワクリニック	1	1
160	株式会社 互惠会 大阪回生病院	1	2
161	医療法人 淳康会 堺近森病院附属近森診療所	1	2
162	武田内科クリニック	1	2
163	医療法人 良仁会 西村外科	1	2
164	大正医療生活協同組合 大正民主診療所	1	0
165	鈴木医院	1	0
166	医療法人 瑞穂会 小川病院	1	1
167	医療法人 信愛会 大和診療所	1	1
168	土田クリニック	1	0
169	革島病院	1	0
170	生活協同組合ヘルスコープおおさか 田島診療	1	1
171	医療法人 平山整形外科	1	1
172	愛恵会大沢クリニック	1	0
173	医療法人 緑風会 緑風会病院	1	0
174	植田産婦人科・内科	1	2
175	山田診療所	1	1
176	渡辺医院	1	3
177	細野医院	1	1
178	笹岡医院	1	1
179	整形外科 おかもとクリニック	1	1
180	浅井内科医院	1	0
181	南波クリニック	1	1
182	いたがねファミリークリニック	1	0
183	特定医療法人 仁真会 白鷺病院	1	3
184	医療法人 同友会 共和病院	1	2
185	医療法人 厚生会 高津病院	1	2
186	山口泌尿器科	1	0
187	大阪府医師会保健医療センター	1	0
188	医療法人 正和病院	1	0
189	斉藤医院	1	1
190	東産婦人科・眼科	1	0
191	杏林記念病院	1	0
192	趙診療所	1	2
193	腎・泌尿器科 安本クリニック	1	3
194	みうらクリニック	1	0
195	田口クリニック	1	1
196	大阪市西成区保健福祉センター	1	0
197	浅田医院	1	0
198	加納医院	1	1
199	医療法人 志成会 つじおか眼科	1	1
200	医療法人 恵仁会 小野内科医院	1	1
201	医療法人 宮本医院	1	1
202	南港クリニック	1	1
203	平野内科クリニック	1	2
204	医療法人 陽光会 市吉医院	1	4
205	医療法人 武知小児科・内科	1	1
206	松原中央病院	1	1
207	寺村医院	1	0
208	ひらい医院	1	1
209	大西内科	1	0
210	特定医療法人 一祐会 藤本病院	1	0
211	医療法人 毅峰会 吉田病院	1	1
212	医療法人 美星会 小林診療所	1	1
213	八尾市立病院	1	2

214	羽曳野医療生活協同組合 向野診療所	1	0
215	医療法人まごころ会 豊川病院	1	0
216	山岡耳鼻咽喉科	1	0
217	医療法人耳鼻咽喉科サージクリニック 老木医院	1	1
218	かねとも皮フ科クリニック	1	1
219	医療法人徳州会 宇治徳洲会病院	1	1
220	にしむら耳鼻咽喉科	1	0
221	医療法人平和会 吉田病院	1	0
222	奈良県立三室病院	1	1
223	王寺胃腸内科	1	1
224	ハートランドしぎさん	1	0
225	兵庫県立がんセンター	1	0
226	医療法人光仁幸会 西本産婦人科	1	0
227	全国土木建築国保組合関西健康管理センター	1	0
228	医療法人 可児医院	1	0
229	良秀会 津久野藤井クリニック	1	1
230	こくふプレストクリニック	1	0
231	根本医院	1	0
232	特別・特定医療法人生長会 ベルクリニック	1	0
233	医療法人慈友会 堺山口病院	1	0
234	医療法人生長会 府中病院	1	4
235	津田クリニック	1	1
236	いぬいクリニック	1	1
237	医療法人良秀会 泉北藤井病院	1	0
238	中之島クリニック	1	0
239	医療法人医誠会 城東中央病院	1	0
240	箕浦医院	1	2
241	松原市医師会病診連携	1	0
242	市丸内科	1	0
243	医療法人大植会 葛城病院	1	1
244	清名台外科	1	0
245	中山内科	1	1
246	たかみね眼科	1	1
247	うえにし乳腺消化器クリニック	1	0
248	和泉市立病院	1	6
249	やまぐち整形外科クリニック	0	1
250	たまち眼科クリニック	0	1
251	星クリニック	0	1
252	特定医療法人同仁会 耳原総合病院	0	1
253	医療法人いずみ会 阪堺病院	0	1
254	医療法人 山内眼科医院	0	1
255	栗本皮膚科医院	0	1
256	医療法人同仁会 みみはらファミリークリニック	0	1
257	独立行政法人国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター	0	2
258	医療法人優志会 あまつ皮ふ科	0	2
259	医療法人医進会 高石加茂病院	0	2
260	医療法人 オサダ整形外科クリニック	0	1
261	医療法人ペガサス 馬場記念病院	0	2
262	医療法人 竹本クリニック	0	1
263	生野愛和病院	0	1
264	田上整形外科	0	1
265	たなか内科	0	1
266	医療法人 船井皮膚科	0	1
267	瀬田病院	0	1
268	日本赤十字社大阪府支部 大阪赤十字病院	0	1
269	医療法人弘心会 小杉記念病院	0	1
270	医療法人さくら会 大阪南脳神経外科病院	0	1
271	金山内科クリニック	0	1
272	財団法人 聖バルナバ病院	0	1
273	西下消化器クリニック	0	1
274	東大阪市立総合病院	0	2

275	医療法人 米川医院	0	1
276	医療法人優心会 埜村医院	0	1
277	松下健康管理センター	0	1
278	医療法人 平井診療所	0	1
279	むいメンタルクリニック	0	1
280	医療法人厚生会 共立病院	0	1
281	医療法人弘道会 守口生野記念病院	0	3
282	医療法人 OMMメディカルセンター	0	2
283	佐藤医院	0	1
284	医療法人弘善会 矢木脳神経外科病院	0	1
285	医療法人栄和会 大同クリニック	0	1
286	公立山城病院	0	1
287	医療法人医仁会 藤本病院	0	1
288	室家あったかクリニック	0	2
289	医療法人大系会 大北クリニック	0	1
290	うめもと循環器科・内科クリニック	0	1
291	山本医院	0	1
292	町立 高野山病院	0	1
293	公立那賀病院	0	1
294	北島クリニック	0	1
295	独立行政法人国立病院機構 滋賀病院	0	1
296	井関クリニック	0	1
297	滋賀県立成人病センター	0	2
298	医療法人光風会 長久病院	0	1
299	宝塚市立病院	0	1
300	島根県立中央病院	0	1
301	川崎医科大学附属 川崎病院	0	1
302	栗林病院	0	1
303	高知県立幡多けんみん病院	0	1
304	高知医療センター	0	1
305	はしもと婦人科クリニック	0	1
306	おおつか眼科	0	1
307	特定医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院	0	1
308	竹井クリニック	0	1
309	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪府済生会新泉南病院	0	1
310	医療法人守田会 いぶきの病院	0	1
311	国頭医院	0	1
312	医療法人貴生会 和泉中央病院	0	1
313	堀口循環器科	0	1
314	医療法人正生会 のだ皮ふ科	0	1
315	医療法人爽林会 ハヤシクリニック	0	1
316	医療法人亀井会 亀井病院	0	1
317	亀山クリニック	0	1
318	医療法人医真会 医真会八尾総合病院	0	1
319	豊田外科内科診療所	0	1
320	医療法人ラポール会 青山病院	0	5
321	医療法人 船内クリニック	0	1
322	白川医院	0	1
323	真鋼耳鼻咽喉科医院	0	1
324	西日本電信電話株式会社 NTT西日本大阪病院	0	1
325	元山医院	0	1
326	春田クリニック	0	2
327	医療法人光陽会 小森内科	0	1
328	株式会社中山製鋼所 中山製鋼所附属病院	0	1
329	岡村クリニック	0	1
330	きたがわ眼科クリニック	0	2
331	医療法人 金子外科	0	1
332	山本医院	0	1
333	医療法人真芳会 はやし泌尿器クリニック	0	1
334	医療法人社団 敬誠会 合志病院	0	1
335	医療法人 尾崎内科	0	2

336	兵庫県立尼崎病院	0	1
337	新宅医院	0	2
338	医療法人 山田医院	0	1
339	医療法人 俊徳会 整形外科みなとクリニック	0	1
340	やはた内科クリニック	0	1
341	愛和こどもクリニック	0	1
342	すが内科クリニック	0	1
343	高島内科クリニック	0	1
344	田中耳鼻咽喉科	0	1
345	加藤診療所	0	3
346	公立学校共済組合 四国中央病院	0	1
347	飯田市立病院	0	1
348	市立島田市民病院	0	1
349	特定医療法人 岡波総合病院	0	1
350	医療法人 春光会 春光会クリニック	0	2
351	田端医院	0	1
352	大阪市立十三市民病院	0	1
353	厚生会 和知診療所大阪西クリニック	0	1
354	大島内科医院	0	1
355	佐藤医院	0	2
356	住友生命総合健診システム	0	1
357	医療法人 正正会 京橋さくらクリニック	0	1
358	茶屋町プレストクリニック	0	1
359	社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 大阪府済生会吹田病院	0	1
360	市立吹田市民病院	0	1
361	財団法人 住友病院	0	1
362	CSクリニック	0	1
363	船場医院	0	1
364	荒川医院	0	1
365	西村医院	0	1
366	中西診療所	0	1
367	医療法人 西中医学会 西中病院	0	1
368	医真会 福田内科医院	0	1
369	くりはら皮フ科クリニック	0	1
370	医療法人 森沢クリニック	0	1
371	医療法人 栞谷会 栞谷耳鼻咽喉科クリニック	0	2
372	尾上眼科医院	0	1
373	医療法人 井上クリニック	0	1
374	医療法人 友睦会 むつみクリニック	0	1
375	医療法人 社団丸山会 八戸の里病院	0	1
376	清水整形外科	0	1
377	医療法人 敬仁会 今里胃腸病院	0	5
378	橋本クリニック	0	1
379	明香会 やすなりみどり診療所	0	1
380	福嶋クリニック	0	1
381	佐久間クリニック	0	1
382	河合診療所	0	1
383	田矢耳鼻咽喉科	0	1
384	可児医院	0	1
385	佐久間医院	0	4
386	吉村医院	0	1
387	仲島クリニック	0	1
388	富吉医院	0	1
389	山下クリニック	0	1
390	南大阪総合健診センター	0	1
391	アピコながいクリニック	0	1
392	医療法人 何クリニック	0	1
393	医療法人 鉄田クリニック	0	1
394	亀井医院	0	4
395	健心会 林内科循環器科	0	1
396	医療法人 北野皮フ泌尿器科	0	1

(別紙19)

397	田中胃腸科	0	1
398	山中医院	0	1
399	中田内科クリニック	0	1
400	ただクリニック	0	1
401	医療法人 槐樹会 ふれあいクリニック	0	1
402	美濃クリニック	0	1

452

464

地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制の整備状況

期間 平成22年 4月 1日 ～ 8月31日

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

	開催日	時間 (時間)	名称	対象	開催場所	参加 人数 (人)	内容
(例1)	6/20	2.0	XXX地域連携連絡協議会	二次医療圏内医療機関	△△病院会議室	50	地域の医療機関での外来化学療法中の急変時等の緊急時の相談窓口や受入について
(例2)	7/20	1.5	〇〇〇地域肺がん診療連携連絡部会	肺がん診療を行っている二次医療圏内医療機関	△△病院会議室	20	肺がんに関する地域連携クリティカルパスについて
1	6/19	2	大阪市大における医療連携 Face-to-Faceの会	二次医療圏内医療機関	大阪市立大学医学部附属病院5階講堂	55	症例紹介、最先端医療等の紹介(今回は食道がんの鏡視下手術)について
2	6/24	1.5	前立腺癌診療の連携を進める会	二次医療圏内医療機関	天王寺都ホテル	17	前立腺がんに関する診断連携クリティカルパスについて
3	8/26	1.5	前立腺癌診療の連携を進める会	前立腺がん診療を行っている二次医療圏内医療機関	天王寺都ホテル	14	前立腺がんに関する地域連携クリティカルパスについて
4	7/24	2	第2回 大阪肝疾患ネットワークセミナー	二次医療圏内医療機関	天王寺都ホテル	40	肝炎、肝がんに関する最新の治療法や診断方法について
5							
6							
7							
8							
9							
10							
※平成22年4月1日～8月31日に実績がなく、それ以外の期間で実施している場合には、以下に2つまで記入してください。							
1							
2							

地域連携クリティカルパス(がんに関するもの)

期間 平成22年 6月 1日 ~ 7月31日

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

パス整備数	4
登録医療機関数	66
パス適応数	8

	対象疾患	地域連携クリティカルパス名	登録している医療機関数	適応の患者数	最終更新日
(例)	大腸がん	大腸がん術後連携パス(化療なし)	40	15	2009/4/5
(例)	大腸がん	大腸がん術後連携パス(化療あり)	5	1	2010/2/1
1	乳がん	乳がん外来化学療法地域連携パス(トラスツズマブ初回導入パス)	1	2	2008/3/17
2	乳がん	乳がん術後連携パス	34	5	2009/1/21
3	前立腺がん	前立腺がん診断連携パス	30	1	2009/1/21
4	大腸がん	大腸がん術後連携パス(化学療法なし)	1	0	2009/1/21
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					

	対象疾患	地域連携クリティカルパス名	登録している医療機関数	適応の患者数	最終更新日
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					
43					
44					
45					

	対象疾患	地域連携クリティカルパス名	登録している医療機関数	適応の患者数	最終更新日
46					
47					
48					
49					
50					
51					
52					
53					
54					
55					
56					
57					
58					
59					
60					
61					
62					
63					
64					
65					
66					
67					
68					
69					
70					
71					
72					
73					

我が国に多いがん及び我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、
手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師による
セカンドオピニオンを提示する体制

期間 平成22年9月1日時点

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

■ ホームページ「セカンドオピニオン」のページの掲載内容		
1	セカンドオピニオンに対応している疾患名を掲載している	いいえ
2	セカンドオピニオンの対応件数を掲載している	いいえ
3	セカンドオピニオンを担当している医師名と所属診療科名を掲載している	いいえ
4	セカンドオピニオンを担当している医師の専門分野を掲載している	いいえ
5	上記の内容を掲載しているページのURL	

我が国に多いがん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
(例) 肺がん	対応可	あり	呼吸器内科 呼吸器外科	2 1	肺がん 胸腔鏡手術
肺がん	対応可	あり	呼吸器内科 呼吸器外科 放射線治療科	3 1 3	肺がん 肺がん、呼吸器外科、胸腔鏡手術 肺がん
胃がん	対応可	あり	消化器内科 消化器外科 第2外科食道(肝胆膵外科) 放射線治療科	7 5 2 3	内視鏡治療 胃がん、腹腔鏡下手術 腹腔鏡手術 胃がん
大腸がん	対応可	あり	消化器内科 消化器外科 第2外科食道(肝胆膵外科) 放射線治療科	6 3 2 3	内視鏡治療 外科療法、化学療法 腹腔鏡手術 大腸がん

肝がん	対応可	あり	肝胆膵内科 消化器外科 肝胆膵外科 放射線科	7 3 4 4	経皮的局所治療 腹腔鏡補助下肝切除 肝がん手術、IVR、 化学療法全般 動脈塞栓術
乳がん	対応可	あり	乳腺・内分泌外科 放射線治療科	2 3	乳癌手術、化学療法 乳癌

我が国に多いがん以外のがん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
脳腫瘍	対応可	あり	脳神経外科 放射線治療科	10 3	脳腫瘍 脳腫瘍
脊髄腫瘍	対応不可	なし			
眼、眼窩腫瘍	対応不可	なし			
頭頸部がん	対応可	あり	耳鼻咽喉科 放射線治療科	1 3	頭頸部癌 頭頸部癌
甲状腺がん	対応可	あり	乳腺・内分泌外科 放射線治療科	2 3	甲状腺手術 甲状腺癌
食道がん	対応可	あり	消化器内科 消化器外科 第2外科食道(肝胆膵外科) 放射線治療科	3 3 2 3	内視鏡治療 食道がん、鏡視下手術、集学的治療 開胸手術、腹腔鏡手術 食道がん
縦隔腫瘍	対応可	あり	呼吸器内科 放射線治療科	3 3	肺がん 肺がん

中皮腫	対応可	なし	呼吸器内科 放射線治療科	3 3	肺がん 肺がん
我が国に多いがん以外のがん	セカンドオピニオン の対応状況 (対応可・対応 不可)	セカンドオピニオン の実績 ※平成21年1月 1日から12月31 日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の 人数	専門分野
膵がん	対応可	あり	消化器内科 肝胆膵内科 消化器外科 肝胆膵外科 放射線治療科	2 7 3 4 3	化学療法 抗癌剤治療 膵がん手術、化学 療法 膵がん手術、化学 療法 膵がん
胆道がん	対応可	あり	消化器内科 肝胆膵内科 消化器外科 肝胆膵外科 放射線治療科	2 7 3 4 3	化学療法 抗癌剤治療 胆道がん手術、化 学療法 胆道がん手術、化 学療法 胆道がん
十二指腸・小腸がん	対応可	あり	消化器内科 消化器外科 肝胆膵外科	7 3 4	内視鏡治療 十二指腸がん手術 十二指腸がん
腎がん	対応可	あり	泌尿器科	7	腎がん
膀胱がん	対応可	あり	泌尿器科	7	膀胱がん
			放射線治療科	3	膀胱がん
尿路がん	対応可	あり	泌尿器科	7	腎盂がん・尿管が ん・尿道がん
副腎腫瘍	対応可	あり	乳腺・内分泌外科	2	副腎摘出術
			泌尿器科	7	副腎皮質がん・褐色 細胞腫
前立腺がん	対応可	あり	泌尿器科	7	前立腺がん
精巣がん	対応可	あり	泌尿器科	7	精巣がん
			放射線治療科	3	精巣がん

その他の男性生殖器がん	対応可	あり	泌尿器科	7	陰茎がん
-------------	-----	----	------	---	------

我が国に多いがん以外のがん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
子宮がん	対応不可	なし			
卵巣がん	対応不可	なし			
その他の女性生殖器がん	対応不可	なし			
皮膚腫瘍	対応可	あり	皮膚科 放射線治療科	1 3	皮膚悪性腫瘍 皮膚悪性腫瘍
悪性骨軟部腫瘍	対応可	なし	整形外科 放射線治療科	2 3	骨軟部腫瘍 骨軟部腫瘍
血液腫瘍	対応可	あり	血液内科・造血細胞移植科 放射線治療科	1 3	白血病、悪性リンパ腫 白血病、悪性リンパ腫
小児固形腫瘍	対応可	あり	小児科 小児外科 放射線治療科	1 1 3	小児血液がん 小児外科 小児血液がん
小児血液腫瘍	対応可	なし	小児科 放射線治療科	1 3	小児血液がん 小児血液がん
原発不明がん	対応可	なし	呼吸器内科 消化器内科 脳神経外科 放射線治療科	3 2 1 3	肺がん 化学療法 脳腫瘍 肺がん
性腺外胚細胞腫瘍	対応可	あり	泌尿器科 放射線治療科	7 3	性腺外胚細胞腫 性腺外胚細胞腫
GIST (Gastrointestinal Stromal Tumor:消化管間質腫瘍)	対応可	なし	消化器内科 消化器外科	7 5	化学療法 胃GIST

我が国に多いがん以外のがん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
疾患名:					
疾患名:					
疾患名:					

各治療	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
化学療法	対応可	あり	呼吸器内科 血液内科・造血細胞移植科	3 1	肺癌、化学療法 白血病、悪性リンパ腫
放射線療法	対応可	あり	放射線治療科	3	放射線治療
緩和ケア	対応可	なし	血液内科・造血細胞移植科 麻酔科	1 4	血液内科 ペインクリニック・集中治療

セカンドオピニオンに関する情報提供

期間 平成22年9月1日現在

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

実施方法	セカンドオピニオン外来で対応	(一般外来で対応、セカンドオピニオン外来で対応、その他)
その他の場合		
セカンドオピニオンの問い合わせ先と申し込み方法		
窓口名	セカンドオピニオン外来	
電話番号	06-6645-2899	
FAX番号	なし	
e-mail	なし	
対応時間	13時～15時(土日祝、年末年始を除く)	
必要な紹介状・資料が揃わない場合の対応	受付不可	(受付不可、初診として診療科外来へ紹介、その他)
その他の場合		
セカンドオピニオンを患者本人以外への対応	本人の同意があれば可	(可、本人の同意があれば可、不可)
通常料金	30分まで 8,000円	
超過料金	なし	
その他の料金(詳細と金額)	なし	
相談時間の制限	あり	(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)	30	分

がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の設定状況

期間 平成22年4月1日～8月31日

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

件数 4

	名称	活動日時	活動場所	参加者の対象疾患名	活動内容	相談支援センター職員の関与の有無
(例)	乳がん勉強会	年1回 10月第2月曜	相談支援センター	乳がん患者・乳がん経験者	乳がん専門医による講演・意見交換	あり
(例)	患者サロン	毎週木曜日 9-17時	病院1階受付横の部屋	がん全般	自由に立ち寄り語り合える場を提供している	なし
1	がんの勉強会	毎月第2土曜日 13-17時	病院会議室	がん全般	がん専門医による講演と意見交換	あり
2	ミニ患者会	毎週木曜日 13:00-16:30	がん相談支援センター	がん患者・家族	がんサバイバー数人が待機	あり
4	大阪市喉会	毎週土曜日	耳鼻科病棟カンファレンスルーム	食道がんの失声患者	がんサバイバーによる指導	なし
5	HIKARI会	年3～4回	病院5階講堂	血液疾患	医師による勉強会と意見交換	なし
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別途定める「プログラム」に準拠したがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケア研修会の開催状況及び開催予定

期間 平成21年11月1日 ～ 平成22年8月31日

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

件数 1

	開催済/ 開催予定	開催日	時間	名称	開催場所	種類	参加 人数 (人)	内容
(例)	開催済	7/5	2日	〇〇病院がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	〇〇病院	講義+ワークショップ	40	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの
1	開催済	1/21	2日	緩和ケア研修会(PEACE)	大阪市立大学医学部学舎	講義+ワークショップ	20	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								

※平成22年9月1日～10月31日に開催予定の研修会を以下に記入してください。

1								
2								

注) 別途定める「プログラム」とは、厚生労働省健康局長通知「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成20年4月1日付け健発第0401016号)で示している緩和ケア標準プログラムのことです。

注2) 前年度の実績に記載した研修会は重複記載不可。

地域の医師等を対象としたがんの早期診断に関する研修

期間	平成22年4月1日 ~ 平成22年8月31日
病院名	大阪市立大学医学部附属病院
件数	2

	開催日	時間	名称	対象	開催場所	種類	参加人数(人)	内容
(例)	4/12	120分	胃X線読影研修会	二次医療圏内医師	XX病院会議室	講義	25	XX病院放射線科医師による早期胃がん胃X線画像読影のポイントに関する研修
1	7/9	120分	乳腺疾患若手勉強会	関連病院医師	大阪市立大学医学部附属病院会議室	講義+ワークショップ	20	診断困難症例の検討と当院病理部教授による乳癌の病理についての講演
2	5/19	120分	CRカンファレンス	関連病院医師	会議室	ワークショップ	30	症例検討
3								
4								
5								
6								
7								
8								

※平成22年4月1日～8月31日に実績がなく、それ以外の期間で実施している場合には、以下に2つまで記入してください。

1								
2								

地域の医師等を対象としたその他の緩和ケアに関する研修の実施状況

期間 平成22年4月1日 ~ 平成22年8月31日

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

件数 4

	開催日	時間	名称	対象	開催場所	種類	参加人数(人)	内容
(例)	7/14	120分	**地域緩和ケア勉強会	二次医療圏内医師	〇〇病院	講義	80	「WHOの疼痛管理について」XX病院++医師によるセミナー
(例)	4/27	5日	〇〇病院緩和ケアチーム研修	二次医療圏内の医師及び看護師	〇〇病院	実習	3	緩和ケアチームの診療に同席し、ベッドサイドで、緩和ケアチームのメンバーが習得すべき知識や技術について学ぶ。
1	5/26	30分	大阪市立大学緩和医療研究会	病院内医療者及び二次医療圏病院医師・看護師	大阪市立大学医学部附属病院	講義	37	「悪心・嘔吐のマネジメント」について 大阪市立大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤師によるセミナー
2	6/23	30分	大阪市立大学緩和医療研究会	病院内医療者及び二次医療圏病院医師・看護師	大阪市立大学医学部附属病院	講義	39	「血液内科における緩和医療」について 大阪市立大学医学部附属病院 緩和ケアチーム 医師によるセミナー
3	7/28	60分	大阪市立大学緩和医療研究会	病院内医療者及び二次医療圏病院医師・看護師	大阪市立大学医学部附属病院	講義	20	「認知症を有するがん患者」について 大阪市立大学医学部附属病院 神経精神科 医師によるセミナー
4	4/28	150分	がんプロフェッショナル養成セミナー	拠点病院等の医療スタッフ	大阪市立大学医学部附属病院	講義	60	意思決定支援におけるチームの役割についての講義。
5								
6								
7								
8								

※平成22年4月1日～8月31日に実績がなく、それ以外の期間で実施している場合には、以下に2つまで記入してください。

1								
2								

診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンスの実施状況

期間 平成22年4月1日 ~ 平成22年8月31日

病院名	大阪市立大学医学部附属病院
件数	2

	開催日	時間 (分)	名称	対象	開催場所	参加 人数 (人)	内容
(例)	4/20	120	× × 地域肺がん合同カンファレンス	二次医療圏内医療従事者	△△病院会議室	50	病院と在宅療養支援診療所の連携により円滑な在宅医療への移行が可能であった症例を通じて学ぶ「退院前カンファレンス」の開催のポイント
1	7/9	120	大阪化学療法カンファレンス	拠点病院等の医療スタッフ	大阪市立総合医療センター会議室	30	外来化学療法における副作用対策について、症例を提示しての意見交換
2	7/6	120	がんプロフェッショナル養成プラン血液疾患合同カンファレンス	関連病院医療従事者、大阪府立大学看護学研究科	大阪市立大学医学部附属病院カンファレンス室	15	血液疾患に対する抗がん剤治療について、症例を提示し、職種横断的なカンファレンスを実施した
3							
4							
5							
6							
7							
8							

※平成22年4月1日～8月31日に実績がなく、それ以外の期間で実施している場合には、以下に2つまで記入してください。

1							
2							

放射線療法、化学療法、手術療法、緩和ケア等の複数の専門的な分野を
横断的に実地研修することを内容に含む1年以上の研修プログラム

期間 平成22年度(平成22年4月1日～平成23年3月31日に開始される研修)

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

件数 1

	プログラム名称	期間 (カ月)	対象	受け入れ 人数 (人)	内容
(例)	××病院レジデントプログラム	12	臨床研修終了者卒業後8年目まで	5	1年間で専門領域の他、病理診断、放射線療法、化学療法、手術療法、緩和ケア部門をローテーションする。
1	大阪市立大学医学部がんプロフェッショナル養成プラン インテンシブコース	12	臨床研修終了及び内科/外科等の基本的研修を受けたもの	5	2年間の間に希望する癌種の化学療法、放射線治療、手術療法部門をローテーションし、緩和ケア部門の研修を受ける。更にごんプロフェッショナル養成プランの臨床腫瘍学共通特論を1年間受講する。
2					
3					
4					
5					

相談支援センターで提供している情報

期間 平成22年9月1日現在

病院 大阪市立大学医学部附属病院

1. 医療機関の関する情報提供について

		自施設	※はいの場合は 右の欄に 施設数を記入 してください	他施設	
				がん診療連携 拠点病院の 施設数	がん診療連携 拠点病院以外 の 施設数
1	初診までの待ち期間について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	いいえ		
2	入院までの待ち期間について、自施設または他施設の情報を提供できる	いいえ	いいえ		
3	がんの緩和ケアに対応しているかどうかについて、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	いいえ		
4-ア	緩和ケア病棟のある施設について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	いいえ		
4-イ	上記4-アの病院の入院までの待ち期間について、自施設または他施設の情報を提供できる	いいえ	いいえ		
5	実施中のがんに関連する臨床試験、治験の内容について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	いいえ		
6	がん検診を実施状況について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	いいえ		
7	子宮頸がんのワクチン接種に対応しているかどうかについて、自施設または他施設の情報を提供できる	いいえ	いいえ		
8	がんに関する先進医療を実施状況について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	いいえ		
9	アスベストによる肺がんおよび中皮腫への対応状況について、自施設または他施設の情報を提供できる	いいえ	いいえ		
10	在宅療養の支援に対応しているかどうかについて、自施設または他施設の情報を提供できる	いいえ	いいえ		

2. 医師に関する情報提供について

		自施設	※はいの場合は 右の欄に 施設数を記入 してください	他施設	
				がん診療連携 拠点病院の 施設数	がん診療連携 拠点病院以外 の 施設数
1-ア	がんの手術にあたる主な執刀医の情報について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	いいえ		
1-イ	上記1-アの医師の専門としている分野について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	いいえ		
2-ア	化学療法を専門としている医師の情報について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	いいえ		
2-イ	上記2-アの医師の専門としている分野について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	いいえ		
3	放射線療法を専門としている医師の情報について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	いいえ		

相談支援センターで提供しているがん種別の情報

期間 平成22年9月1日現在

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

	がんの対応状況とその治療内容について調査に基づき作成した資料がある		がんの手術件数について調査に基づき作成した資料がある		セカンドオピニオンの提示が可能な医師について調査に基づき作成した資料がある	
	他のがん診療連携拠点病院について	左記以外の医療機関について	他のがん診療連携拠点病院について	左記以外の医療機関について	他のがん診療連携拠点病院について	左記以外の医療機関について
肺がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
胃がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
大腸がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
肝がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
乳がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
脳腫瘍	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
脊髄腫瘍	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
眼、眼窩腫瘍	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
頭頸部がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
甲状腺がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
食道がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
縦隔腫瘍	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
中皮腫	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
膵がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
胆道がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
十二指腸・小腸がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
腎がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
膀胱がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
副腎腫瘍	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
尿路がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
前立腺がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
精巣がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
その他の男性生殖器がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

	がんの対応状況とその治療内容について調査に基づき作成した資料がある		がんの手術件数について調査に基づき作成した資料がある		セカンドオピニオンの提示が可能な医師について調査に基づき作成した資料がある	
	他のがん診療連携拠点病院について	左記以外の医療機関について	他のがん診療連携拠点病院について	左記以外の医療機関について	他のがん診療連携拠点病院について	左記以外の医療機関について
子宮がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
卵巣がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
その他の女性生殖器がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
皮膚腫瘍	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
悪性骨軟部腫瘍	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
血液腫瘍	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
小児固形腫瘍	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
小児血液腫瘍	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
原発不明がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
性腺外胚細胞腫瘍	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
GIST	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
疾患名1:						
疾患名2:						
疾患名3:						
疾患名4:						
疾患名5:						

相談支援センターの相談件数と相談支援内容

病院 大阪市立大学医学部附属病院

1. 相談件数について(平成22年6月1日 ~ 平成22年7月31日の相談件数)

		対面相談	電話相談	FAX相談	E-mail相談	計
1	自施設を受診している、または、受診していた患者さんやご家族	39	8	0	0	47
2	自施設を受診していない患者さんやご家族、一般の方など	12	12	0	0	24
3	合計	51	20	0	0	71

2. 相談支援の内容について(平成22年9月1日現在)

※相談支援センターで最も力を注いでいる相談支援の内容について下記に5つあげてください。
「がん情報サービス」の貴院の相談支援センターの紹介欄で主な相談内容として掲載する予定です。

	相談支援内容	総業務時間に対する割合 (%)
例	がんの診療を行っている医療機関の紹介 (70施設を対象に調査を行い、その資料をもとに医療機関の情報を提供しています。)	20
1	患者会・家族会(ピア情報)に関する情報提供および患者会との連携	25
2	不安・精神的苦痛に対する助言・提案および症状・副作用・後遺症にかかる助言・提案	22
3	がんの治療にかかる情報提供	17
4	受診方法・入院・セカンドオピニオンに関する情報提供 (転院、医療機関の紹介も含む)	16
5	その他がんに関する相談支援	20

2. 自院の受診の説明や後方連携支援の現状について(平成22年9月1日現在)

1	相談支援センターが医療連携室の業務を兼ねている	いいえ
2-ア	相談支援センターの業務として自施設を受診までの流れや予約方法などについて説明を行っている	いいえ
2-イ	上記2-アの業務を行っている場合、その業務の総業務時間に対する割合(%)を記入してください	
3-ア	相談支援センターの業務として自施設の患者さんのための後方連携(退院調整、転院先の紹介など)を行っている	いいえ
3-イ	上記3-アの業務を行っている場合、その業務の総業務時間に対する割合(%)を記入してください	

相談支援センターにおける相談支援の実績

期間 平成22年4月1日 ~ 7月31日

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

件数 140

※4月1日より7月31日までに実施された相談の記録を記入。4月1日分より開始し、100件分まで、記載。
100件を越える場合、件数は、7月31日までの件数を記載すること。

	日付	主な相談者	対応した相談員の職種	相談方法	相談に応じた時間(分)	相談の内容 (主たるものを記入)	対応の内容 (主たるものを記入)
(例)	4/1	患者本人	ソーシャルワーカー	Email相談	120	医療機関の紹介	情報提供
1	4/1	家族・親戚	看護師	対面相談	20	食事・服薬・入浴・運動・外出など	情報提供
2	4/1	患者本人	看護師	対面相談	10	患者会・家族会(ピア情報)	情報提供
3	4/5	家族・親戚	看護師	電話相談	20	がんの治療	情報提供
4	4/6	家族・親戚	看護師	対面相談	50	がんの治療	情報提供
5	4/8	家族・親戚	看護師	対面相談	30	がんの検査	その他
6	4/8	患者本人	看護師	対面相談	20	患者会・家族会(ピア情報)	情報提供
7	4/9	家族・親戚	看護師	対面相談	20	受診方法・入院	自施設受診の説明
8	4/13	家族・親戚	看護師	対面相談	10	セカンドオピニオン(受入)	自施設受診の説明
9	4/13	患者本人	看護師	対面相談	10	その他	情報提供
10	4/14	家族・親戚	看護師	対面相談	20	がんの治療	情報提供
11	4/14	家族・親戚	看護師	対面相談	10	ホスピス・緩和ケア	情報提供
12	4/15	患者本人	看護師	対面相談	5	受診方法・入院	自施設受診の説明
13	4/15	患者本人	看護師	電話相談	5	患者会・家族会(ピア情報)	情報提供
14	4/15	患者本人	看護師	対面相談	10	その他	その他
15	4/15	患者本人	看護師	対面相談	60	不安・精神的苦痛	助言・提案
16	4/20	患者本人	看護師	電話相談	20	がんの治療	自施設受診の説明
17	4/20	患者本人	看護師	対面相談	20	不安・精神的苦痛	助言・提案
18	4/20	家族・親戚	看護師	対面相談	20	ホスピス・緩和ケア	情報提供
19	4/22	患者本人	看護師	対面相談	60	患者会・家族会(ピア情報)	情報提供
20	4/22	患者本人	看護師	対面相談	120	不安・精神的苦痛	傾聴・語りの促進・支持的な対応
21	4/22	家族・親戚	看護師	電話相談	20	がんの治療	助言・提案
22	4/23	その他	看護師	Email相談	40	受診方法・入院	情報提供
23	4/23	患者本人	看護師	電話相談	20	がんの治療	情報提供

	日付	主な 相談者	対応した 相談員の職種	相談方法	相談に応じ た時間 (分)	相談の内容	対応の内容
24	4/26	家族・親戚	看護師	対面相談	10	転院	情報提供
25	4/26	家族・親戚	看護師	対面相談	25	がんの治療	助言・提案
26	4/27	家族・親戚	看護師	対面相談	15	がんの治療	情報提供
27	4/27	患者本人	看護師	対面相談	20	がんの治療	情報提供
28	4/27	家族・親戚	看護師	Email相談	20	その他	その他
29	4/27	家族・親戚	看護師	対面相談	10	不安・精神的苦痛	傾聴・語りの促進・支持的な対応
30	4/27	友人	看護師	電話相談	10	セカンドオピニオン(受入)	自施設受診の説明
31	4/27	家族・親戚	看護師	電話相談	30	転院	情報提供
32	4/28	患者本人	看護師	FAX相談	30	がんの治療	情報提供
33	4/28	家族・親戚	看護師	対面相談	40	症状・副作用・後遺症への対応	助言・提案
34	4/28	患者本人	看護師	対面相談	40	ホスピス・緩和ケア	情報提供
35	4/28	患者本人	看護師	電話相談	30	治療実績	情報提供
36	4/30	家族・親戚	看護師	電話相談	20	がんの治療	助言・提案
37	5/6	患者本人	看護師	対面相談	10	患者会・家族会(ピア情報)	情報提供
38	5/6	家族・親戚	看護師	対面相談	10	受診方法・入院	自施設受診の説明
39	5/6	家族・親戚	看護師	電話相談	10	セカンドオピニオン(受入)	自施設受診の説明
40	5/6	患者本人	看護師	電話相談	10	食事・服薬・入浴・運動・外出など	助言・提案
41	5/7	家族・親戚	看護師	Email相談	30	がんの治療	情報提供
42	5/10	家族・親戚	看護師	電話相談	15	転院	自施設受診の説明
43	5/10	患者本人	看護師	対面相談	5	受診方法・入院	自施設受診の説明
44	5/10	家族・親戚	看護師	電話相談	10	がんの治療	助言・提案
45	5/12	患者本人	看護師	電話相談	10	がんの治療	助言・提案
46	5/12	患者本人	看護師	対面相談	30	セカンドオピニオン(他へ紹介)	助言・提案
47	5/12	患者本人	看護師	電話相談	10	不安・精神的苦痛	傾聴・語りの促進・支持的な対応
48	5/13	患者本人	看護師	対面相談	15	症状・副作用・後遺症への対応	自施設受診の説明
49	5/13	患者本人	看護師	対面相談	10	症状・副作用・後遺症への対応	助言・提案
50	5/14	患者本人	看護師	電話相談	10	がんの治療	その他
51	5/18	患者本人	看護師	対面相談	40	症状・副作用・後遺症への対応	助言・提案
52	5/18	家族・親戚	看護師	対面相談	30	がんの治療	傾聴・語りの促進・支持的な対応
53	5/18	家族・親戚	看護師	対面相談	10	がんの治療	情報提供

	日付	主な 相談者	対応した 相談員の職種	相談方法	相談に応じ た時間 (分)	相談の内容	対応の内容
54	5/18	患者本人	看護師	対面相談	15	がんの治療	その他
55	5/19	家族・親戚	看護師	対面相談	10	がんの治療	傾聴・語りの促進・支持的な対応
56	5/19	患者本人	看護師	対面相談	10	不安・精神的苦痛	情報提供
57	5/19	患者本人	看護師	対面相談	5	その他	その他
58	5/20	患者本人	看護師	対面相談	60	がんの治療	傾聴・語りの促進・支持的な対応
59	5/20	患者本人	看護師	対面相談	10	症状・副作用・後遺症への対応	情報提供
60	5/21	家族・親戚	看護師	対面相談	10	セカンドオピニオン(一般)	情報提供
61	5/24	家族・親戚	看護師	対面相談	30	不安・精神的苦痛	傾聴・語りの促進・支持的な対応
62	5/25	患者本人	医療心理に携わる者	対面相談	30	患者会・家族会(ピア情報)	傾聴・語りの促進・支持的な対応
63	5/26	家族・親戚	看護師	対面相談	10	患者会・家族会(ピア情報)	情報提供
64	5/26	患者本人	看護師	対面相談	5	セカンドオピニオン(一般)	情報提供
65	5/26	患者本人	看護師	対面相談	15	不安・精神的苦痛	傾聴・語りの促進・支持的な対応
66	5/26	家族・親戚	看護師	対面相談	30	がんの治療	助言・提案
67	5/31	患者本人	看護師	対面相談	10	医療費・生活費・社会保障制度	助言・提案
68	5/31	患者本人	看護師	対面相談	90	不安・精神的苦痛	傾聴・語りの促進・支持的な対応
69	5/31	患者本人	看護師	対面相談	90	医療費・生活費・社会保障制度	情報提供
70	6/1	家族・親戚	看護師	電話相談	30	転院	情報提供
71	6/2	患者本人	看護師	対面相談	20	がんの検査	情報提供
72	6/2	患者本人	看護師	電話相談	15	受診方法・入院	助言・提案
73	6/3	家族・親戚	看護師	対面相談	10	医療費・生活費・社会保障制度	情報提供
74	6/3	家族・親戚	看護師	電話相談	10	受診方法・入院	自施設受診の説明
75	6/3	患者本人	看護師	対面相談	10	不安・精神的苦痛	傾聴・語りの促進・支持的な対応
76	6/3	患者本人	看護師	対面相談	30	症状・副作用・後遺症への対応	情報提供
77	6/3	家族・親戚	看護師	対面相談	30	医療機関の紹介	情報提供
78	6/3	患者本人	看護師	対面相談	30	不安・精神的苦痛	傾聴・語りの促進・支持的な対応
79	6/3	患者本人	看護師	対面相談	15	不安・精神的苦痛	傾聴・語りの促進・支持的な対応
80	6/5	患者本人	看護師	対面相談	30	セカンドオピニオン(受入)	自施設受診の説明
81	6/7	家族・親戚	看護師	対面相談	5	医療機関の紹介	情報提供
82	6/7	患者本人	看護師	対面相談	10	不安・精神的苦痛	傾聴・語りの促進・支持的な対応
83	6/7	患者本人	看護師	対面相談	10	症状・副作用・後遺症への対応	情報提供

	日付	主な 相談者	対応した 相談員の職種	相談方法	相談に応じ た時間 (分)	相談の内容	対応の内容
84	6/7	患者本人	医療心理に携わる者	対面相談	45	医療者との関係・コミュニケーション	傾聴・語りの促進・支持的な対応
85	6/8	家族・親戚	看護師	対面相談	5	告知	情報提供
86	6/8	患者本人	看護師	電話相談	15	医療費・生活費・社会保障制度	助言・提案
87	6/9	医療関係者	看護師	電話相談	15	医療機関の紹介	情報提供
88	6/9	患者本人	看護師	対面相談	5	医療機関の紹介	情報提供
89	6/10	家族・親戚	看護師	対面相談	15	がんの治療	助言・提案
90	6/10	患者本人	看護師	電話相談	15	がんの治療	その他
91	6/10	家族・親戚	看護師	対面相談	15	その他	傾聴・語りの促進・支持的な対応
92	6/10	患者本人	看護師	対面相談	60	患者会・家族会(ピア情報)	情報提供
93	6/11	家族・親戚	看護師	対面相談	90	不安・精神的苦痛	情報提供
94	6/15	患者本人	看護師	対面相談	15	医療費・生活費・社会保障制度	情報提供
95	6/15	患者本人	看護師	対面相談	45	不安・精神的苦痛	傾聴・語りの促進・支持的な対応
96	6/15	患者本人	看護師	電話相談	30	がんの治療	情報提供
97	6/15	患者本人	看護師	対面相談	45	セカンドオピニオン(受入)	自施設受診の説明
98	6/17	患者本人	看護師	対面相談	15	がんの治療	情報提供
99	6/17	患者本人	看護師	電話相談	45	がんの治療	傾聴・語りの促進・支持的な対応
100	6/17	患者本人	看護師	対面相談	20	補完代替療法	情報提供

注) 記載に当たっては、個人が特定される情報は記載しないでください。

相談支援センターの相談対応状況

期間 平成22年9月1日現在

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

相談支援センターの名称	がん相談支援センター		
相談支援センターの電話番号			
問い合わせ先電話番号	06-6645-2857		
電話相談の電話番号			上記問い合わせ先と異なる場合のみにご記入ください
※相談支援センターが独立していない場合、患者さんが最初に問い合わせる窓口	相談窓口		例: 医療連携室
相談支援センターの対応曜日と対応時間			
対応曜日と対応時間	月～金曜日(休日、年末年始除く) 9時～16時30分		
対面相談の対応曜日と対応時間			上記の対応時間内で対面相談の時間設定がある場合のみ記入してください
電話相談の対応曜日と対応時間			上記の対応時間内で電話相談の時間設定がある場合のみ記入してください
対面相談の実施	実施		(実施、未実施)
予約の要否	不要		(必要、不要)
時間制限の有無	なし		(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)			
電話相談の実施	実施		(実施、未実施)
予約の要否	不要		(必要、不要)
時間制限の有無	なし		(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)			
FAX相談の実施	実施		(実施、未実施)
FAX相談のためのFAX番号	06-6636-3539		
e-mail相談の実施	実施		(実施、未実施)
email相談のためのe-mail	gansoudan@med.osaka-cu.ac.jp		
相談員の職種	看護師		
ピアサポート提供の有無	あり		(あり、なし)
ありの場合は具体的な活動内容を記載してください	毎週木曜日午後よりがん患者会サバイバーが数人待機する。		※ピアサポートとは、がんを経験された方やご家族による支援活動を指しています
相談者が利用できる資料	図書、パンフレット		例: 図書、雑誌、ビデオ・DVD、パンフレット、インターネット
うち参考図書の冊数(冊)		71	※雑誌と冊子を含まず
自施設を受診していない患者さんやご家族の利用	可		(可、不可)
地域の患者会の情報提供の有無	なし		(あり、なし)
提供可能な地域の患者会の数			

相談支援センターの体制

期間 平成22年9月1日現在

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

	主な役割	職種	常勤/ 非常勤	専従/専任/ 兼任	相談業務の 経験年数 (年)	相談員基礎研修 会 (1)	相談員基礎研修 会 (2)	相談員基礎研修 会 (3)
(例)	相談	看護師	常勤	専従(8割以上)	2	2007年11月09日 東京	2009年02月26-27日 東京	2010年08月28-29日 兵庫
(例)	相談	社会福祉士	常勤	専任(5割以上 8割未満)	4	2010年04月26-27日 東京	2010年06月01-03日 東京	未受講
1	相談	看護師	常勤	専従(8割以上)	3	2009年02月25日 東京	2008年06月11-13日 東京	2009年09月30-31日 東京
2	相談	看護師	常勤	専任(5割以上 8割未満)	1	2010年04月26-27日 東京	2010年06月01-03日 東京	未受講
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								

※がん診療連携拠点病院については、「がん診療連携拠点病院の整備について」(平成20年3月1日付け健発第0301001号厚生労働省健康局長通知)に基づき、平成22年10月31日の申請時まで、国立がんセンターがん対策情報センターによる研修を修了・受講した相談員及を配置する必要がある。具体的には、相談支援センターの相談員のうち1名は「相談員基礎研修(2)」まで修了し、もう1名は「相談員基礎研修(3)」まで修了していることが求められている。

- 様式4の3の(1)の④・⑤の回答と齟齬がないようにすること(例: 様式4では相談員基礎研修会(1)、(2)の修了者が「いる」と回答して、別紙28では該当する人がいない)。
- 常勤とは、当該医療機関が定める1週間の就業時間のすべてを勤務している者をいう。ただし、当該医療機関が定める就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とみなさない。(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。
- 「専従」及び「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

相談支援センターの状況

病院名

相談支援センターの様子がわかる写真・資料を貼付すること。

※相談支援センターに親しみを持てるような面談室の様子や相談員など写真や、ポスターやちらしなどを貼付すること。
このシートに貼付することが難しい場合、ファイル名を別紙36とした電子ファイル、別添資料を提出すること。
各写真については、「がん情報サービス」の相談支援センターの紹介欄に掲載する予定。





がん相談

受付時間：月曜日から金曜日 9:00～16:30
(祝日、年末年始を除く)

相談方法：

- <窓口> 病院 1 階医療相談 1・2 番窓口
- <電話> 06-6645-2857
- <FAX> 06-6636-3539
- <E-mail> gansoudan@med.osaka-cu.ac.jp

※来院前にご連絡ください

がん相談室では、専任の相談員が患者さんやご家族の方のお話を伺い、一緒に考え、課題解決のお手伝いをさせていただきます。

また、お伺いした内容により、専門看護師や医療ソーシャルワーカーなどのスタッフをご紹介します。

例えば・・・

- ・がんについて知りたい
- ・セカンドオピニオンについて知りたい
- ・医療費・生活費のことが心配
- ・退院後の生活は、どうしたらよいか
- ・家族のことや、仕事のことについて
- ・これからのことが不安、話を聞いてほしい
- ・どこか患者会を紹介してほしい

がん情報コーナー

がんや医療の情報をご覧いただけるコーナーです。病気についてのパンフレットを用意しております。また、がん関連図書の貸し出しも行っていますので、お気軽にお申し出ください。



相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との 連携協力体制構築の取り組みの状況

期間 平成22年9月1日現在

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

	連携しているがん患者団体名	具体的な連携協力の内容
(例)	XX病院血液がん患者の会	3ヶ月に1回、患者会と共同で、勉強会を開催して、その中で相談会も実施している。
1	患者会ぎんなん	月に1回、医師による講演会とおしゃべり会を開催するための会場設定をし、必要時には相談を受けている。 また、毎週木曜日の午後に患者会を開催し、必要時に相談を受けている。
2		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

がんの診療に関連した患者・医療者向け各種問い合わせ窓口

期間 平成22年9月1日現在

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

1.セカンドオピニンの問い合わせ窓口

※1)または2)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1) 自施設のセカンドオピニンについて、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんや ご家族向けの 問い合わせ窓口	窓口名	セカンドオピニオン外来受付
	電話	06-6645-2899
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	月曜日～金曜日(平日) 13:00～15:00
	ホームページのURL	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/hosp/information/second_opinion.pdf
2) 自施設のセカンドオピニンについて、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の医療者向けの 問い合わせ窓口	窓口名	セカンドオピニオン外来受付
	電話	06-6645-2899
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	月曜日～金曜日(平日) 13:00～15:00
	ホームページのURL	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/hosp/information/second_opinion.pdf

2.緩和ケアの問い合わせ窓口

※2)または3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1) 緩和ケア外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		はい
2) 自施設の緩和ケアについて、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんや ご家族向けの 問い合わせ窓口	窓口名	緩和ケアチーム 担当看護師
	電話	06-6645-2121
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	月曜日～金曜日(平日) 14:00～17:15
	ホームページのURL	
3) 自施設の緩和ケアについて、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の医療者向けの 問い合わせ窓口	窓口名	緩和ケアチーム 担当看護師
	電話	06-6645-2121
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	月曜日～金曜日(平日) 14:00～17:15
	ホームページのURL	

3.緩和ケア病棟の問い合わせ窓口

※2)または3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1) 緩和ケア病棟で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
2) 自施設の緩和ケア病棟について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
3) 自施設の緩和ケア病棟について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

4.臨床試験・治験の問い合わせ窓口

※1)または2)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1) 自施設で実施している臨床試験・治験について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口が一本化している		はい
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	医薬品・食品効能評価センター 治験事務局
	電話	06-6645-3447
	FAX	06-6645-3448
	電子メール	
	受付時間	月曜日～金曜日(平日) 9:00～17:15
	ホームページのURL	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/hosp/self/hyokac/
2) 自施設で実施している臨床試験・治験について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口が一本化している		はい
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	医薬品・食品効能評価センター
	電話	06-6645-3447
	FAX	06-6645-3448
	電子メール	
	受付時間	月曜日～金曜日(平日) 9:00～17:15
	ホームページのURL	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/hosp/self/hyokac/

■ がんの診療に関する専門外来の問い合わせ窓口について

1. ストーマ外来についての問い合わせ窓口

※3)または4)がはいの場合は窓口の詳細を記入してください。

1) ストーマ外来がある		はい
2) ストーマ外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
3) 自施設のストーマ外来について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
4) 自施設のストーマ外来について、医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

2. リンパ浮腫外来の問い合わせ窓口

※3)または4)がはいの場合は窓口の詳細を記入してください。

1) リンパ浮腫外来がある		はい
2) リンパ浮腫外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
3) 自施設のリンパ浮腫外来について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
3) 自施設のリンパ浮腫外来について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

3. その他の外来でのケアについての問い合わせ窓口

1)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1) 自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2) 自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3) 自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
2)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1) 自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2) 自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3) 自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	

3)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1) 自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2) 自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3) 自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
4)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1) 自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2) 自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3) 自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	

院内がん登録の登録実施項目

がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録様式 2006年度版修正版

期間 平成22年9月1日現在

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

2006年度版修正版項目

◆ : 必須項目

● : 標準項目

自施設で全がんに対して登録している項目に「○」、全がんでなく一部のがん種に限っての登録項目に「△」、非登録項目に「×」を右の「登録している項目」欄に全項目について記入してください。

大項目	項目番号	項目名	必須／標準の別	登録している項目	
基本情報	10	患者ID番号	◆ ●	○	
	20	重複番号	●	○	
	40	氏名	◆ ●	○	
	50	性別	◆ ●	○	
	60	生年月日	◆ ●	○	
診断情報	90	診断時都道府県コード	●	○	
	100	診断時住所(詳細)	●	○	
	101	診断時住所(市区町村)	◆	○	
	110	当該腫瘍初診日	●	○	
	130	診断日1(他施設診断日)	●	○	
	140	診断日2(自施設診断日)	●	○	
	141	診断日	◆	○	
	150	来院経路	●	○	
	152	発見経緯	●	○	
	153	来院・発見の経緯	◆	○	
	160	診断区分(診断結果)	●	○	
	161	診断施設	●	○	
	170	治療方針	●	○	
	180	症例区分	●	○	
182	診断及び初回治療・経過観察が行われた施設の別	◆	○		
腫瘍情報	200	診断名コード	◆ ●	○	
	210	診断名テキスト	◆ ●	○	
	220	部位の側性	●	○	
	230	治療前	ステージ(治療前・UICC)	●(5部位)	○
	231		治療前のステージ(主要5部位)	◆(5部位)	○
	232		ステージ(治療前・取扱い規約)	●(肝がん)	○
	240		TNM分類(UICC)T分類	●(5部位)	○
	250		TNM分類(UICC)N分類		○
	260		TNM分類(UICC)M分類		○
	270	術後病理学的	ステージ(術後病理学的・UICC)	●(5部位)	○
	280		pTNM分類(UICC)pT分類	●(5部位)	○
	290		pTNM分類(UICC)pN分類		○
300	pTNM分類(UICC)pM分類		○		

腫瘍情報	310	進展度(治療前)	●	○	
	320	進展度(術後病理学的)	●	○	
	330	組織診断名コード	◆●	○	
	340	組織診断名テキスト	◆●	○	
	350	診断根拠	●	○	
	351	病理組織標本由来	●	○	
	352	診断に寄与した検査	◆	○	
	460	外科的・内視鏡的・体腔鏡的治療	外科的治療の有無	◆●	○
	480		体腔鏡的治療の有無	◆●	○
	500		内視鏡的治療の有無	◆●	○
	520		外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果	●	○
	530	入院日(初回治療)	●	○	
	550	その他の治療	放射線治療	◆●	○
	560		化学療法	◆●	○
	570		免疫療法・BRM	●	○
	580		内分泌療法	●	○
590	TAE		●	○	
600	PEIT		●	○	
610	温熱療法		●	○	
620	レーザー等治療(焼灼)		●	○	
629	その他の治療	●	○		
予後情報	640	生存最終確認日	◆●	○	
	650	死亡日	◆●	○	
	660	予後調査結果	●	○	
	720	予後調査方法	●	○	
その他	860	登録日	●	○	
	861	最終更新日	◆	○	
	870	定義バージョン	●	○	

※ 項目の定義については、
「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録様式 2006年度版 修正版」を参照すること
http://ganjoho.ncc.go.jp/hospital/cancer_registration/registration01.html

診療情報管理部門の体制

期間 平成22年10月31日現在

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

※「診療情報(診療録)管理部門」と「院内がん登録部門」のスタッフを記載してください。

	資格	診療情報管理業務の経験年数(年)	院内がん登録業務の経験年数(年)	常勤/非常勤	院内がん登録業務についての専従/専任/兼任	がん対策情報センターによる初級者研修の修了状況	
						修了の有無	修了年月日(修了証の日付)、または、修了予定日(平成22年10月28日 または10月29日)
(例)	診療情報管理士	4	2	常勤	専従(8割以上)	あり	平成21年11月1日
(例)	なし	1	1	非常勤	専任(5割以上8割未満)	なし	平成22年10月29日修了予定
1	診療情報管理士	13	5	常勤	専任(5割以上8割未満)	あり	2007/3/31
2	診療情報管理士	8	5	常勤	専任(5割以上8割未満)	あり	2009/9/15
3	診療情報管理士	8	4	常勤	専任(5割以上8割未満)	あり	2010/3/31
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

注)がん診療連携拠点病院については、「がん診療連携拠点病院の整備について」(平成20年3月1日付け健発第0301001号厚生労働省健康局長通知)に基づき、平成22年10月31日の申請時までに、国立がんセンターがん対策情報センターによる研修を修了・受講したがん登録実務者を配置する必要がある。がん登録実務者については「院内がん登録初級者研修」を修了していることが求められている。

○ 様式4の3の(2)の②の回答と齟齬がないようにすること(例:様式4ではがん対策情報センターによる研修を修了した専任の者が「いる」と回答して、別紙28では該当する人がいない)。

○ 常勤とは、当該医療機関が定める1週間の就業時間のすべてを勤務している者をいう。ただし、当該医療機関が定める就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とみなさない。(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。

○ 「専従」及び「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

患者・市民を対象としたがんに関する市民講演会の実施状況

期間 平成22年4月1日 ~ 平成22年8月31日

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

件数 4

	開催日	時間 (分)	名称	開催場所	種類	講師(人)		参加 人数 (人)	内容
						院内	院外		
(例)	4/26	150	** 病院がん市民講演会	〇〇市民ホール	セミナー	1	2	200	科学的根拠に基づくがん検診について
1	6/13	180	患者さんのための日曜セミナー	大阪市立大学医学部附属 病院5階講堂	セミナー	2	1	64	悪性リンパ腫について 口腔ケアについて 多発性骨髄腫について
2	8/29	180	患者さんのための日曜セミナー	大阪市立大学医学部附属 病院5階講堂	セミナー	3		33	白血病について 抗がん剤とその副作用 成人T細胞白血病・リンパ腫
3	8/21	120	勉強会・患者会	大阪市立大学医学部附属 病院会議室	講演	1		20	大腸癌治療について
4	8/22	120	肝臓病市民フォーラム ここまで進んだ 肝炎、肝癌の診断と治療	大阪市立大学医学部4階 大講義室	講演	4		200	ウイルス性肝炎、非アルコール性肝炎の診断と治療。肝癌の診断と治療について解説した。
5									
6									
7									
8									
9									
10									

地域住民へのメッセージ

病院名

大阪市立大学医学部附属病院

※本別紙は、他の推薦様式の情報とともに、がん情報サービスのがん診療連携拠点病院のページに掲載することを目的としています。

各項目200字以内で記載してください。

がん診療連携拠点病院としてのメッセージ

記入例: 当院は、すべてのがん患者さんの治療方針の決定を外科、腫瘍内科、放射線治療等複数の領域の専門家による「カンサーボード」によって十分に検討し、最善の治療を行うよう努めております。

当院は、すべてのがん患者さんの治療にあたっては、当該診療科を中心に関係診療科と十分検討し治療方針を決定するなど、最善の治療を行うよう努めております。

相談支援センターからのメッセージ

記入例: 医療ソーシャルワーカーが皆様のお話を伺い、一緒に考え、課題解決のお手伝いをさせていただきます。また、お話をお伺いし、専門の看護師やスタッフをご紹介します。

相談支援センターは、相談員として専任看護師が患者さんやご家族の方のお話を伺い、一緒に考え、課題解決のお手伝いをさせていただきます。また、お伺いした内容により、医療ソーシャルワーカーなどの専門のスタッフをご紹介します。

緩和ケアチームからのメッセージ

記入例: 緩和ケアチームには、長年緩和医療に携わっている経験を積んだ医師、看護師、薬剤師が含まれ、身体的な痛みを始め、患者さんの精神的苦痛を和らげるため、担当医と連携し、最善の医療を提供します。

緩和ケアチームは、医師、看護師、薬剤師等で構成され、患者さんのQOL(生活の質)の向上のため、ご本人や家族の方の視点に立って、集学的な緩和ケアを提供します。

緩和ケア病棟(設置されている場合)からのメッセージ

記入例: 緩和ケア病棟は、別棟となっており、全室から中庭に出ることが可能で、豊かな自然を感じて、充実した時間を過ごすことができます。

緩和ケア病棟は設置されておりません。

放射線療法部門の名称・組織

期間 平成22年9月1日時点

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

放射線療法部門の名称 放射線治療科

※特定機能病院または都道府県がん診療連携拠点病院である場合のみ提出してください

	職種 (部門長 には◎)	診療科 (医師のみ記載)	常勤 /非常勤	専従/専任/兼任	対象領域の 経験年数 (年)	専門医等資格 ※1人につき関連するもの 3つまで記入してください
(例)	◎医師	放射線治療科	常勤	専従(8割以上)	20	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1	◎医師	放射線治療科	常勤	専従(8割以上)	16	放射線科専門医(1992) 放射線腫瘍学会認定医(2006)
2	医師	放射線治療科	常勤	専従(8割以上)	14	放射線科専門医(1999) 放射線腫瘍学会認定医(2005)
3	医師	放射線治療科	常勤	専従(8割以上)	8	放射線科専門医(2005) 放射線腫瘍学会認定医(2007)
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						

放射線療法部門の体制

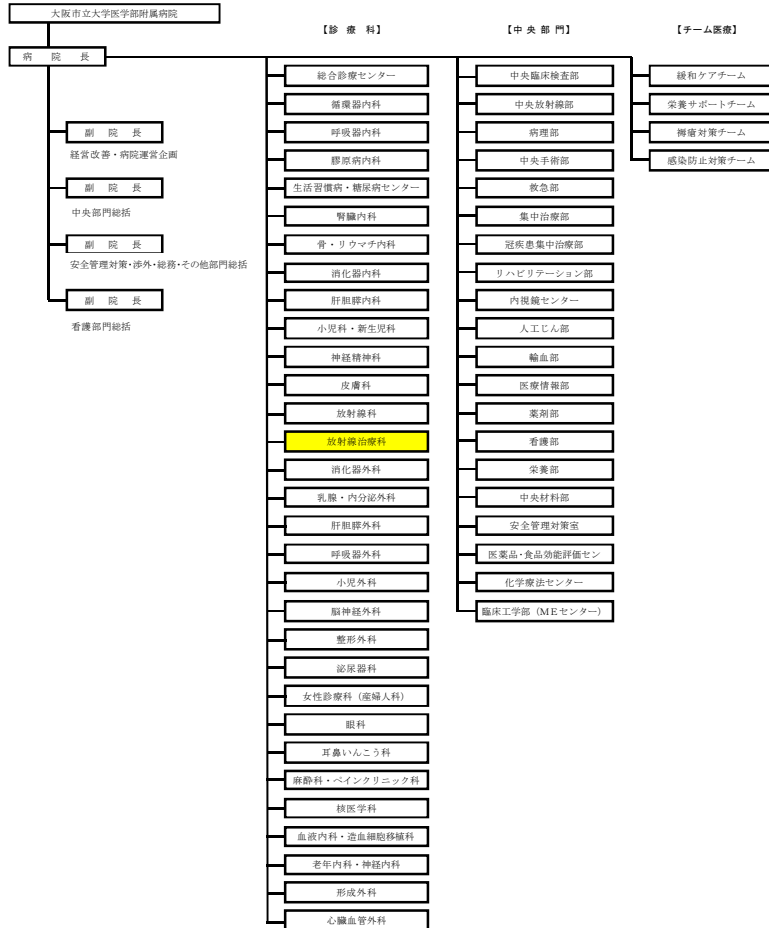
期間 平成22年9月1日現在

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

※特定機能病院または都道府県がん診療連携拠点病院である場合のみ貼付してください。

組織図貼付

※組織内での位置づけが確認できる組織図を貼付貼付してください。



化学療法部門の名称・組織

期間 平成22年9月1日現在

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

化学療法部門の名称 化学療法センター

※特定機能病院または都道府県がん診療連携拠点病院である場合のみ提出してください

	職種 (部門長 には◎)	診療科 (医師のみ記載)	常勤 /非常勤	専従/専任/兼任	対象領域の 経験年数 (年)	専門医等資格 ※1人につき関連するもの 3つまで記入してください
(例)	◎医師(部長)	血液内科	常勤	専従(8割以上)	20	〇〇学会認定医(2002年) 同 専門医(2006年)
1	◎医師(センター長)	化学療法センター	常勤	専従(8割以上)	28	日本呼吸器学会指導医(1994年) 日本呼吸器内視鏡学会指導医(1999年)
2	医師	化学療法センター	常勤	専従(8割以上)	15	日本呼吸器学会指導医(2004年) 日本呼吸器内視鏡学会指導医(2005年)
3	医師	呼吸器内科	常勤	専任(5割以上8割未満)	12	日本内科学会認定医(2005年)
4	医師	呼吸器内科	常勤	専任(5割以上8割未満)	6	日本内科学会認定認定内科医(2007年)
5	医師	消化器内科	常勤	兼任(5割未満)	0	なし
6	医師	消化器内科	常勤	兼任(5割未満)	1	日本内科学会認定医 日本消化器病学会認定医
7	医師	肝胆膵内科	常勤	兼任(5割未満)	3	なし
8	医師	血液内科・造血細胞移植科	常勤	専従(8割以上)	7	日本内科学会認定医
9	医師	血液内科・造血細胞移植科	常勤	専従(8割以上)	2	なし
10	医師	血液内科・造血細胞移植科	非常勤	専任(5割以上8割未満)	4	日本内科学会認定医
11	医師	血液内科・造血細胞移植科	非常勤	専任(5割以上8割未満)	3	日本内科学会認定医
12	医師	血液内科・造血細胞移植科	非常勤	兼任(5割未満)	5	なし
13	医師	血液内科・造血細胞移植科	常勤	専従(8割以上)	2	なし
14	医師	血液内科・造血細胞移植科	常勤	専従(8割以上)	0	なし
15	医師	血液内科・造血細胞移植科	常勤	専従(8割以上)	0	なし

16	医師	血液内科・造血細胞移植科	非常勤	専任(5割以上8割未満)	6	日本内科学会認定医 日本血液学会専門医
17	医師	消化器外科	非常勤	兼任(5割未満)	6	日本外科学会認定外科専門医
18	医師	消化器外科	非常勤	兼任(5割未満)	6	日本外科学会認定外科専門医
19	医師	肝胆膵外科	非常勤	専任(5割以上8割未満)	2	なし
20	医師	肝胆膵外科	非常勤	専任(5割以上8割未満)	2	なし
21	医師	肝胆膵外科	常勤	専任(5割以上8割未満)	5	日本外科学会認定外科専門医(2008年)
22	医師	2外食道(肝胆膵外科)	常勤	専任(5割以上8割未満)	3	なし
23	医師	2外食道(肝胆膵外科)	非常勤	専任(5割以上8割未満)	0	なし
24	医師	2外食道(肝胆膵外科)	常勤	専任(5割以上8割未満)	6	なし
25	医師	産婦人科	常勤	専任(5割以上8割未満)	9	日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医 (2007年)
26	看護師		常勤	専従(8割以上)	12	日本看護協会がん化学療法看護認定看護師
27	看護師		常勤	専従(8割以上)	12	
28	薬剤師		常勤	専従(8割以上)	8	日本病院薬剤師会近畿ブロックがん化学療法 認定薬剤師(2006年) 日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師 (2008年) 日本病院薬剤師会認定指導薬剤師(2010年 更新)
29	薬剤師		常勤	専従(8割以上)	10	日本病院薬剤師会近畿ブロックがん化学療法 認定薬剤師(2009年)
30	薬剤師		常勤	専従(8割以上)	9	日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師 (2009年)

化学療法部門の体制

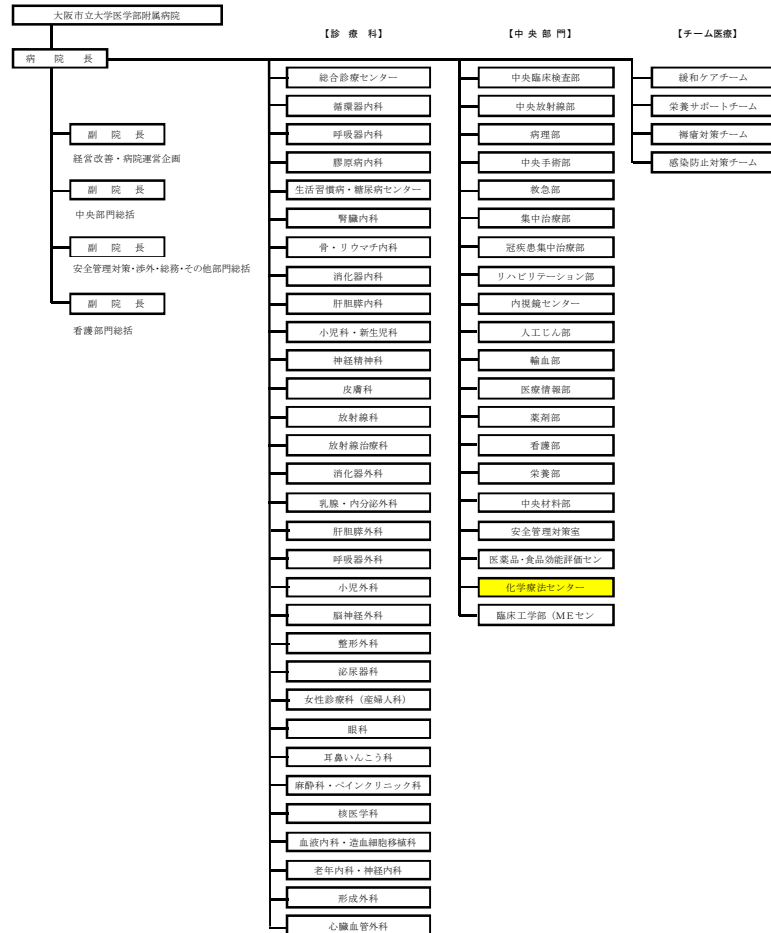
期間 平成22年9月1日現在

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

※特定機能病院または都道府県がん診療連携拠点病院である場合のみ貼付してください。

組織図貼付

※組織内での位置づけが確認できる組織図を貼付貼付してください。



当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院等の医師等に対する高度のがん医療に関する研修の実施状況

期間 平成22年4月1日 ~ 平成22年8月31日

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

件数 10

※特定機能病院である場合のみ記入してください。

	開催日	日数	名称	対象	開催場所	種類	参加人数(人)	内容
(例)	7/10	120分	最新化学療法勉強会	拠点病院医師	〇〇病院	セミナー	80	今年度のASCOの発表から新たな標準治療を紹介する。
(例)	6/17	2日	コミュニケーションスキルトレーニング	拠点病院の医療スタッフ	〇〇病院	セミナー+ワークショップ	20	円滑なコミュニケーションを図るためのスキルを取得する講義、実習。
1	4/28	150分	がんプロフェッショナル養成セミナー	拠点病院等の医療スタッフ	大阪市立大学医学部附属病院	講義	60	意思決定支援におけるチームの役割についての講義。
2	6/21	90分	がんプロフェッショナル養成セミナー	拠点病院等の医療スタッフ	大阪市立大学医学部附属病院	講義	65	がん骨転移のメカニズムと治療戦略についての講義。
3	7/2	120分	がんプロフェッショナル養成セミナー	拠点病院等の医療スタッフ	大阪市立大学医学部附属病院	講義	60	放射線治療科を支えるプロフェッショナル-放射線治療専門看護師・医学物理士の役割-についての講義。
4	7/9	120分	大阪化学療法カンファレンス	拠点病院等の医療スタッフ	大阪市立総合医療センター	講義	30	外来化学療法における副作用対策について
5	7/2	120分	肺癌勉強会	地域関連病院の医師	天王寺都ホテル	講義	60	今年度のASCOの発表から新たな標準治療を紹介する。
6	5/18	120分	大阪泌尿器化学療法研究会	拠点病院医師	大阪市立大学講義室	講義+ワークショップ	30	大阪市立大学における膀胱がん化学療法のアップデート・江東病院泌尿器科医師によるcomplete TUR-BTのビデオ供覧および治療成績講演
7	7/24	120分	大阪泌尿器画像診断研究会	拠点病院医師	大阪市立大学講義室	講義+ワークショップ	30	再診のがん画像診断に関する講義
8	6/19	120分	大阪市大における医療連携「Face-To-Faceの会」	医療関係者	大阪市立大学医学部附属病院	講義	120	食道癌の鏡視下手術についての講義
9	7/24	120分	第6回大阪市大呼吸器外科勉強会	拠点病院の医師等	大阪市立大学医学部附属病院	ワークショップ	15	呼吸器外科手術手技のビデオ討論
10								

主に地域がん診療連携拠点病院で専門的ながん医療を行う医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修の実施の実施状況

期間 平成22年4月1日 ~ 平成22年8月31日

病院名	大阪市立大学医学部附属病院
件数	

※都道府県がん診療連携拠点病院である場合のみ記入してください。

	開催日	日数	名称	対象	開催場所	種類	参加人数(人)	内容
(例)	7/14	5日	〇〇病院化学療法チーム研修	拠点病院の医師、看護師および薬剤師	〇〇病院	実習	3	外来化学療法に関する知識、技術、システム運用について、医師、看護師、薬剤師の役割を含めて、実地研修を通して、習得する。
1	/							
2	/							
3	/							
4	/							
5	/							
6	/							
7	/							
8	/							
9	/							
10	/							

都道府県がん診療連携協議会の開催記録

期間 平成22年4月1日 ~ 平成22年8月31日

病院名 大阪市立大学医学部附属病院

開催数 回

※都道府県がん診療連携拠点病院である場合のみ記入してください。

	開催日	時間 (分)	名称	開催場所	参加 施設数 (施設)	参加 人数 (人)	内容 (病理診断、緩和ケア、放射線治療、相談 支援、院内がん登録などの別)
(例)	×/△	120分	** 県がん診療連携協議会	〇〇病院	6	12	県内医療情報の収集について
(例)	×/△	1日	緩和ケア部会	〇〇病院	6	12	緩和ケア研修会の年間の開催計画について
1	/						
2	/						
3	/						
4	/						
5	/						
6	/						
7	/						
8	/						
9	/						
10	/						
11	/						
12	/						
13	/						
14	/						
15	/						
16	/						
17	/						
18	/						

注) 分科会、ワーキンググループなどの開催を含みます。

都道府県がん診療連携協議会の体制

期間 平成22年4月1日 ~ 平成22年8月31日
病院名

大阪市立大学医学部附属病院

※都道府県がん診療連携協議会の体制図を添付してください。